magicolor ® 4650DN
ユーザーズガイド

A00F-9561-00K

1800853-014A

はじめに

弊社プリンタをお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 4650DN は、Windows、Macintosh、Linux の環境でお使いいただくのに最適なプリンタです。

ユーザー登録について

アフターサービスをスムーズにお受けいただくために、お客様のユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はインターネットのオンライン登録にて受け付けております。

http://printer.konicaminolta.jp　より“サポート”を選び、“オンラインユーザー登録”にお進みください。

製品に同梱のユーザー登録申込みはがきに必要事項を記入して投函いただくことでもユーザー登録ができます。

（製品によってはユーザー登録後に保証書を発行させていただく機種がございます。）

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標および登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。

7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

Adobe 社カラープロファイルについて

Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）
カラープロファイル使用許諾契約書

ユーザー様への注意：本契約書をよくお読みください。本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合、本ソフトウェアのすべての諸条件ならびに本契約書のすべての諸条件を受諾したものと見なされます。本契約書の条件に同意できない場合は本ソフトウェアの使用をおやめください。

第 1 条　定義

本契約書において「Adobe 社」とは、合衆国デラウェア州法人 Adobe Systems Incorporated（345 Park Avenue, San Jose, California 95110）を意味します。「本ソフトウェア」とは、本契約書が添付されたソフトウェアならびにその関連品目を意味します。

第 2 条　ライセンス

ユーザーが本契約書の諸条件に従うことを条件として、Adobe 社は本ソフトウェアの使用、複製、公での展示を行うライセンスを全世界的、非排他的、譲渡不能、ロイヤルティ不要のものとしてユーザーに許諾します。さらに Adobe 社は、（a）本ソフトウェアがデジタル画像ファイルに埋め込まれた状態であり、しかも（b）スタンドアローン・ベースである場合に限り、本ソフトウェアを配布する権利をユーザーに許諾します。それ以外の場合には本ソフトウェアを配布することはできません。たとえば、何らかのアプリケーションソフトウェアに組み込まれている状態やそうしたソフトウェアにバンドルされている状態では、本ソフトウェアを配布することはできません。個々のプロファイルは、いずれも ICC プロファイル記述文字列によって参照されている必要があります。ユーザーは本ソフトウェアを改変してはいけません。Adobe 社は本ソフトウェアまたはその他品目のアップグレードや将来のバージョンなど、本契約に基づいて何らかの支援を提供する義務を一切負いません。本ソフトウェアの知的所有権に関するいかなる権原も、本契約の条項に基づいてユーザーに移転することは一切ないものとします。ユーザーは本契約に明示的に定められている権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も取得しないものとします。

第 3 条　配布

ユーザーが本ソフトウェアを配布する場合、以下を了解した上で配布を行ったものと見なされます。すなわち、その配布（ユーザーによる本第 3 条の不履行を含み、かつそれに限定されない）に起因して何らかの賠償請求、訴訟、その他の法的措置が行われ損失、損害、費用が発生した場合、それに対してはユーザーが抗弁を行い、損失を補填し、Adobe 社を完全に保護することにユーザーが同意したと見なされることになります。またユーザーが本ソフトウェアをスタンドアローン・ベースで配布する場合、ユーザーは本契約またはユーザー自身の使用許諾契約の諸条件に基づいて配布を行うものとし、この場合におけるユーザー自身の使用許諾契約は、（a）本契約の諸条件を遵守している、（b）明示的にせよ黙示的にせよ、すべての保証および条件付与を有効に排除している、（c）損害に対するすべての責任を Adobe 社に代わって有効に排除している、（d）本契約と異なるすべての規定は、Adobe 社ではなくユーザーが単独で提供するものであることを明記している、（e）本ソフトウェアがユーザーまたは Adobe 社から入手可能であることと、ソフトウェアの交換に一般に用いられている媒体で本ソフトウェアを入手する妥当な方法とを記述している、ものでなければなりません。配布する本ソフトウェアには、Adobe 社の著作権表示を、Adobe 社がユーザーに提供した本ソフトウェアにおけるのと同様に行う必要があります。

第 4 条　保証の排除

Adobe 社は本ソフトウェアを「現状のまま」ユーザーに使用許諾しています。したがって本ソフトウェアが特定目的に適合しているかどうか、あるいは特定の結果を生み出すことができるかどうかについて、Adobe 社は一切の表明を行いません。また Adobe 社は、本契約に起因する損失または損害、あるいは本ソフトウェアまたはその他資料の配布または使用に起因する損失または損害について、一切の責任を負わないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、ユーザーが本ソフトウェアを使用した場合のパフォーマンスまたは結果について一切保証しません。ただしその居住地域においてユーザーに適用される法律が排除または制限を禁じている保証、条件付与、表明、約定については、その限りではないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、制定法、普通法、慣習法、慣行その他いかなる法的根拠に基づくかを問わず、また明示的であるか黙示的であるかを問わず、第三者の権利の不侵害、完全性、品質に対する満足、特定目的への適合性などを含みかつそれに限定されず、一切の保証、条件付与、表明、約定を行いません。ただしユーザーは、法域によって異なるその他の権利を保有する場合もあります。第 4 条、第 5 条、第 6 条の規定は、いかなる原因で本契約が終了したにせよ、その終了後も効力が継続するものとします。ただしこの規定は、本契約の終了後も本ソフトウェアを継続使用する権利を黙示するものではなく、またそうした権利を設定するものでもありません。

第 5 条　責任の制限

Adobe 社またはそのサプライヤは、ユーザーがこうむった損害、請求、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、利益の喪失、貯蓄の喪失に対して、いかなる場合もその責任を負わないものとし、たとえ Adobe 社の代表者がそうした損失、損害、請求が発生する可能性や第三者による請求の事実を助言されていた場合であっても、責任を負わないものとします。以上の制限および排除の規定は、ユーザー居住地の法律上許容される限度で適用されるものとします。本契約に起因または関連して Adobe 社またはそのサプライヤが負う賠償責任の総額は、本ソフトウェアに対し支払いが行われた金額を上限とします。ただし Adobe 社の過失または不法行為（詐欺）によって生じた死亡または傷害については、本契約のいかなる規定によっても、Adobe 社がユーザーに対して負う責任は制限されません。Adobe 社がサプライヤに代わって行為するのは、本契約の規定のとおりに義務、保証、責任を排除、除外、制限することが目的である場合に限られており、それ以外の場合または目的でサプライヤのために行為することはありません。

第 6 条　商標

Adobe および Adobe のロゴは、合衆国およびその他の国における Adobe 社の商標または登録商標です。参照のために使用する場合を除き、Adobe 社による別個の書面による許可を事前に得ていない場合には、ユーザーは上記の商標あるいは Adobe 社のその他の商標またはロゴを使用することはできません。

第 7 条　期間

本契約はその終了まで効力が存続するものとします。ユーザーが本契約の規定遵守を怠った場合、Adobe 社はただちに本契約を終了させる権利を有します。そうした契約終了時には、ユーザーはその占有下または管理下にある本ソフトウェアの全体コピーおよび部分的コピーのすべてを、Adobe 社に返却しなければなりません。

第 8 条　政府規制

本ソフトウェアの一部が合衆国輸出管理規則その他の輸出に関する法律、制限、規制（以下「輸出法」という）において輸出規制品目と認められた場合、ユーザーは自身が輸出規制対象国（イラン、イラク、シリア、スーダン、リビア、キューバ、北朝鮮、セルビアなど）の国民ではなく、しかもそれらの国に居住していないこと、さらに、ユーザーが本ソフトウェアを受領することが輸出法に基づく何らかの理由で禁止されているのではないことを、表明および保証する必要があります。本ソフトウェアを使用する一切の権利は、本契約の諸条件の遵守を怠るとただちに失われるという条件に基づき提供されています。

第 9 条　準拠法

本契約は、カリフォルニア州内でその住民同士が締結、履行する契約に適用される法律など、カリフォルニア州で施行されている実体法に準拠し、それに基づいて解釈されるものとします。本契約には、いかなる法域の抵触法の原則も、あるいは「国際物品売買契約に関する国連条約」も適用されないものとし、それらの適用を明示的に排除します。本契約に由来、起因、関連して発生したすべての紛争は、合衆国カリフォルニア州サンタクララ郡において解決を図るものとします。

第 10 条　一般条項

Adobe 社による事前の書面による同意がある場合を除き、ユーザーは本契約に基づいて得た権利または義務を譲渡することはできません。本契約のいかなる規定も、Adobe 社、その代理人、その被用者の側のいかなる行為または黙認によっても放棄されたと見なされることはないものとしますが、正当な権限を有する Adobe 社社員が署名を行った法律的文書による場合にはその限りではないものとします。本ソフトウェアに含まれるその他の合意と本契約とで異なる言語が用いられている場合、その他の合意における条項を適用します。ユーザーまたは Adobe 社が弁護士を雇用し、本契約に依拠または関連する権利の実現を図った場合、勝訴当事者は妥当な弁護士費用を回収する権利を有するものとします。ユーザーは、本契約を読み了解したこと、さらに本契約がユーザーと Adobe 社との完全で排他的な合意であり、ユーザーに対する本ソフトウェアの使用許諾に関し、口頭または書面によって以前に両者間で成立したあらゆる合意に優先するものであることを認めるものとします。正当な権限を有する Adobe 社社員が書面に署名を行い、Adobe 社が明示的な同意を示している場合を除き、本契約における条項のいかなる改変も Adobe 社に対して効力を持たないものとします。

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）は、ICC プロファイル規格に準拠したデバイスプロファイルで、東洋インキ製造株式会社が作成した標準オフセット印刷のプロファイルです。

「東洋インキ標準色コート紙」とは

東洋インキ製造株式会社の枚葉インキを用い、東洋インキ製造株式会社が標準と考えるオフセット枚葉印刷の再現色を、コート紙への実機印刷により定めたものです。「東洋インキ標準色コート紙」は日本国内におけるプロセスカラー印刷の色標準である「Japan Color」に準拠しています。

必要システム構成

ICC プロファイルを使用するカラーマネージメントシステムを持つシステムまたはアプリケーションが必要です。

東洋インキ標準色コート紙プロファイルの使用条件および注意事項

1. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用して再現されたコンピュータビデオシミュレーションの色やカラープリンター等により出力された色は、「東洋インキ標準色コート紙」と必ずしも一致するものではありません。
2. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用し、または使用できなかったことにより生じた一切の損害に関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる責任も負いかねます。
3. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルの一切の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有しており、東洋インキ製造株式会社の事前の書面による許可無く、本データを譲渡、提供、転貸、頒布、公開せず、第三者に使用させることもできません。
4. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルに関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる問い合わせも受けかねます。
5. ドキュメント中に記載されている会社名、製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

本プロファイルは、東洋インキ製造株式会社が GretagMacbeth 社製ソフトウエア ProfileMaker を使用して作成し、頒布に関して GretagMacbeth 社の許諾を得ています。

安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、プリンタの電源を入れるようにしてください。

■　このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

絵記号の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△　**記号は注意を促す内容があることを告げるものです。**

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

⊘　**記号は禁止の行為であることを告げるものです。**

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●　**記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

⚠警告

	● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 ● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 ● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 ● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

	必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。 ● アースを接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。 ● アース接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。 アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。 ● コンセントのアース端子 ● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種） 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。 ● ガス管（ガス爆発の原因になります） ● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。
	● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。 ● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠注意

🚫	● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
❗	● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
⚠	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。
🚫	● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 ● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
🚫	● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 ● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
🚫	● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

	本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 ● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 ● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

印刷されたものの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

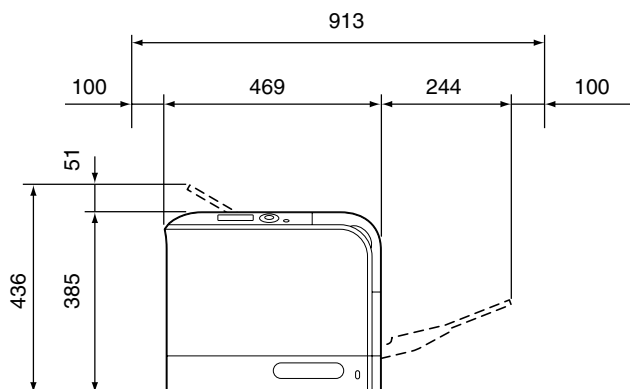
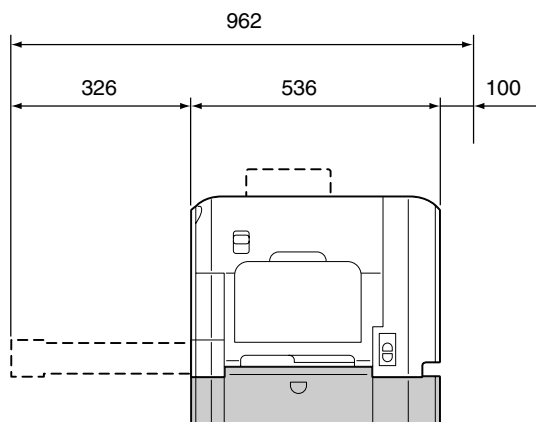
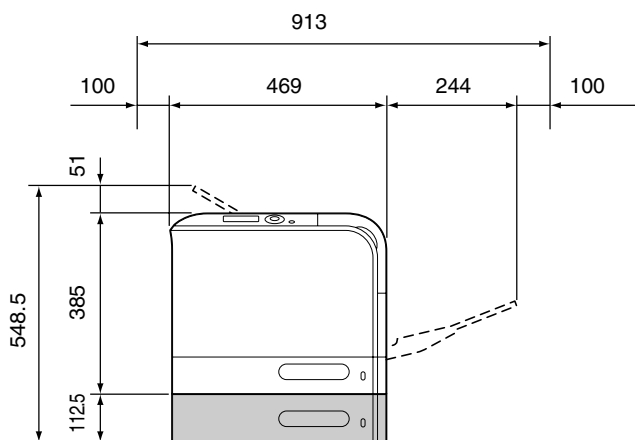
もくじ

1 はじめに

お使いになる前に

設置スペース

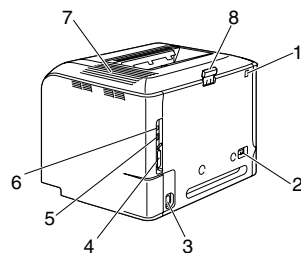
プリンタ操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

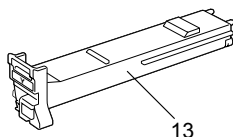
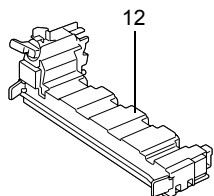
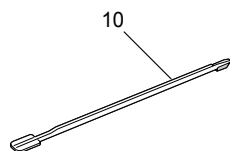
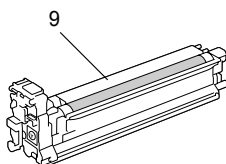
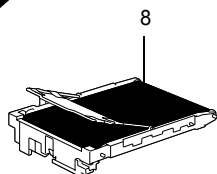
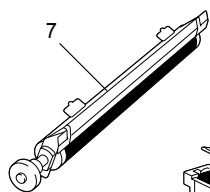
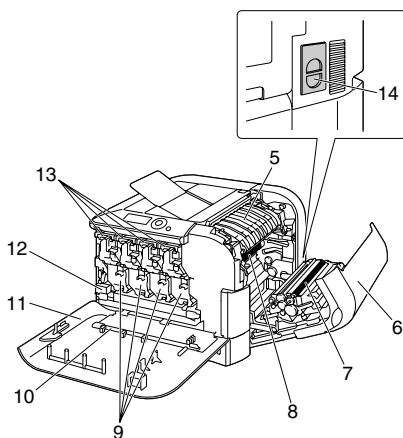
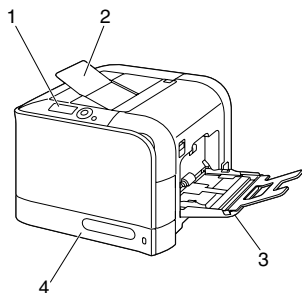
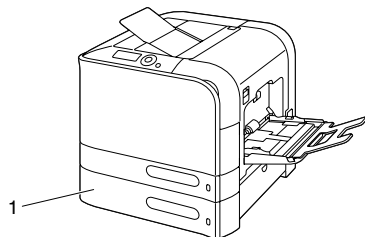
正面図

正面図（オプション装着時）

単位：mm

右側面図（オプション装着時）

イラストの網掛け部はオプションです。

各部の名称

以下の図は、本書で使用しているプリンタ各部の名称を示しています。

前面

1　操作パネル
2　排紙トレイ
3　トレイ 1（手差しトレイ）
4　トレイ 2
5　定着ユニット
6　右ドア
7　転写ローラー
8　転写ベルト
9　イメージングユニット
10　レーザーレンズ清掃具
11　前ドア
12　廃トナーボトル
13　トナーカートリッジ
14　オゾンフィルター

背面

1　コニカミノルタデジタルカメラダイレクト印刷用ポート
2　電源スイッチ
3　電源インレット
4　パラレルポート
5　10Base-T/100Base-TX/1000Base-T イーサネット（Ethernet）インターフェースポート
6　USB ポート
7　排気ダクト
8　排紙ストッパー

前面（オプション装着時）

1　給紙ユニット（トレイ 3）

ソフトウェアについて

2

Printer Driver CD-ROM について

PostScript ドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ Windows Vista/XP/Server 2003/ 2000（32bit）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows）」 （p.39）をごらんください。
プリンタドライバ Windows Vista/XP/Server 2003 （64bit）	

印刷時に PPD ファイルを指定する必要があるアプリケーション（PageMaker、Coral DRAW 等）用に、専用の PPD ファイルを用意しています。
Windows Vista/XP/Server 2003/2000 で、印刷時に PPD ファイルを指定する場合は、Printer Driver CD-ROM に収録されている、専用の PPD ファイルをご利用ください。

PCL ドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ Windows Vista/XP/Server 2003/ 2000（32bit）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows）」 （p.39）をごらんください。
プリンタドライバ Windows Vista/XP/Server 2003 （64bit）	

XPS ドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ Windows Vista（32bit） Windows Vista（64bit）	Windows Vista をベースとするプリンタドライバです。 XPS ドライバのインストール方法や機能については、「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

XPS ドライバは、Printer Driver CD-ROM から自動的にインストールされません。
XPS ドライバのインストールおよび機能について詳しくは、「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

PPD ファイル

ファイル	機能
プリンタドライバ Windows Vista/XP/Server 2003/2000	さまざまな環境や、プリンタドライバ、アプリケーションに対応できます。
プリンタドライバ Macintosh OS 10.2.X 以降	各 OS のプリンタドライバを使用する場合に必要です。 Macintosh、Linux 用の PPD ファイルについては、「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
プリンタドライバ Linux	

プリンタドライバのインストールについては、「インストレーションガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

Utilities and Documentation CD-ROM

ユーティリティ

ユーティリティ	機能
ダウンロード マネージャー ユーティリティー（Windows Vista/XP/Server 2003/2000、Macintosh OS 10.2.X 以降）	プリンタのハードディスクにフォントやオーバーレイ用のデータをダウンロードできます。 本ユーティリティは、オプションのハードディスクを装着している場合に使用できます。 機能や使いかたについて詳しくは、ダウンロードマネージャーのオンラインヘルプをごらんください。
ステータスモニタ（Windows のみ）	消耗品の状況やエラー情報など、現在のプリンタのステータスを確認できます。 詳しくは、「ステータスモニタの使いかた」（p.82）をごらんください。
PageScope Net Care	ステータス監視、ネットワーク設定、などのプリンタ管理機能にアクセスできます。 詳しくは、「PageScope Net Care クイックガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Web Connection	Web ブラウザから、プリンタのステータスの確認や、各設定の変更ができます。 詳しくは、「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Network Setup	TCP/IP、IPX プロトコルを使用して、ネットワークプリンタの基本設定を行うことができます。 詳しくは、「PageScope Network Setup 取扱説明書」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

ユーティリティ	機能
PageScope Plug and Print	ネットワークに新しく接続したプリンタを検知し、Windows プリントサーバ上にプリントオブジェクトを自動的に作成します。 詳しくは、「PageScope Plug and Print Quick Guide（英語）」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope NDPS Gateway	NDPS 環境でプリンタおよびコニカミノルタ製複合機を使用するためのネットワークユーティリティです。 詳しくは、「PageScope NDPS Gateway 取扱説明書」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Direct Print	PDF ファイルや TIFF ファイルを直接プリンタに送信して印刷する機能を持つアプリケーションです。 詳しくは、「PageScope Direct Print 取扱説明書」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

ユーティリティソフトウェアのインストールについては、「インストレーションガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

必要なシステム

- コンピュータ：
  - Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機（Pentium 3：500 MHz 以上を推奨）
  - PowerPC G3 以降（G4 以降を推奨）を搭載した Macintosh
  - Intel プロセッサを搭載した Macintosh
- オペレーティングシステム：
  - 32bit
    Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise, Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 1 以降；Service Pack 2 以降を推奨）, Windows Server 2003, Windows 2000（Service Pack 4 以降）
  - 64bit
    Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition, Windows XP Professional x64 Edition, Windows Server 2003 x64 Edition

    64bit ドライバは、AMD64 プロセッサまたは、EM64T 搭載の Intel プロセッサが稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。
  - Mac OS X（10.2 以降；最新のパッチの適用を推奨）, Mac OS X Server（10.2 以降）
  - Red Hat Linux 9.0、SuSE Linux 8.2

    Macintosh, Linux のプリンタドライバについては、「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
- 空きハードディスク容量：
  - 約 20 MB（プリンタドライバとステータスモニタ）
  - 約 128 MB（画像処理）
- メモリ：
  OS が推奨する以上の RAM
- CD-ROM/DVD ドライブ
- インターフェース：
  - 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T イーサネット（Ethernet）インターフェースポート
  - USB 2.0（High Speed）準拠インターフェースポート
  - パラレル（IEEE 1284）ポート

プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）

プリンタを使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタドライバでそのオプションを設定しておいてください。

Windows のプリンタドライバのインストールについては、「インストレーションガイド」をごらんください。
Macintosh のプリンタドライバのインストールについては、「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

Windows Vista/XP/Server 2003/2000

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。

– Windows Vista の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc4650 PS 」または「KONICA MINOLTA mc4650 PCL6 」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows XP Home Edition の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc4650 PS」または「KONICA MINOLTA mc4650 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows XP Professional/Server 2003 の場合

［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc4650 PS」または「KONICA MINOLTA mc4650 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows 2000 の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc4650 PS」または「KONICA MINOLTA mc4650 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 8 へ進んでください。

3 「装置情報」タブをクリックします。

4 装着したオプションが正しく認識されているかを確認します。

正しく認識されている場合は、手順 8 に進んでください。
正しく認識されていない場合は、手順 5 に進んでください。

5 ［情報の更新］をクリックします。装着済みのオプションが自動的に認識されます。

［情報の更新］は本プリンタとの双方向通信が行なわれている場合にのみ使用できます。［情報の更新］が使用できない場合は、手順 6、7 を行ってください。

6 「装置オプション」リストから、オプションを一つずつ選択して、「設定値の変更」メニューから「あり」または、「なし」を選択します。

「プリンタメモリ」を選択した場合は、装着しているメモリに応じて「256 MB」、「512 MB」、「768 MB」から一つ選択します。工場出荷時は「256 MB」に設定されています。

「メモリーカード」を選択した場合は、装着しているコンパクトフラッシュカードに応じて「あり（1GB 以上）」、「あり（1GB 未満）」、「なし」から選択します。

7 装着しているオプションをすべて設定したら、［適用］をクリックします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

8「初期設定」タブをクリックします。

9 必要な項目を設定し、[適用] をクリックします。

– 禁則発生時に確認メッセージを表示する：
  チェックすると、禁則発生時にメッセージを表示します。

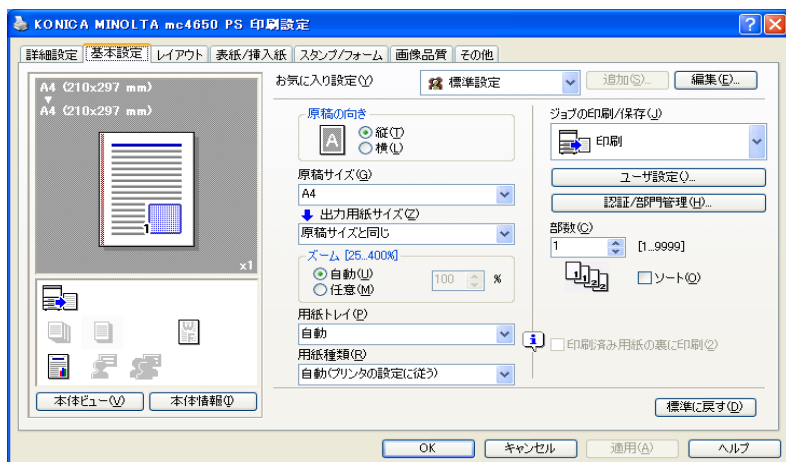
– サーバープロパティ用紙を使用する：
  チェックすると、サーバープロパティの用紙リストの中から対象プリンタで利用可能なサイズが基本設定タブの原稿サイズリストに追加されます。

– メタファイル（EMF）スプールを行う（PCL ドライバのみ）：
  独自のシステムで使用する場合などでメタファイル（EMF）スプールが必要な場合にチェックします。

この設定は、「装置情報」タブの「装置オプション」で、「認証」および「部門管理」を「なし」にした場合にチェックできます。

– カスタム用紙の登録（PCL ドライバのみ）：
  カスタム用紙を登録すると、登録した名称で基本設定タブの原稿サイズリストに追加されます。

10 「全般」タブをクリックします。

11 [印刷設定] をクリックします。
印刷設定画面が表示されます。

12 使用する用紙の種類やサイズなど、プリンタの初期設定を変更します。

各タブの設定項目については、「PostScript ドライバの設定」（p.40）、「PCL ドライバの設定」（p.60）をごらんください。

13 各初期設定を変更したら、[適用] をクリックします。

14 [OK] をクリックし、印刷設定画面を閉じます。

15 [OK] をクリックし、プリンタの設定画面を閉じます。

プリンタドライバのアンインストール（Windows）

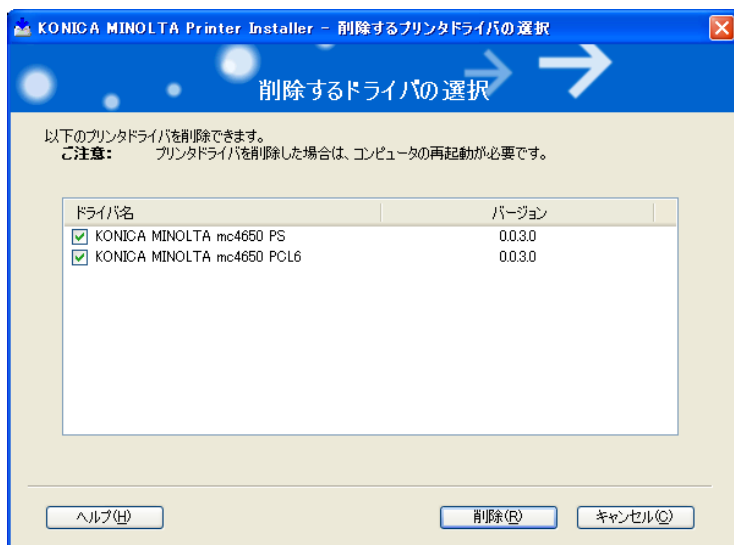
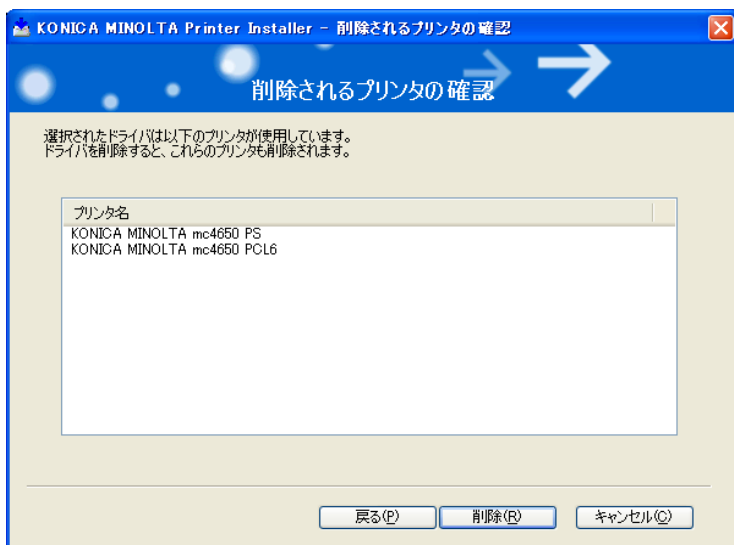
ここでは、プリンタドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

Windows Vista/XP/Server 2003/2000

1 開いているアプリケーションを全て閉じます。

2 以下の手順でプリンタ画面を表示します。

- **Windows Vista/XP/Sever 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」-「KONICA MINOLTA」-「magicolor 4650」-「プリンタドライバの削除」をクリックします。
- **Windows 2000 の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」-「KONICA MINOLTA」-「magicolor 4650」-「プリンタドライバの削除」をクリックします。

3 プリンタドライバのリストから「KONICA MINOLTA mc4650 PS」、「KONICA MINOLTA mc4650 PCL6」チェックボックスをチェックして、［削除］をクリックします。

4 削除するプリンタを確認して、[削除] をクリックします。

5 コンピュータを再起動します。
プリンタドライバがコンピュータからアンインストールされます。

プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows）

Windows Vista

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc4650 PS 」または「KONICA MINOLTA mc4650 PCL6 」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Home Edition

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc4650 PS」または「KONICA MINOLTA mc4650 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

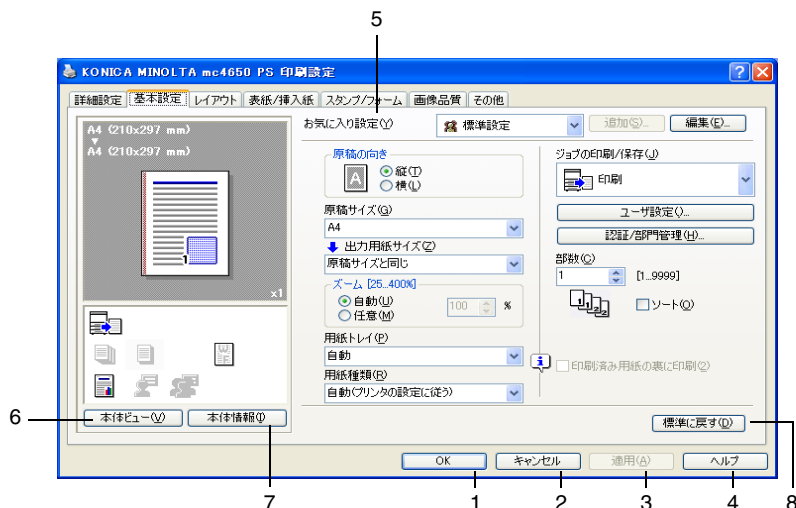
2 「KONICA MINOLTA mc4650 PS」または「KONICA MINOLTA mc4650 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows 2000

1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc4650 PS」または「KONICA MINOLTA mc4650 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

PostScript ドライバの設定

各タブで共通のボタン

1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

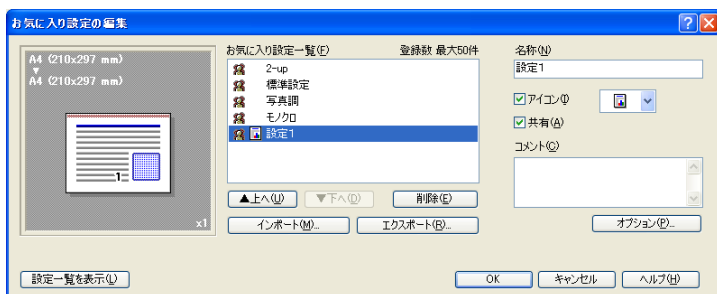
お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. お気に入り設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［追加］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力します。アイコンを設定する場合は、「アイコン」チェックボックスをチェックし、アイコンを選択します。保存する設定を共有にする場合は、「共有」チェックボックスにチェックします。
［OK］をクリックすると、現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。

また、［編集］をクリックすると、お気に入り設定の編集画面が表示されます。保存した設定の編集ができます。

ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

6. 本体ビュー / 用紙ビュー

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、［本体ビュー］ボタンが表示されます。［本体ビュー］をクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。
プリンタの外観図が表示されている場合は、［用紙ビュー］ボタンが表示されます。［用紙ビュー］をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。
「画像品質」タブでは、［画像品質ビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［画像品質ビュー］をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

7. 本体情報

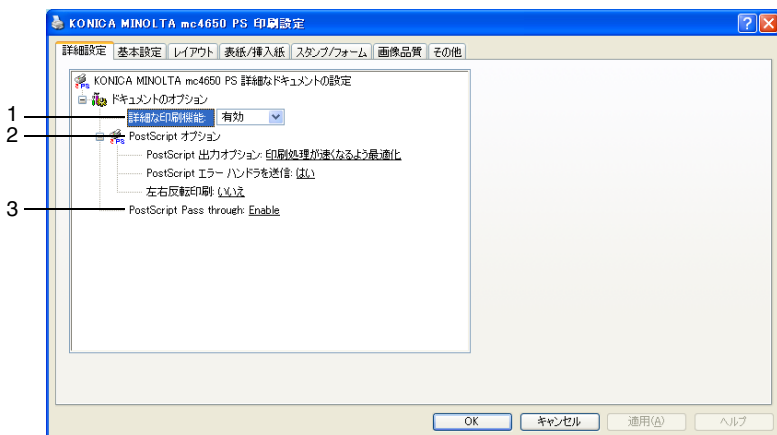
このボタンをクリックすると、PageScope Web Connection が起動します。

このボタンは、ネットワーク接続の場合のみ有効になります。

8. 標準に戻す

このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

「詳細設定」タブ

1. 詳細な印刷機能

詳細な印刷機能（小冊子）の設定を有効にするか、無効にするかを選択します。

本設定は、プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して表示するプロパティ画面で、「詳細設定」タブにある「詳細な印刷機能を有効にする」チェックボックスがチェックされている場合に表示されます。

2. PostScript オプション

PostScript 出力オプション：PostScript ファイルの出力形式を設定します。
PostScript エラーハンドラを送信：PostScript エラーが発生した場合に、レポートを印刷するかしないかを設定します。
左右反転印刷：左右反転印刷を行うか行わないかを設定します。

3. PostScript Pass through

アプリケーションがプリンタドライバを利用せずに直接印刷できるようにするかどうかを設定します。

「基本設定」タブ

1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
原稿のサイズを設定します。

3. 出力用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
用紙のサイズを設定します。

4. ズーム

印刷倍率を設定します。
印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」チェックボックスをチェックし、25%から 400%の間で設定します。

5. 用紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。
本体の用紙メニューのトレイ 1 で設定している用紙サイズ / 種類以外の用紙のドキュメントを印刷する際は、「トレイ 1（手差し）」を選択し、印刷指示をした後に、手差しトレイに用紙がセットされていることを確認後、操作パネルの△キーを押して印刷を行ってください。トレイ 1 で設定している用紙以外の用紙を用いて「トレイ 1」で印刷を行うと、たとえ正しいサイズの用紙をセットしていても印字位置がずれ、排紙部で紙づまりの可能性があります。

6. 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

7. ジョブの印刷 / 保存

ハードディスクにプリントジョブを保存するなど出力方法を設定します。
本設定はオプションのハードディスクキットを装着している場合のみ有効です。
印刷：通常の印刷を行います。
保存：ハードディスクにプリントジョブを保存します。印刷は行いません。
保存＆印刷：通常の印刷を行い、ハードディスクへの保存も行います。
機密印刷：プリントジョブをハードディスクにパスワードを設定して保存します。「機密印刷」ジョブを印刷すると、機密印刷ジョブはハードディスクから削除されます。
「機密印刷」で保存したジョブの印刷時は、操作パネルからパスワードの入力が必要です。
「機密印刷」を選択すると、ユーザ設定画面が表示されます。印刷時に使用するパスワードを設定します。

パスワードがすでに設定されている場合は、「機密印刷」を選択してもユーザ設定画面は表示されません。あらためてパスワードの設定を行なう場合は、[ユーザ設定] から行ってください。

試し印刷：1 部のみ印刷を行い、ハードディスクへジョブを保存します。

ハードディスクに保存されたジョブの印刷方法については、「保存 / 印刷メニュー」（p.94）をごらんください。

電源をオフ / オンすると、「保存」ジョブ以外のジョブはハードディスクから削除されます。

8. ユーザ設定

［ユーザ設定］をクリックすると、ユーザ設定画面が表示されます。ジョブ名や、機密印刷時のパスワードの設定などを行います。

9. 認証／部門管理

ユーザ / 部門ごとに印刷の許可 / 拒否を設定できます。
未登録のユーザは「Public ユーザー」を、登録済みのユーザは「登録ユーザー」を選択します。登録済みのユーザは「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
部門管理は登録済みの「部門名」と「パスワード」を入力します。

「認証／部門管理」はオプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュカードを装着している場合に有効です。

10. 部数

印刷する部数を設定します。
「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

「ソート」はオプションのハードディスクキットまたは 1GB 以上のコンパクトフラッシュカードを装着している場合に有効です。

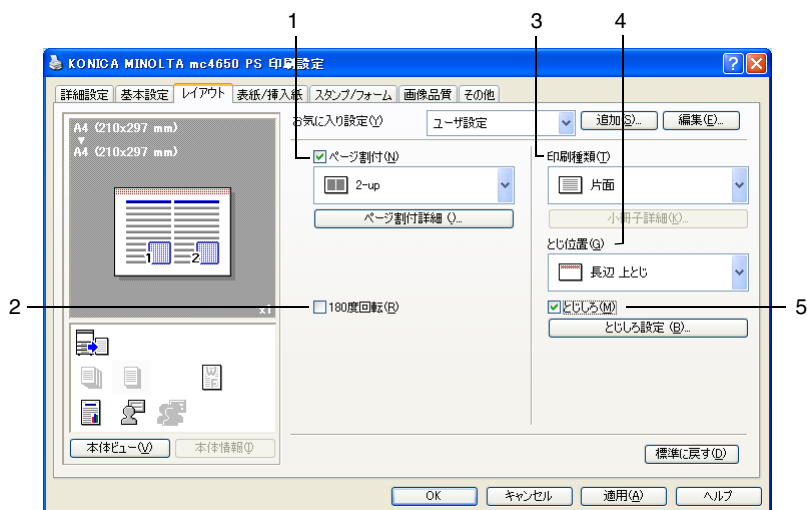
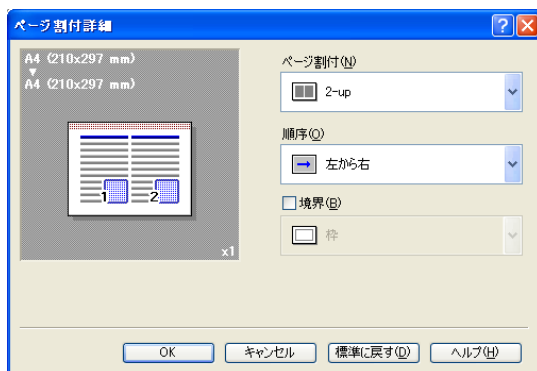
11. 印刷済み用紙の裏に印刷

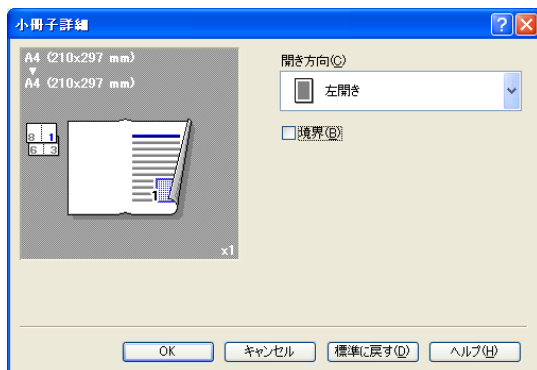
一度印刷した用紙の裏面に印刷するかどうかを設定します。
本設定は、「用紙トレイ」を「トレイ 1（手差し）」、「トレイ 1」、「トレイ 2」に設定した場合に有効です。

本機で印刷した用紙の裏面をご使用ください。なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。

以下の用紙は使用しないでください。

- インクジェットプリンタで印刷された用紙
- モノクロ/カラーのレーザープリンタ/コピー機で印刷された用紙
- 他のプリンタやファクス機で印刷された用紙

「レイアウト」タブ

1. ページ割付

複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。
「ページ割付」チェックボックスをチェックすると、［ページ割付詳細］ボタンが有効になります。
［ページ割付詳細］をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。

2. 180 度回転

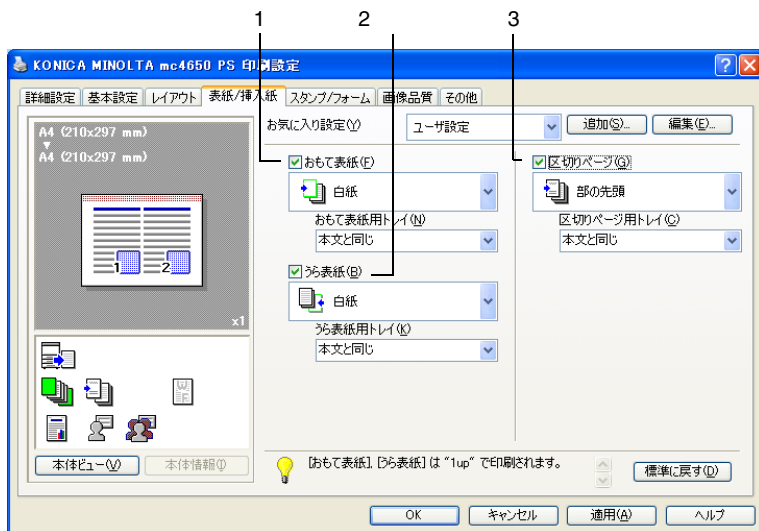
「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

3. 印刷種類

印刷種類を「片面」「両面」「小冊子」から選択します。
「小冊子」を選択すると、［小冊子詳細］ボタンが有効になります。［小冊子］をクリックすると、小冊子詳細画面が表示され、開き方向や境界線の有無を設定します。

「小冊子」は、「詳細設定」タブの「詳細な印刷機能」が「有効」に設定されている場合に有効です。

4. とじ位置

とじ位置を「長辺左とじ」「長辺右とじ」「短辺上とじ」「短辺下とじ」から選択して設定します。

5. とじしろ

「とじしろ」チェックボックスをチェックすると、[とじしろ設定]ボタンが有効になります。[とじしろ設定]をクリックすると、とじしろ設定画面が表示されます。
とじしろを付けるときの画像のずらし方、おもて面やうら面のとじしろ量を設定します。

「表紙 / 挿入紙」タブ

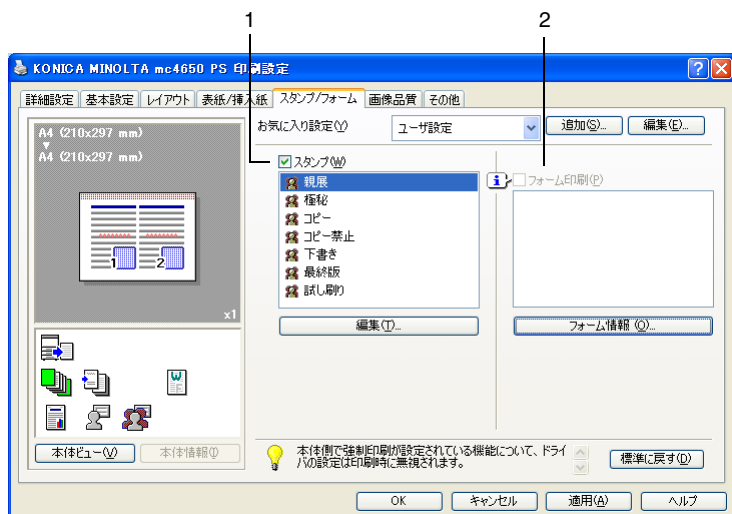
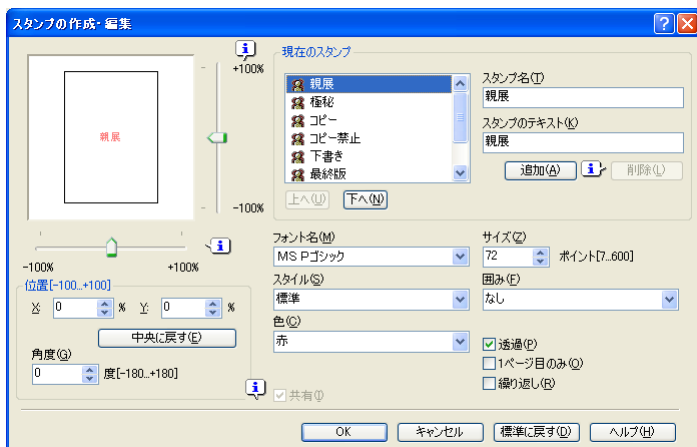
1. おもて表紙

「おもて表紙」チェックボックスをチェックすると、表表紙をつけて印刷します。また、「おもて表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

2. うら表紙

「うら表紙」チェックボックスをチェックすると、裏表紙をつけて印刷します。また、「うら表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

3. 区切りページ

一部ごとに挿入紙をつけるかどうかを設定します。
「区切りページ表紙」チェックボックスをチェックし、「部の先頭」「部の末尾」から選択します。
また、「区切りページ用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

「スタンプ / フォーム」タブ

1. スタンプ

印刷する文書に「親展」などのテキストを入れて印刷します。
「スタンプ」チェックボックスをチェックすると、[編集] ボタンが有効になります。
[編集] をクリックすると、スタンプの作成・編集画面が表示されます。
スタンプの作成・編集画面で [追加] をクリックすると、新たにスタンプを作成します。

作成したスタンプは「スタンプ / フォーム」タブおよびスタンプ・編集画面のリストに追加されます。
リストに追加したスタンプを編集する場合は、スタンプの作成・編集画面で、編集したいスタンプを選択し、編集します。
リストに追加したスタンプを削除する場合は、スタンプの作成・編集画面で、削除したいスタンプを選択し、［削除］をクリックします。

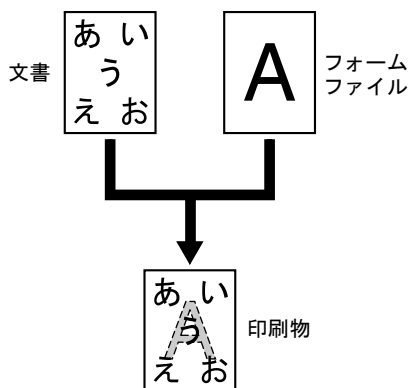
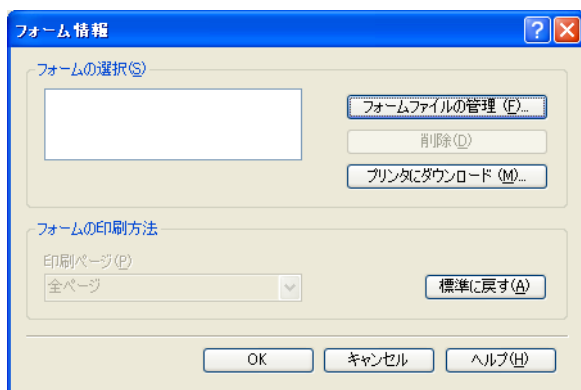
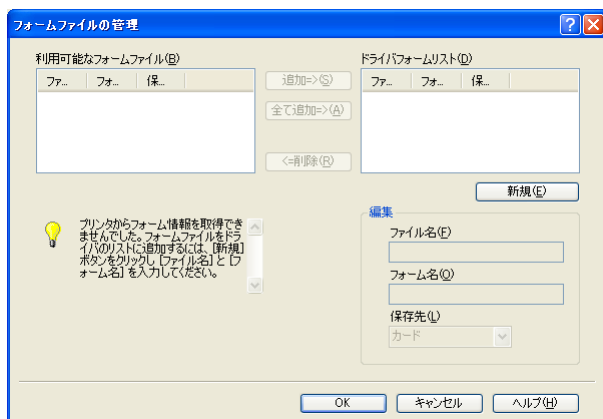
■ 透過
「透過」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を透過（網点）で印刷します。

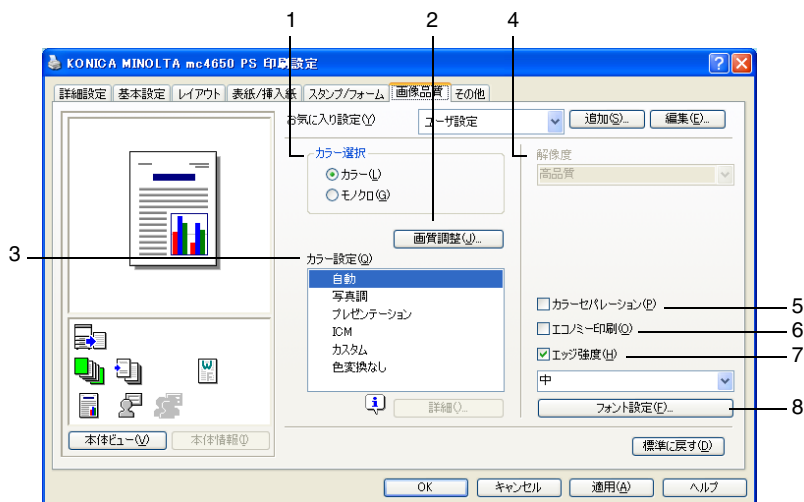
■ 1 ページのみ
「1 ページ目のみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

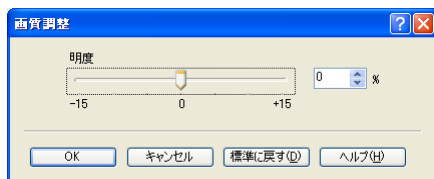
■ 繰り返し
「繰り返し」チェックボックスにチェックすると、1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

2. フォーム印刷

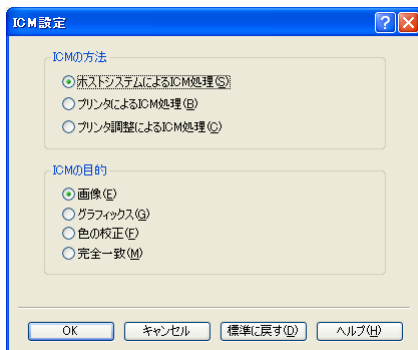
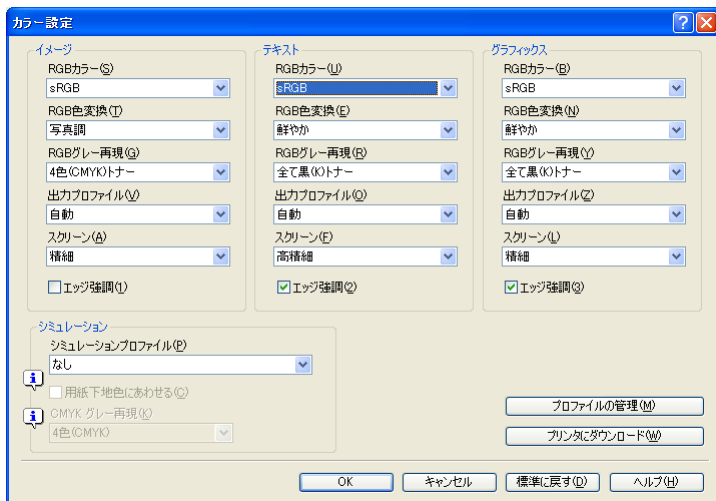
印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷を行います。
「フォーム印刷」チェックボックスをチェックすると、フォーム印刷が有効になります。

必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

［フォーム情報］をクリックすると、フォーム情報画面が表示されます。

追加したフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、［削除］をクリックします。
ダウンロードマネージャをインストールしている場合、［プリンタにダウンロード］ボタンが有効になります。

PostScript ドライバでフォームを印刷する場合、あらかじめプリンタにフォームファイルをダウンロードしておく必要があります。

フォームを印刷するページを設定する場合は、「印刷ページ」で「全ページ」、「最初のページ」、「偶数ページ」、「奇数ページ」から選択します。
フォーム情報画面で［フォームファイルの管理］をクリックすると、フォームファイルの管理画面が表示されます。［新規］をクリックして、新たに追加するフォームファイルの設定を行います。
追加したフォームファイルは、「スタンプ / フォーム」タブまたはフォーム情報画面のリストに追加されます。

「画像品質」タブ

1. カラー選択

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを設定します。

2. 画質調整

［画質調整］をクリックすると、画質調整画面が表示されます。印刷する画像の明るさ（明度）を設定します。

3. カラー設定

プリンタのカラー設定を「自動」、「写真調」、「プレゼンテーション」、「ICM」、「カスタム」、「色変換なし」から選択して設定します。
「写真調」は、写真画像に適した設定です。
「プレゼンテーション」は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。
「ICM」を選択すると、Windows の ICM を使用してカラー設定を行います。
「ICM」を選択した場合、［詳細］ボタンが有効になります。

［詳細］をクリックすると、ICM 設定画面が表示されます。ICM の印刷方法や、目的を設定します。

「カスタム」を選択すると、［詳細］ボタンが有効になります。［詳細］をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。

カラー設定画面では、各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィック）のカラー再現についての設定や、プロファイルの管理ができます。

■ RGB カラー
イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトの色空間に関して指定します。プリンタが使用する入力 RGB の色空間を指定します。

- RGB 色変換
  イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトの色変換処理に関して指定します。
  プリンタで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。
- RGB グレー再現
  プリンタで処理するイメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのグレーの再現に関して指定します。
- 出力プロファイル
  出力プロファイルに関して指定します。
- スクリーン
  イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。
- エッジ強調
  イメージ / テキスト / グラフィックスのエッジの強調を指定します。
- シミュレーションプロファイル
  インクシミュレーション、デバイスシミュレーション等に使用する、シミュレーションプロファイルを指定することができます。
- 用紙下地色にあわせる
  シミュレーション実施時の色変換特性を指定します。
- CMYK グレー再現
  シミュレーション実施時の CMYK 入力データ中の黒色とグレーの維持方法を指定します。
- プロファイルの管理
  「カラープロファイルの管理」ダイアログ ボックスを表示します。
- プリンタにダウンロード
  ダウンロードマネージャがインストールされている場合に起動します。ダウンロードマネージャのインストール方法については、「インストレーションガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

4. 解像度

解像度 600dpi、4bit 多値のスクリーンで印刷します。本プリンタでは設定変更できません。

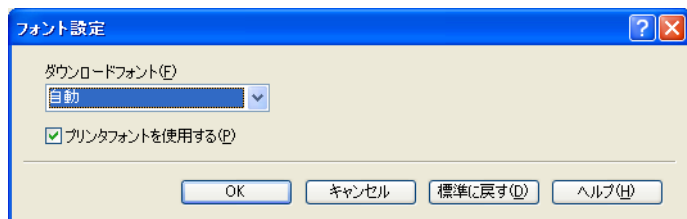
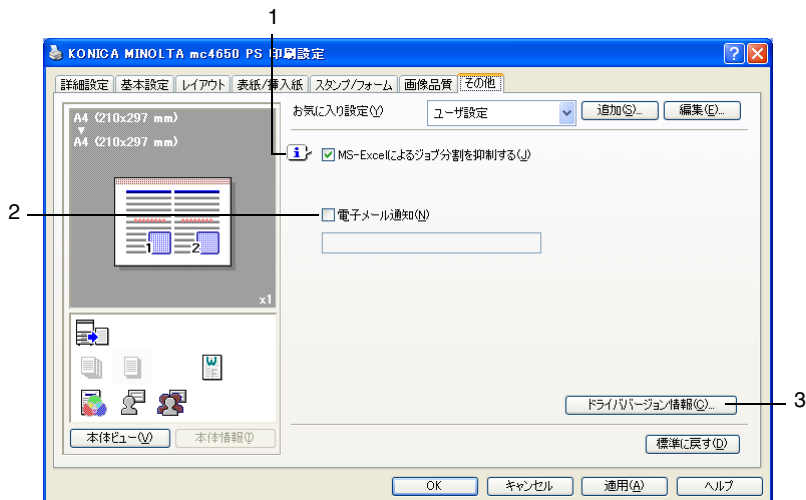
5. カラーセパレーション

CMYK ごとに分割して印刷するかどうかを設定します。
「カラーセパレーション」チェックボックスにチェックすると、CMYK ごとに色分解し、それぞれをモノクロで印刷します。

6. エコノミー印刷

「エコノミー印刷」チェックボックスにチェックすると、トナー量を抑えた印刷を行います。

7. エッジ強度

エッジを強調する場合、「エッジ強度」チェックボックスをチェックし、付加するエッジ強調ドットの強さを設定します。
「弱」を選択するとエッジ強調ドットを弱めに付加します。
「中」を選択するとエッジ強調ドットを付加します。
「強」を選択するとエッジ強調ドットを強めに付加します。

8. フォント設定

フォントについての設定をします。
［フォント設定］をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。

フォント設定画面では、True Type フォントをダウンロードする方法と、印刷時に True Type フォントをプリンタフォントに置き換えるかどうかを設定します。

「その他」タブ

1. MS-Excel によるジョブ分割を抑制する

MS-Excel で印刷設定の異なる複数のシートを同時に印刷しようとする場合に、シートごとに別々のドキュメントに分割して印刷されるのを抑制するかどうかを設定します。

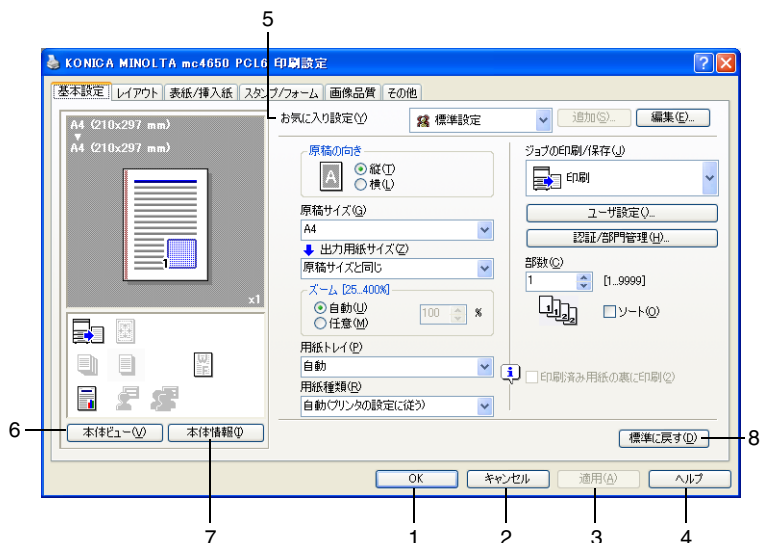
2. 電子メール通知

「電子メール通知」チェックボックスをチェックし、送信先のアドレスを設定すると、印刷終了時に印刷が正常に完了したことを電子メールで通知します。

3. ドライババージョン情報

［ドライババージョン情報］をクリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。

PCL ドライバの設定

各タブで共通のボタン

1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

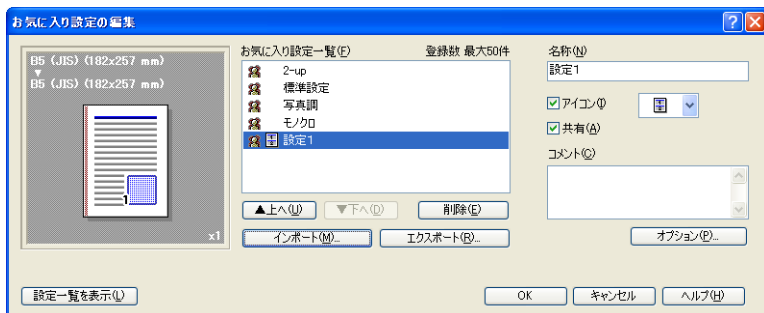
お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. お気に入り設定

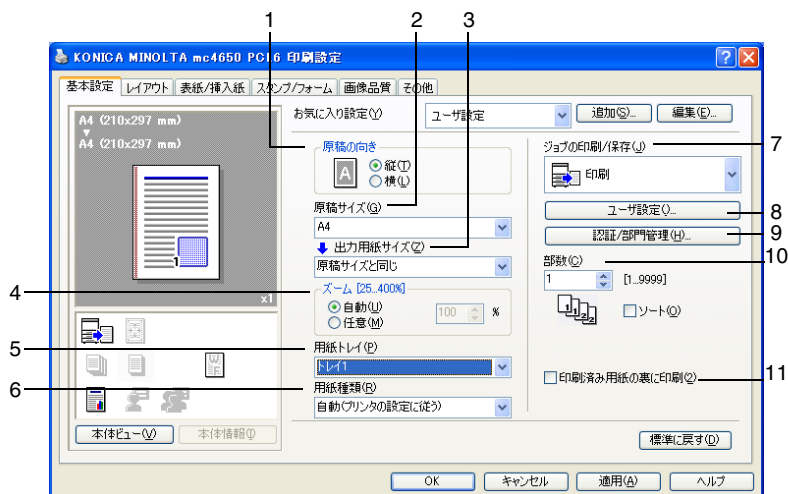
現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［追加］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力します。アイコンを設定する場合は、「アイコン」チェックボックスをチェックし、アイコンを選択します。保存する設定を共有にする場合は、「共有」チェックボックスにチェックします。［OK］をクリックすると、現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。

また、［編集］をクリックすると、お気に入り設定の編集画面が表示されます。保存した設定の編集ができます。

ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

6. 本体ビュー / 用紙ビュー

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、[本体ビュー] ボタンが表示されます。[本体ビュー] をクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。
プリンタの外観図が表示されている場合は、[用紙ビュー] ボタンが表示されます。[用紙ビュー] をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。
「画像品質」タブでは、[画像品質ビュー] ボタンが表示されます。([用紙ビュー] ボタンは表示されません。) [画像品質ビュー] をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

7. 本体情報

このボタンをクリックすると、PageScope Web Connection が起動します。

このボタンは、ネットワーク接続の場合のみ有効になります。

8. 標準に戻す

このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

「基本設定」タブ

1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
原稿のサイズを設定します。

3. 出力用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
用紙のサイズを設定します。

4. ズーム

印刷倍率を設定します。
印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」チェックボックスをチェックし、25%から 400%の間で設定します。

5. 用紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。
本体の用紙メニューのトレイ 1 で設定している用紙サイズ / 種類以外の用紙のドキュメントを印刷する際は、「トレイ 1（手差し）」を選択し、印刷指示をした後に、手差しトレイに用紙がセットされていることを確認後、操作パネルの△キーを押して印刷を行ってください。トレイ 1 で設定している用紙以外の用紙を用いて「トレイ 1」で印刷を行うと、たとえ正しいサイズの用紙をセットしていても印字位置がずれ、排紙部で紙づまりの可能性があります。

6. 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

7. ジョブの印刷 / 保存

ハードディスクにプリントジョブを保存するなど出力方法を設定します。
本設定はオプションのハードディスクキットを装着している場合のみ有効です。
印刷：通常の印刷を行います。
保存：ハードディスクにプリントジョブを保存します。印刷は行いません。
保存＆印刷：通常の印刷を行い、ハードディスクへの保存も行います。
機密印刷：プリントジョブをハードディスクにパスワードを設定して保存します。「機密印刷」ジョブを印刷すると、機密印刷ジョブはハードディスクから削除されます。
「機密印刷」で保存したジョブの印刷時は、操作パネルからパスワードの入力が必要です。
「機密印刷」を選択すると、ユーザ設定画面が表示されます。印刷時に使用するパスワードを設定します。

パスワードがすでに設定されている場合は、「機密印刷」を選択してもユーザ設定画面は表示されません。あらためてパスワードの設定を行なう場合は、[ユーザ設定] から行ってください。

試し印刷：1 部のみ印刷を行い、ハードディスクへジョブを保存します。

ハードディスクに保存されたジョブの印刷方法については、「保存 / 印刷メニュー」（p.94）をごらんください。

電源をオフ / オンすると、「保存」ジョブ以外のジョブはハードディスクから削除されます。

8. ユーザ設定

ジョブ名や、機密印刷時のパスワードの設定などを行います。
[ユーザ設定] をクリックすると、ユーザ設定画面が表示されます。

9. 認証 / 部門管理

ユーザ / 部門ごとに印刷の許可 / 拒否を設定できます。
未登録のユーザは「Public ユーザー」を、登録済みのユーザは「登録ユーザー」を選択します。登録済みのユーザは「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
部門管理は登録済みの「部門名」と「パスワード」を入力します。

「認証 / 部門管理」はオプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュカードを装着している場合に有効です。

10. 部数

印刷する部数を設定します。
「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

「ソート」はオプションのハードディスクキットまたは 1GB 以上のコンパクトフラッシュカードを装着している場合に有効です。

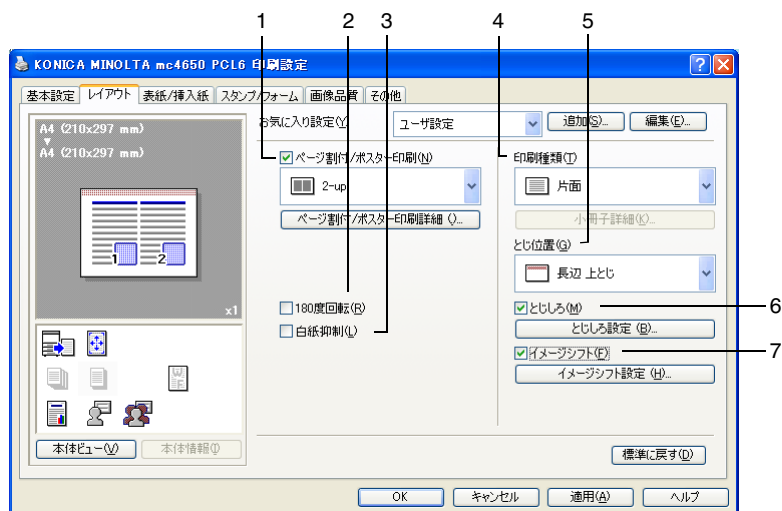
11. 印刷済み用紙の裏に印刷

一度印刷した用紙の裏面に印刷するかどうかを設定します。
本設定は、「用紙トレイ」を「トレイ 1（手差し）」、「トレイ 1」、「トレイ 2」に設定した場合に有効です。

本機で印刷した用紙の裏面をご使用ください。なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。

以下の用紙は使用しないでください。

- インクジェットプリンタで印刷された用紙
- モノクロ/カラーのレーザープリンタ/コピー機で印刷された用紙
- 他のプリンタやファクス機で印刷された用紙

「レイアウト」タブ

1. ページ割付 / ポスター印刷

ページ割付は複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。
ポスター印刷は 1 ページ分の文書を拡大して複数枚に印刷します。印刷後に用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きな印刷物を作ることができます。
「ページ割付 / ポスター印刷」チェックボックスをチェックすると、［ページ割付 / ポスター印刷詳細］ボタンが有効になります。
［ページ割付 / ポスター印刷詳細］をクリックすると、ページ割付／ポスター印刷詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の種類を選択します。

「ポスター 2 × 2」、「ポスター 3 × 3」、「ポスター 4 × 4」を選択した場合、両面印刷は設定できません。

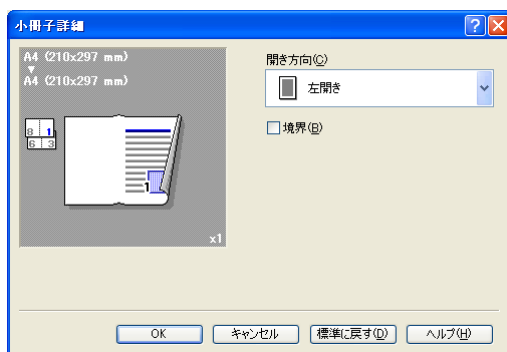
2. 180 度回転

「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

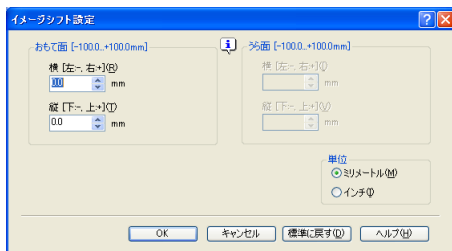
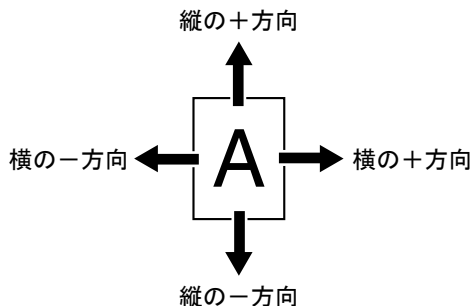
3. 白紙抑制

印刷する文書内に白紙がある場合、白紙を出力するかしないかを設定します。

4. 印刷種類

用紙の印刷面を「片面」「両面」「小冊子」から選択します。
「小冊子」を選択すると、［小冊子詳細］ボタンが有効になります。［小冊子］をクリックすると、小冊子詳細画面が表示され、開き方向や境界線の有無を設定します。

5. とじ位置

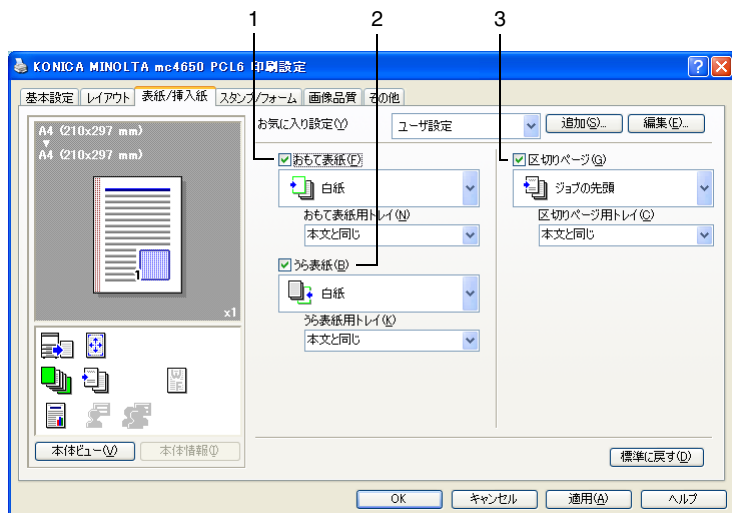
とじ位置を「長辺左とじ」、「長辺右とじ」、「短辺上とじ」、「短辺下とじ」から選択して設定します。

6. とじしろ

とじしろの有無を設定します。
「とじしろ」チェックボックスをチェックすると、［とじしろ設定］ボタンが有効になります。
［とじしろ設定］をクリックすると、とじしろ設定画面が表示されます。とじしろを付けるときの画像のずらし方、おもて面やうら面のとじしろ量を設定します。

7. イメージシフト

用紙に印刷される文書の位置を設定します。

「イメージシフト」チェックボックスをチェックすると、[イメージシフト設定] ボタンが有効になります。[イメージシフト設定] をクリックすると、イメージシフト設定画面が表示されます。文書の印刷位置を 0.1 ミリ単位または、0.01 インチ単位で設定します。

右図を参照してプリント位置を設定してください。

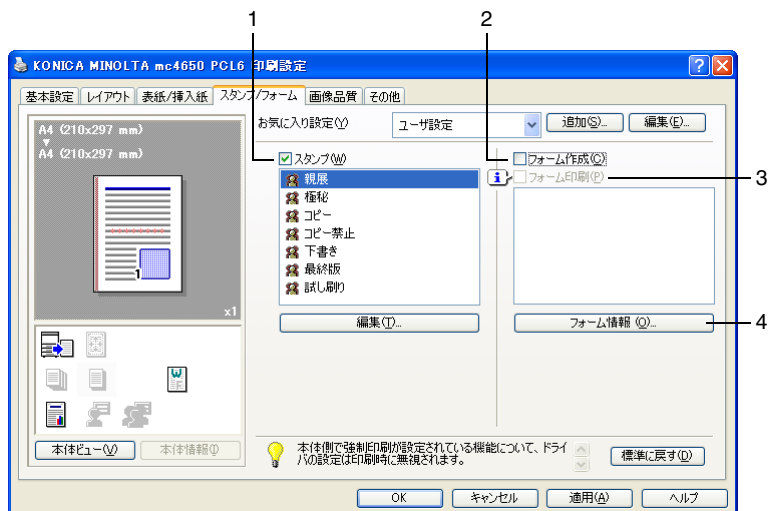
「表紙 / 挿入紙」タブ

1. おもて表紙

おもて表紙をつける場合は「おもて表紙」チェックボックスをチェックし、「白紙」「片面のみ印刷」「両面に印刷」から選択します。
また、「おもて表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

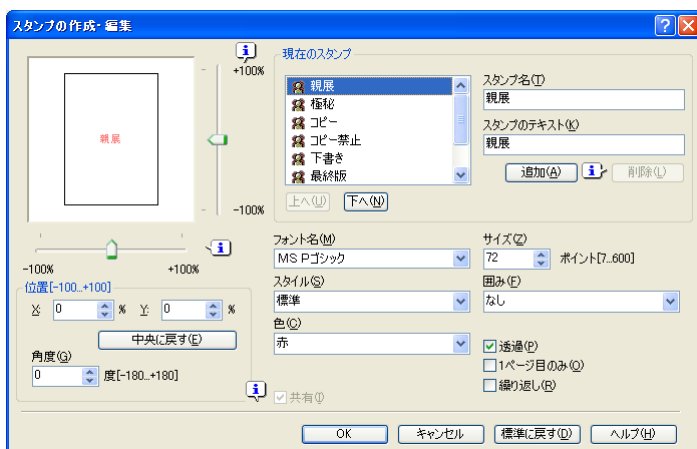
2. うら表紙

うら表紙をつける場合は「おもて表紙」チェックボックスをチェックし、「白紙」「片面のみ印刷」「両面に印刷」から選択します。
また、「うら表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

3. 区切りページ

区切りページごとに白紙をつける場合は「おもて表紙」チェックボックスをチェックし、「ジョブの先頭」「部の先頭」「部の末尾」から選択します。また、「区切りページ用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

「スタンプ/フォーム」タブ

1. スタンプ

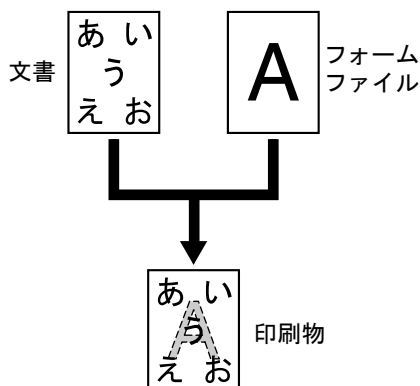
印刷する文書に「親展」などのテキストを入れて印刷します。
「スタンプ」チェックボックスにチェックすると、[編集]ボタンが有効になります。
[編集]をクリックすると、スタンプの作成・編集画面が表示されます。
スタンプの作成・編集画面で[追加]をクリックすると、新たにスタンプを作成できます。

作成したスタンプは「スタンプ / フォーム」タブおよびスタンプ作成・編集画面のリストに表示されます。
リストに追加したスタンプを編集する場合は、スタンプの作成・編集画面で、編集したいスタンプを選択し、編集します。
リストに追加したスタンプを削除する場合は、スタンプの作成・編集画面で、削除したいスタンプを選択し、[削除] をクリックします。

■ 透過
「透過」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を透過（網点）で印刷します。

■ 1 ページ目のみ
「1 ページ目のみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

■ 繰り返し
「繰り返し」チェックボックスにチェックすると、1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

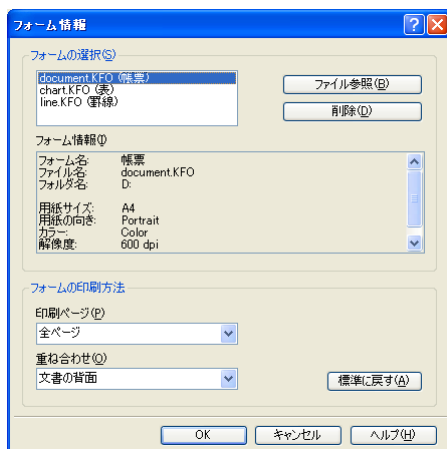
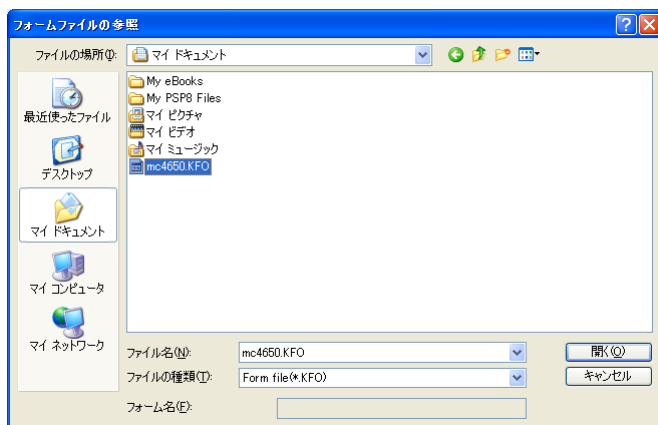
2. フォーム作成

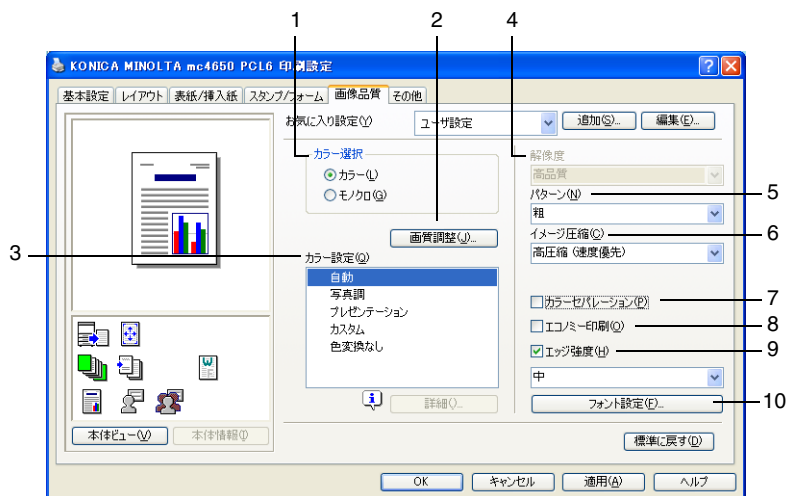
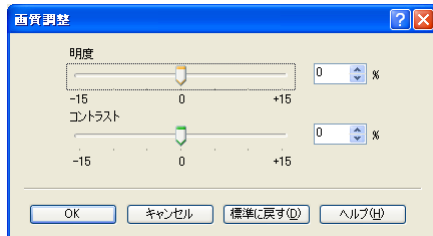
「フォーム作成」チェックボックスをチェックして印刷すると、フォームファイル（拡張子：KFO）が作成されます。作成したフォームファイルは、「スタンプ / フォーム」タブのリストに追加されます。

3. フォーム印刷

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷します。

必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

4. フォーム情報

「フォーム情報」をクリックすると、フォーム情報画面が表示され、登録されているフォームの情報を確認できます。

また、[ファイルの参照] をクリックして表示されるフォームファイルの参照画面でフォームファイルを選択してリストに追加することもできます。

リストからフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、[削除] をクリックします。
また、フォームの印刷方法を設定します。フォームを印刷するページを「全ページ」、「最初のページ」、「偶数ページ」、「奇数ページ」から選択して設定します。
フォームと印刷文書の重ね合わせ方を「文書の背面」、「文書の前面（上書き）」から選択して設定します。

「画像品質」タブ

1. カラー選択

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを設定します。

2. 画質調整

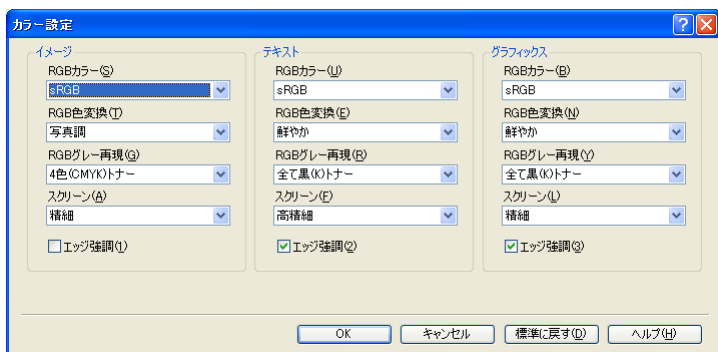
［画質調整］をクリックすると、画質調整画面が表示されます。印刷する画像の明るさ（明度）、コントラストを設定します。

3. カラー設定

プリンタのカラー設定を「自動」、「写真調」、「プレゼンテーション」、「カスタム」、「色変換なし」から選択して設定します。

「写真調」は、写真画像に適した設定です。

「プレゼンテーション」は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。

「カスタム」を選択すると、[詳細] ボタンが有効になります。[詳細] をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。

カラー設定画面では、各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィック）のカラー再現についての設定ができます。

■ RGB カラー
イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトの色空間に関して指定します。プリンタが使用する入力 RGB の色空間を指定します。

■ RGB 色変換
イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトの色変換処理に関して指定します。
プリンタで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

■ RGB グレー再現
プリンタで処理するイメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのグレーの再現に関して指定します。

■ スクリーン
イメージ / テキスト / グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。

■ エッジ強調
イメージ / テキスト / グラフィックスのエッジの強調を指定します。

4. 解像度

解像度 600dpi、4bit 多値のスクリーンで印刷します。本プリンタでは設定変更できません。

5. パターン

パターンの密度を、「密」、「粗」から選択して設定します。

6. イメージ圧縮

イメージの圧縮方法を、「高圧縮（速度優先）」、「標準（品質優先）」から選択して設定します。

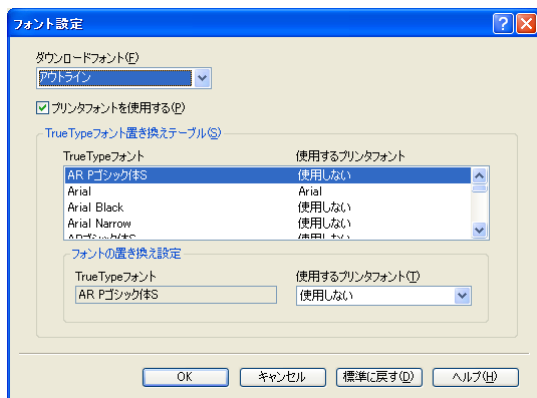
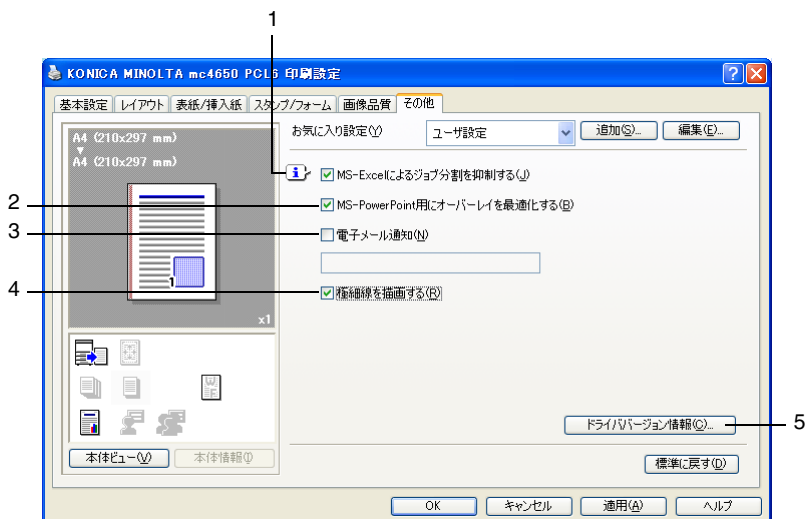
7. カラーセパレーション

CMYK ごとに分割して印刷するかどうかを設定します。
「カラーセパレーション」チェックボックスにチェックすると、CMYK ごとに色分解し、それぞれをモノクロで印刷します。

8. エコノミー印刷

トナー消費量を抑えた印刷を行うかどうかを設定します。
「エコノミー印刷」チェックボックスをチェックすると、エコノミー印刷を行います。

9. エッジ強度

エッジを強調する場合、付加するエッジ強調ドットの強さを設定します。
「エッジ強度」チェックボックスをチェックすると、エッジ強度を設定できます。
「弱」を選択するとエッジ強調ドットを弱めに付加します。
「中」を選択するとエッジ強調ドットを付加します。
「強」を選択するとエッジ強調ドットを強めに付加します。

10. フォント設定

フォントについての設定をします。
［フォント設定］をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。

フォント設定画面では、True Type フォントをダウンロードする方法、印刷時に True Type フォントをプリンタフォントに置き換えるかどうか、True Type フォントをプリンタフォントに置き換える場合、どのプリンタフォントを使用するかを設定します。

「その他」タブ

1. MS-Excel によるジョブ分割を抑制する
MS-Excel で印刷設定の異なる複数のシートを同時に印刷しようとする場合に、シートごとに別々のドキュメントに分割して印刷されるのを抑制するかどうかを設定します。

2. MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する
背景が「白」の PowerPoint 原稿に、プリンタドライバのオーバーレイ機能を指定して印刷する場合に、PowerPoint 原稿の「白」でオーバーレイ画像が上書きされないように設定します。

3. 電子メール通知
「電子メール通知」チェックボックスをチェックし、送信先のアドレスを設定すると、印刷終了時に印刷が正常に完了したことを電子メールで通知します。

4. 極細線を描画する
極細線を描画するかどうかを設定します。

5. ドライババージョン情報

［ドライババージョン情報］をクリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。

ポイント アンド プリントでインストールされたプリンタドライバの機能制限

以下のサーバとクライアントの組み合わせでポイント アンド プリントを実行した場合、プリンタドライバで持つ機能が一部制限されます。

- サーバとクライアントの組み合わせ
  サーバ　　　：Windows Server 2003/XP/2000/Vista
  クライアント：Windows Server 2003/XP/2000/Vista
- 制限される機能
  「小冊子」、「白紙抑制」、「おもて表紙」、「うら表紙」、「区切りページ」、「フォーム作成」、フォームの印刷、「スタンプ」
  ※ PJL の ジョブ名、ユーザ名、ホスト名の 出力

この組み合わせで使用する場合は、クライアントにプリンタドライバをローカルでインストールし、接続先としてサーバにインストールされている共有プリンタを指定してください。

3

ステータスモニタ（Windows）の使いかた

ステータスモニタの使いかた

ステータスモニタで、プリンタと接続しているコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

ステータスモニタは Utilities and Documentation CD-ROM からインストールできます。

インストール方法については、「インストレーションガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

環境

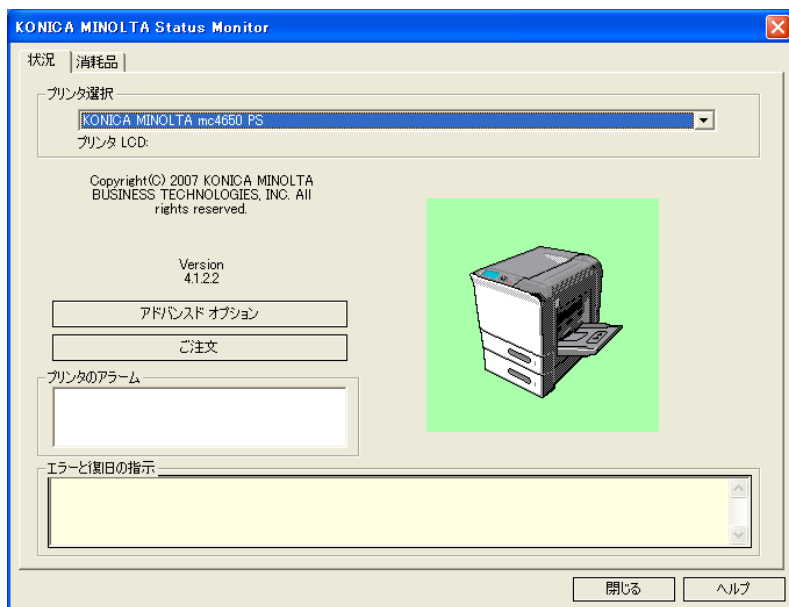
ステータスモニタはイーサネットで接続された、Windows Vista/XP/Server 2003/2000 で使用できます。

ステータスモニタを開く

以下の操作でステータスモニタを開きます。

- **Windows Vista/XP/Server 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA」を選択し、「Status Monitor」をクリックします。タスクバーに表示されたステータスモニタアイコンをダブルクリックします。
- **Windows 2000 の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA」を選択し、「Status Monitor」をクリックします。タスクバーに表示されたステータスモニタアイコンをダブルクリックします。

ステータスモニタの使いかた

状況タブ

■ プリンタ選択 — ステータスを表示するプリンタを選択します。また、ステータスを表示しているプリンタのメッセージウィンドウのメッセージが表示されます。

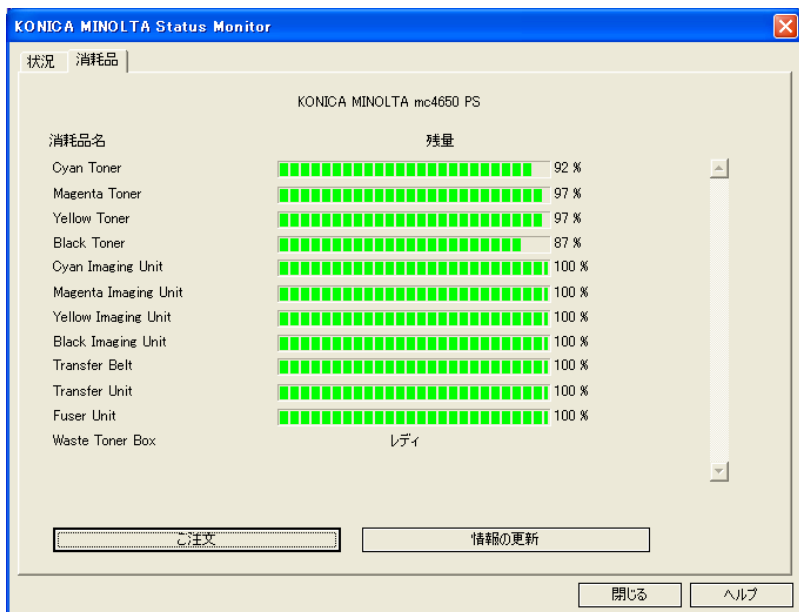
■ **プリンタステータスのイメージ**：プリンタの外観図が表示され、エラーが発生したとき、問題のある場所が示されます。プリンタの図が表示され、背景が赤色、または黄色のときは、何らかのエラーが発生している状態です。

■ アドバンスドオプション —［アドバンスドオプション］をクリックすると、アドバンスドオプション画面が表示されます。アドバンスドオプション画面では、OS 起動時にステータスモニタを自動で起動させるか、エラー情報をメールで通知するかなどの設定ができます。

■ ご注文 —［ご注文］をクリックすると、自動的に消耗品の注文ページにアクセスします。アクセス先のアドレスは、アドバンスドオプション画面で変更できます。

■ **プリンタのアラーム**：注意が必要な状態（例：警告：イエロートナー残量少）を知らせるメッセージが表示されます。

■ **エラーと復旧の指示**：問題を解決し、エラー状態から復帰するために必要な情報が表示されます。

消耗品タブ

各消耗品の現在の状況が表示されます。

■ ご注文 — ［ご注文］をクリックすると、自動的に消耗品の注文ページにアクセスします。アクセス先のアドレスは、アドバンスドオプション画面で変更できます。

■ 情報の更新 — 消耗品の状況を再チェックし表示します。

［ヘルプ］をクリックするとステータスモニタの解説画面が表示されます。あわせてごらんください。

PostScript ドライバまたは PCL ドライバをお使いの場合は、プリンタドライバの設定画面からも、消耗品の現在の状況を確認できます。プリンタドライバの設定画面で「装置情報」タブに表示される［消耗品情報］ボタンをクリックすると、消耗品情報画面が表示されます。

ステータスモニタの警告の確認

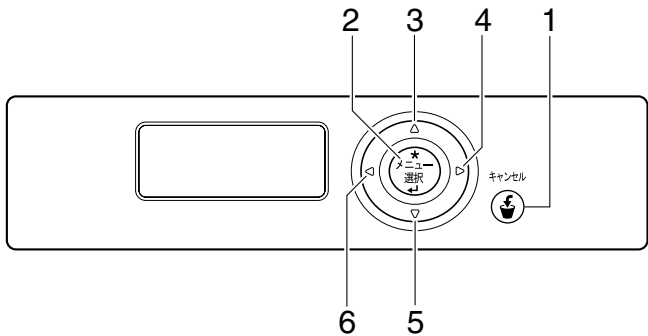
ステータスモニタがプリンタの問題を検知すると、タスクバーにあるアイコンが、プリンタの問題の重大度によって、緑色から黄色、橙色または赤色に変わります。

Waste Toner Box（廃トナーボトル）は、「レディ」、「交換時期」、「交換」で表示されます。

ステータスモニタで表示される消耗品の残量表示は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

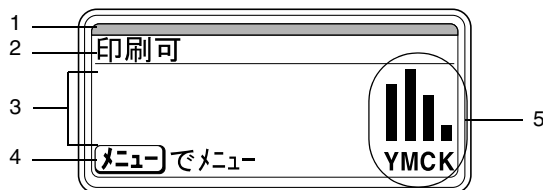
ステータスモニタの警告の解除

ステータスモニタがプリンタの問題の発生を検知しているときに、タスクバーにあるステータスモニタアイコンをダブルクリックしてステータスモニタを開きます。ステータスモニタには、発生したエラーの内容が表示されます。

ステータスモニタを閉じる

［閉じる］をクリックしステータスモニタの画面を閉じます。ステータスモニタを終了する場合は、タスクバーにあるステータスモニタアイコンを右クリックし、［終了］をクリックしてください。

4 操作パネルとメニュー

操作パネルについて

プリンタ上部にある操作パネルでは、直接プリンタの操作を行うことができます。また、メッセージウィンドウにはプリンタの状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。

操作パネルのランプ／キー

No.	キー	機能
1	キャンセル	■ 表示中のメニューや、設定変更を取り消します。 ■ 印刷中に、操作パネルから（すべてのあるいは現在処理中の）ジョブをキャンセルできます。 1. ［キャンセル］キーを押します。 2. △または▽キーを押して「現在のｼﾞｮﾌﾞ」または「全てのｼﾞｮﾌﾞ」を選択します。 3. ［メニュー選択］キーを押します。 プリントジョブがキャンセルされます。
2	メニュー 選択	■ 設定メニューが表示されます。 ■ サブメニューあるいは設定項目が表示されます。 ■ 選択した設定を決定します。 ■ メッセージウィンドウには ﾒﾆｭｰ と表示されます。
3	△	■ カーソルを上に移動します。 ■ ヘルプ画面からステータス画面へ戻ります。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の前の文字が表示されます。 ■ メッセージウィンドウには、と表示されます。

No.	キー	機能
4	▷	■ カーソルを右に移動します。 ■ ヘルプ画面表示時に次の画面を表示します。 ■ メッセージウィンドウには と表示されます。
5	▽	■ カーソルを下に移動します。 ■ エラー発生時にヘルプ画面を表示します。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の次の文字が表示されます。 ■ メッセージウィンドウには、と表示されます。
6	◁	■ カーソルを左に移動します。 ■ ヘルプ画面表示時に前の画面を表示します。 ■ メッセージウィンドウには と表示されます。

メッセージウィンドウの表示について

本プリンタはメッセージウィンドウでプリンタの状態や、おおよそのトナー残量、エラーメッセージなどを確認できます。

No.	詳細
1	メッセージウィンドウ内上部で、赤または青のインジケータが点灯／点滅してプリンタの現在の状況を表示します。 ■ 印刷可：青のインジケータが点灯します。 ■ 印刷中：青のインジケータが点滅します。 ■ セーフモード：青のインジケータが点灯し、メッセージウィンドウが消灯します。 ■ エラー：赤のインジケータが点灯します。
2	■ プリンタの現在の状態が表示されます。 ■ オペーレータコール、サービスコール時には、アイコンとエラーの状態が表示されます。 ■ 警告時にはアイコンが表示されます。 ■ デジタルカメラとコニカミノルタデジタルカメラダイレクト印刷用ポートを USB ケーブルで接続すると、アイコンが表示されます。 ■ USB メモリをコニカミノルタデジタルカメラダイレクト印刷用ポートに接続すると、アイコンが表示されます。 ■ プリントジョブ受信中はアイコンが、カメラダイレクトまたはメモリダイレクトプリントジョブ受信中はアイコンが表示されます。
3	■ 警告などのメッセージが表示されます。 ■ プリントジョブ受信中の場合ユーザ名と、印刷の進捗状況が表示されます。 ■ ファームウェアのアップデート時は、アップデートしているファームウェアの種類と、アップデートの進捗状況が表示されます。

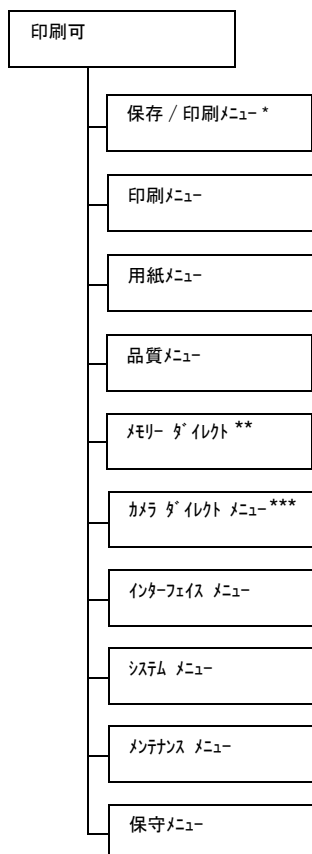
No.	詳細
4	キー操作のガイダンスが表示されます。
5	おおよそのトナーの残量が表示されます。

ヘルプ画面について

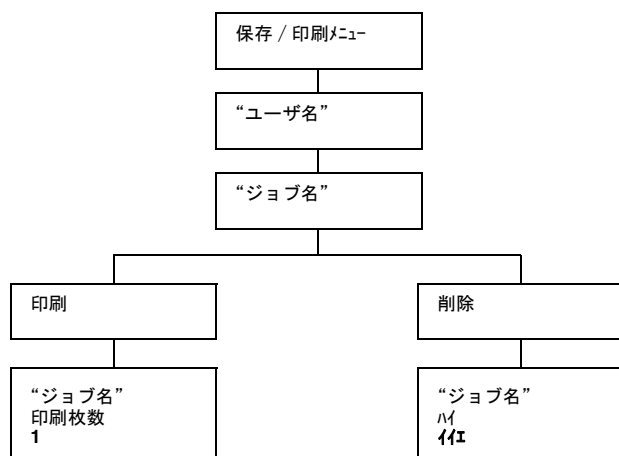
紙詰まりなどのエラーが発生した時に▽キーを押すと、エラーを処理するためのヘルプ画面が表示されます。

操作パネルのメニュー一覧

本プリンタの操作パネルで設定できるメニューの構成を以下に示します。

メインメニュー

* 本メニューはオプションのハードディスクキットを装着している場合に表示されます。
** 本メニューはオプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュカードを装着し、「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ﾒﾓﾘｰ ﾀﾞｲﾚｸﾄ」を「有効」に設定している場合に表示されます。
*** 本メニューは「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ」を「有効」に設定している場合に表示されます。

「ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ」「ﾒﾓﾘｰ ﾀﾞｲﾚｸﾄ」は、ユーザ認証機能においてパブリックユーザーを許可していない場合は表示されません。ユーザ認証機能について詳しくは、「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

保存 / 印刷メニュー

 本メニューはオプションのハードディスクキットを装着している場合に表示されます。

本メニューでは、プリンタドライバの「基本設定」タブにある「ジョブの印刷 / 保存」でハードディスクに保存するように設定されたプリントジョブを印刷するか削除するかを設定できます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

保存ジョブの印刷 / 削除手順

1 以下の手順に従ってジョブを選択します。

押すキー	メッセージウィンドウ
* メニュー 選択 ↵	「保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ」
* メニュー 選択 ↵	ユーザ名 ハードディスクにプリントジョブが保存されていない場合は、「保存ジョブなし」と表示されます。

押すキー	メッセージウィンドウ
△、▽ 希望するユーザ名が表示されるまで押します。	希望するユーザ名
* メニュー選択 ↵	ジョブ名
△、▽ 希望するジョブ名が表示されるまで押します。	希望するジョブ名
* メニュー選択 ↵	「印刷」 「削除」 選択したプリントジョブがプリンタドライバで「機密印刷」に設定されていた場合、パスワード入力画面が表示されます。パスワードの入力方法については、「パスワードの入力手順」（p.96）をごらんください。

2 「印刷」または「削除」を選択し、［メニュー選択］キーを押します。

「印刷」を選択した場合は、手順 3 へ進んでください。
「削除」を選択した場合は、手順 5 へ進んでください。

3 印刷する部数を △、▽ キーを押して設定します。（設定値：1 ～ 999、工場出荷時の設定値：1）

4 ［メニュー選択］キーを押します。
印刷が開始されます。

5 「ﾊｲ」または「ｲｲｴ」を選択します。

6 ［メニュー選択］キーを押します。
「ﾊｲ」を選択した場合は、プリントジョブが消去されます。
「ｲｲｴ」を選択した場合は、印刷 / 削除選択画面に戻ります。

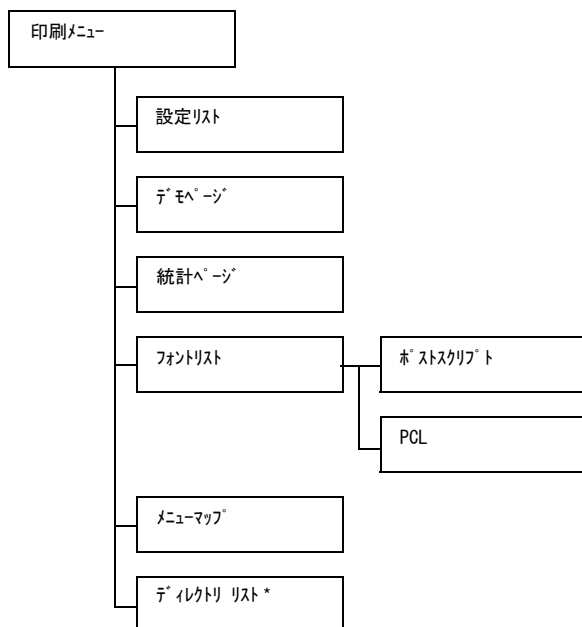
パスワードの入力手順

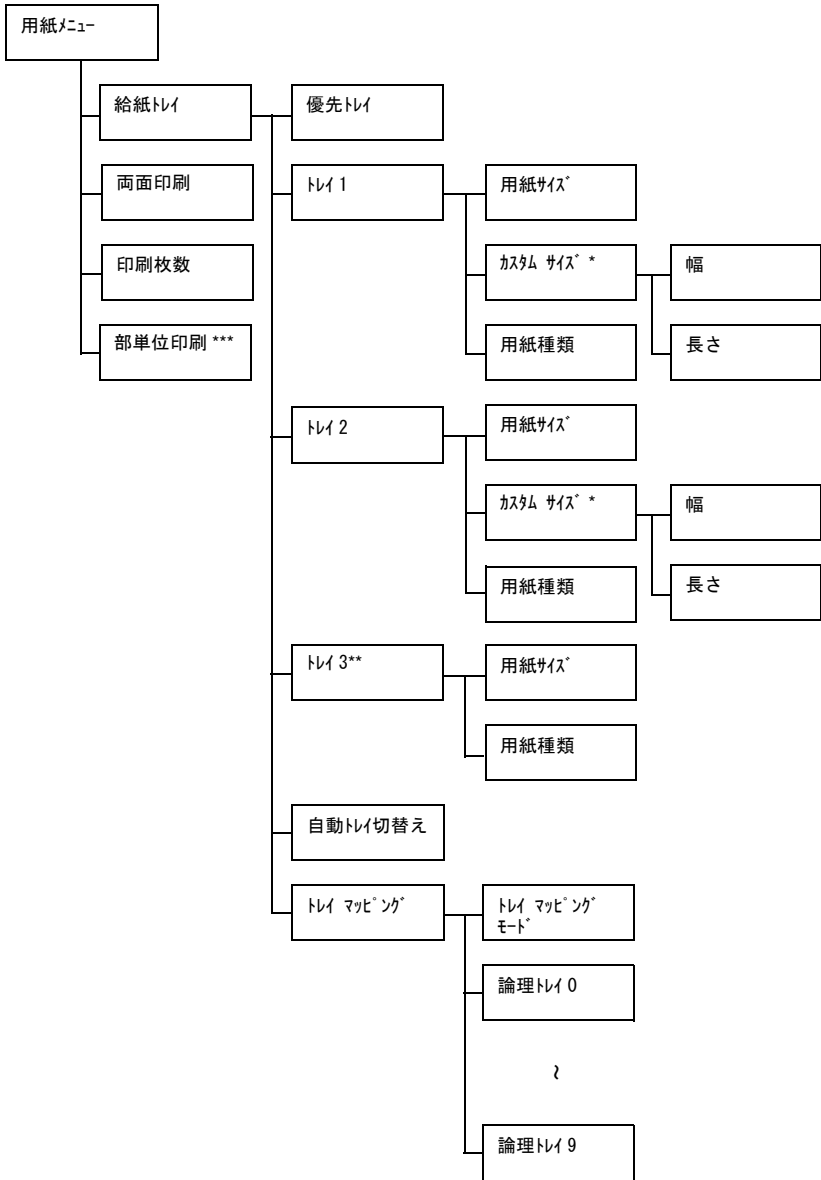
「保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ」で選択したプリントジョブが「機密印刷」だった場合、パスワード入力画面が表示されます。プリンタドライバで設定した 4 桁のパスワードを以下の手順で入力してください。

1 △、▽キーを押し、パスワードの 1 桁目を設定します。
2 ▷キーを押し、カーソルを 2 桁目へ移動します。
3 △、▽キーを押し、パスワードの 2 桁目を設定します。
4 同様に 4 桁目までのパスワードを設定します。
5 ［メニュー選択］キーを押します。
印刷 / 削除選択画面が表示されます。

入力したパスワードが正しくない場合は、「無効です」と表示され、パスワード入力画面へ戻ります。

印刷メニュー

本メニューでは、統計ページや、デモページなどのプリンタに関する情報を印刷できます。

* 本メニューはオプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュカードを装着している場合に表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="2">設定ﾘｽﾄ</td><td>設定</td><td colspan="2">印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="3">設定リストページを印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ</td><td>設定</td><td colspan="2">印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="3">デモページを印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">統計ﾍﾟｰｼﾞ</td><td>設定</td><td colspan="2">印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="3">印刷枚数などの統計ページを印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ﾌｫﾝﾄﾘｽﾄ</td><td rowspan="2">ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ</td><td>設定</td><td>印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="2">ポストスクリプトのフォントリストを印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PCL</td><td>設定</td><td>印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="2">PCL のフォントリストを印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ</td><td>設定</td><td colspan="2">印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="3">メニューマップを印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ ﾘｽﾄ</td><td>設定</td><td colspan="2">印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="3">ハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュカードのディレクトリリストを印刷します。</td></tr>
</table>

統計データページで表示されるサプライ品 / パーツの残量表示とカバレージ情報は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

用紙メニュー

本メニューでは、印刷で使用する用紙の管理ができます。

* 本メニューは「用紙ｻｲｽﾞ」を「ｶｽﾀﾑ」に設定している場合に表示されます。
** 本メニューはオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
*** 本メニューはオプションのハードディスクキットまたは 1GB 以上のコンパクトフラッシュカードを装着している場合に表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

給紙ﾄﾚｲ	優先ﾄﾚｲ	設定		ﾄﾚｲ 1/ **ﾄﾚｲ 2**/ ﾄﾚｲ 3
		通常使用する給紙トレイを設定します。 *「ﾄﾚｲ 3」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。*		
	ﾄﾚｲ 1	用紙ｻｲｽﾞ	設定	任意 / ﾚﾀｰ / ﾘｰｶﾞﾙ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ /**A4**/ A5/A6/B5/B6/G. ﾚﾀｰ /STATEMENT/ FOLIO/SP FOLIO/UK QUARTO/ FOOLSCAP/G.ﾘｰｶﾞﾙ/16K/PHOTO 10×15/ ｶｲ 16/ ｶｲ 32/ 洋形 2 号 / 封筒 DL/ 洋形 6 号 / 長形 3 号 / 長形 4 号 /B5（ISO）/ 封筒 #10/ ﾊｶﾞｷ / 往復ﾊｶﾞｷ / ｶｽﾀﾑ
			トレイ 1 にセットする用紙のサイズを選択して設定します。 *「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 用紙設定 / 計測単位」を「ｲﾝﾁ」に設定すると、「PHOTO 10x15」は「PHOTO 4x6」に変更されます。*	

<table>
<tr>
<td rowspan="5"></td>
<td rowspan="3"></td>
<td>ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ</td>
<td colspan="2">トレイ 1 にセットした用紙がカスタムサイズの場合、用紙のサイズを設定します。

「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 用紙設定 / 計測単位」の設定により設定単位はミリメートルまたは、インチに切換わります。

幅の設定範囲

■ ミリメートルの場合：92 mm ～ 216 mm
（工場出荷時の設定値は 210 mm）

■ インチの場合：3.63 ｲﾝﾁ～ 8.50 ｲﾝﾁ
（工場出荷時の設定値は 8.27 ｲﾝﾁ）

長さの設定範囲

■ ミリメートルの場合：148 mm ～ 356 mm
（工場出荷時の設定値は 297 mm）

■ インチの場合：5.83 ｲﾝﾁ～ 14.00 ｲﾝﾁ
（工場出荷時の設定値は 11.69 ｲﾝﾁ）</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="2">用紙種類</td>
<td>設定</td>
<td>任意 / 普通紙 / 再生紙 / 厚紙 1/ 厚紙 2/ﾗﾍﾞﾙ紙 /OHPﾌｨﾙﾑ/ 封筒 /ﾊｶﾞｷ/ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ / 光沢紙 1/ 光沢紙 2</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">トレイ 1 にセットする用紙の種類を選択して設定します。</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="2">ﾄﾚｲ 2</td>
<td rowspan="2">用紙ｻｲｽﾞ</td>
<td>設定</td>
<td>任意 / ﾚﾀｰ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ /A4/A5/ A6/B5/B6/G. ﾚﾀｰ /STATEMENT/ UK QUARTO/16K/ PHOTO10 × 15/ ｶｲ 16/ ｶｲ 32/ ｶｽﾀﾑ</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">トレイ 2 にセットする用紙のサイズを選択して設定します。

「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 用紙設定 / 計測単位」を「ｲﾝﾁ」に設定すると、「PHOTO10x15 」は「PHOTO 4x6 」に変更されます。</td>
</tr>
</table>

		ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ	トレイ 2 にセットした用紙がカスタムサイズの場合、用紙のサイズを設定します。 「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 用紙設定 / 計測単位」の設定により設定単位はミリメートルまたは、インチに切換わります。 幅の設定範囲 ■ ミリメートルの場合：92 mm ～ 216 mm（工場出荷時の設定値は 210 mm） ■ インチの場合：3.63 ｲﾝﾁ～ 8.50 ｲﾝﾁ（工場出荷時の設定値は 8.27 ｲﾝﾁ） 長さの設定範囲 ■ ミリメートルの場合：148 mm ～ 297 mm（工場出荷時の設定値は 297 mm） ■ インチの場合：5.83 ｲﾝﾁ～ 11.69 ｲﾝﾁ（工場出荷時の設定値は 11.69 ｲﾝﾁ）	
		用紙種類	設定	任意 / **普通紙** / 再生紙
			トレイ 2 にセットする用紙の種類を選択して設定します。	
	ﾄﾚｲ 3	用紙ｻｲｽﾞ	トレイ 3 にセットされている用紙のサイズが表示されます。 本メニューは表示のみです。設定の変更はできません。	
		用紙種類	設定	任意 / **普通紙** / 再生紙
			トレイ 3 にセットする用紙の種類を選択して設定します。	
	自動ﾄﾚｲ切替え	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ	
		「ｵﾝ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 「ｵﾌ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。		

<table>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">ﾄﾚｲ
ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ</td><td rowspan="2">ﾄﾚｲ
ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ
ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">トレイマッピング機能を使用するかしないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">論理ﾄﾚｲ
0 ～ 9</td><td>設定</td><td>物理ﾄﾚｲ 1/ 物理ﾄﾚｲ 2/ 物理ﾄﾚｲ 3</td></tr>
<tr><td colspan="2">他社のプリンタドライバからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。

「論理ﾄﾚｲ 1」のみ工場出荷時の設定値が「物理ﾄﾚｲ 1」に設定されています。「論理ﾄﾚｲ 1」以外は、「物理ﾄﾚｲ 2」が工場出荷時の設定値です。

「物理ﾄﾚｲ 3」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">両面印刷</td><td>設定</td><td colspan="3">ｵﾌ / 長辺綴じ / 短辺綴じ</td></tr>
<tr><td colspan="4">「長辺綴じ」に設定した場合は、横にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。

「短辺綴じ」に設定した場合は、縦にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。

プリンタドライバでの設定が本メニューの設定より優先されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷枚数</td><td>設定</td><td colspan="3">1 ～ 9999</td></tr>
<tr><td colspan="4">印刷部数を設定します。

プリンタドライバでの設定が本メニューの設定より優先されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">部単位印刷</td><td>設定</td><td colspan="3">ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="4">複数部印刷する場合に部単位で印刷するかしないかを設定します。

「ｵﾝ」に設定した場合は、部単位印刷を行います。

「ｵﾌ」に設定した場合は、部単位印刷を行いません。

プリンタドライバでの設定が本メニューの設定より優先されます。

本メニューはオプションのハードディスクキットまたは1GB 以上のコンパクトフラッシュカードを装着している場合に表示されます。</td></tr>
</table>

品質メニュー

本メニューでは、印刷品質に関する設定ができます。

PCL 印刷設定
コントラスト
イメージ印刷
RGB ソース
RGB 特性
グレー再現
テキスト印刷
RGB ソース
RGB 特性
グレー再現
グラフィックス印刷
RGB ソース
RGB 特性
グレー再現

PS 印刷設定
ｲﾒｰｼﾞ 印刷
RGB ｿｰｽ
RGB 特性
ｸﾞ ﾚｰ再現
出力ﾌﾟ ﾛﾌｧｲﾙ
ﾃｷｽﾄ印刷
RGB ｿｰｽ
RGB 特性
ｸﾞ ﾚｰ再現
出力ﾌﾟ ﾛﾌｧｲﾙ
ｸﾞ ﾗﾌｨｯｸｽ印刷
RGB ｿｰｽ
RGB 特性
ｸﾞ ﾚｰ再現
出力ﾌﾟ ﾛﾌｧｲﾙ
ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ
ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟ ﾛﾌｧｲﾙ
ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ特性
CMYK ｸﾞ ﾚｲ再現

階調補正
濃度補正
画像安定化制御
CMYK 濃度調整
ｼｱﾝ
ﾊｲﾗｲﾄ部
中間部
ｼｬﾄﾞｳ部
ﾏｾﾞﾝﾀ
ﾊｲﾗｲﾄ部
中間部
ｼｬﾄﾞｳ部
ｲｴﾛｰ
ﾊｲﾗｲﾄ部
中間部
ｼｬﾄﾞｳ部
ﾌﾞﾗｯｸ
ﾊｲﾗｲﾄ部
中間部
ｼｬﾄﾞｳ部
ｶﾗｰｾﾊﾟﾚｰｼｮﾝ

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="2">ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td colspan="2">ｶﾗｰ / ﾓﾉｸﾛ</td></tr>
<tr><td colspan="3">フルカラーで印刷するかモノクロで印刷するかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">明るさ調整</td><td>設定</td><td colspan="2">-15%/-10%/-5%/0%/+5%/+10%/+15%</td></tr>
<tr><td colspan="3">印刷する画像の明るさを調節します。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ｽｸﾘｰﾝ</td><td>ｲﾒｰｼﾞ印刷</td><td>設定</td><td>高精細 / 精細 / ｽﾑｰｽﾞ</td></tr>
<tr><td colspan="3">イメージの中間色の再現性を設定します。
「高精細」に設定すると、高精密に中間色を再現します。
「精細」に設定すると、詳細に中間色を再現します。
「ｽﾑｰｽﾞ」に設定すると、スムーズに中間色を再現します。</td></tr>
<tr><td>ﾃｷｽﾄ印刷</td><td>設定</td><td>高精細 / 精細 / ｽﾑｰｽﾞ</td></tr>
<tr><td colspan="3">テキストの中間色の再現性を設定します。
「高精細」に設定すると、高精密に中間色を再現します。
「精細」に設定すると、詳細に中間色を再現します。
「ｽﾑｰｽﾞ」に設定すると、スムーズに中間色を再現します。</td></tr>
<tr><td>ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷</td><td>設定</td><td>高精細 / 精細 / ｽﾑｰｽﾞ</td></tr>
<tr><td colspan="3">グラフィックの中間色の再現性を設定します。
「高精細」に設定すると、高精密に中間色を再現します。
「精細」に設定すると、詳細に中間色を再現します。
「ｽﾑｰｽﾞ」に設定すると、スムーズに中間色を再現します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="6">ｴｯｼﾞ強調</td><td>ｲﾒｰｼﾞ印刷</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="3">イメージのエッジを強調します。
「ｵﾝ」に設定するとエッジを強調します。
「ｵﾌ」に設定するとエッジを強調しません。
「ｴｺﾉﾐｰ印刷」が「ｵﾝ」に設定されている場合、エッジの強調は行いません。</td></tr>
<tr><td>ﾃｷｽﾄ印刷</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="3">テキストのエッジを強調します。
「ｵﾝ」に設定するとエッジを強調します。
「ｵﾌ」に設定するとエッジを強調しません。</td></tr>
<tr><td>ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="3">グラフィックのエッジを強調します。
「ｵﾝ」に設定するとエッジを強調します。
「ｵﾌ」に設定するとエッジを強調しません。
「ｴｺﾉﾐｰ印刷」が「ｵﾝ」に設定されている場合、エッジの強調は行いません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｴｯｼﾞ強度</td><td>設定</td><td colspan="2">ｵﾌ / 弱 / 中 / 強</td></tr>
<tr><td colspan="3">エッジを強くする場合、付加するエッジ強度ドットの強さを設定します。
「ｵﾌ」を選択するとエッジ強度ドットを付加しません。
「弱」を選択するとエッジ強度ドットを弱めに付加します。
「中」を選択するとエッジ強度ドットを付加します。
「強」を選択するとエッジ強度ドットを強めに付加します。
本設定を「ｵﾌ」にすると、「ｴｯｼﾞ強調」の各設定が「ｵﾝ」に設定されていても、エッジ強調は行われません。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">ｴｺﾉﾐｰ印刷</td><td>設定</td><td colspan="4">ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="5">トナー消費量を抑えた印刷を行うかどうかを設定します。
「ｵﾝ」に設定すると消費量を抑えた印刷を行います。
「ｵﾌ」に設定すると消費量を抑えた印刷を行いません。
本設定を「ｵﾝ」にすると、「ｴｯｼﾞ強調」の「ｲﾒｰｼﾞ印刷」と「ｸﾞﾗﾌｨｯｸ印刷」が「ｵﾝ」に設定されていても、エッジ強調は行われません。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">PCL 印刷設定</td><td rowspan="2">ｺﾝﾄﾗｽﾄ</td><td>設定</td><td colspan="3">-15%/-10%/-5%/0%/+5%/+10%/+15%</td></tr>
<tr><td colspan="4">印刷する画像のコントラストを調節します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ｲﾒｰｼﾞ印刷</td><td rowspan="2">RGB ｿｰｽ</td><td>設定</td><td colspan="2">ﾃﾞﾊﾞｲｽ色 /sRGB</td></tr>
<tr><td colspan="3">RGB の画像データのカラースペースを設定します。
「ﾃﾞﾊﾞｲｽ色」を選択した場合は、本プリンタのデバイスプロファイルを使用します。
ダウンロードマネージャーで RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">RGB 特性</td><td>設定</td><td colspan="2">鮮やか / 写真調</td></tr>
<tr><td colspan="3">RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。
「鮮やか」を選択した場合は、鮮やかな出力になります。
「写真調」を選択した場合は、より明るい出力になります。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="6">PCL 印刷設定</td><td rowspan="2">ｲﾒｰｼﾞ印刷</td><td rowspan="2">ｸﾞﾚｰ再現</td><td>設定</td><td>4 色（CMYK）ﾄﾅｰ / 全て黒（K）ﾄﾅｰ / 黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">RGB の画像データの黒色とグレイの再現方法を設定します。

「4 色（CMYK）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、CMYK を使用して再現します。

「全て黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、グレイスケールのみブラックを使用して再現します。

「黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、黒色のみブラックを使用して再現します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ﾃｷｽﾄ印刷</td><td rowspan="2">RGB ｿｰｽ</td><td>設定</td><td>ﾃﾞﾊﾞｲｽ色 /sRGB</td></tr>
<tr><td colspan="2">RGB のテキストデータのカラースペースを設定します。

「ﾃﾞﾊﾞｲｽ色」を選択した場合は、カラースペースを設定しません。

ダウンロードマネージャーで RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">RGB 特性</td><td>設定</td><td>鮮やか / 写真調</td></tr>
<tr><td colspan="2">RGB のテキストデータを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。

「鮮やか」を選択した場合は、鮮やかな出力になります。

「写真調」を選択した場合は、より明るい出力になります。</td></tr>
</table>

PCL 印刷設定	ﾃｷｽﾄ印刷	ｸﾞﾚｰ再現	設定	4 色（CMYK）ﾄﾅｰ / **全て黒（K）ﾄﾅｰ** / 黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ
			RGB のテキストデータの黒色とグレイの再現方法を設定します。 「4 色（CMYK）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、CMYK を使用して再現します。 「全て黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、グレイスケールのみブラックを使用して再現します。 「黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、黒色のみブラックを使用して再現します。	
	ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷	RGB ｿｰｽ	設定	ﾃﾞﾊﾞｲｽ色 /**sRGB**
			RGB のグラフィックデータのカラースペースを設定します。 「ﾃﾞﾊﾞｲｽ色」を選択した場合は、カラースペースを設定しません。 ダウンロードマネージャーで RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
		RGB 特性	設定	**鮮やか** / 写真調
			RGB のグラフィックデータを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 「鮮やか」を選択した場合は、鮮やかな出力になります。 「写真調」を選択した場合は、より明るい出力になります。	

<table>
<tr><td rowspan="2">PCL 印刷
設定</td><td rowspan="2">ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ
印刷</td><td rowspan="2">ｸﾞﾚｰ再現</td><td>設定</td><td>4 色（CMYK）ﾄﾅｰ / 全て黒（K）ﾄﾅｰ / 黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">RGB のグラフィックデータの黒色とグレイの再現方法を設定します。

「4 色（CMYK）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、CMYK を使用して再現します。

「全て黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、グレイスケールのみブラックを使用して再現します。

「黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、黒色のみブラックを使用して再現します。</td></tr>
</table>

PS 印刷設定	ｲﾒｰｼﾞ印刷	RGB ｿｰｽ	設定	ﾃﾞﾊﾞｲｽ色 /**sRGB**/AppleRGB/ AdobeRGB1998/ ColorMatchRGB/ BlueAdjustRGB
			RGB のテキストデータのカラースペースを設定します。 「ﾃﾞﾊﾞｲｽ色」を選択した場合は、カラースペースを設定しません。 ダウンロードマネージャーで RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
		RGB 特性	設定	鮮やか / **写真調** / 相対色 / 絶対色
			RGB のテキストデータを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 「鮮やか」を選択した場合は、鮮やかな出力になります。 「写真調」を選択した場合は、より明るい出力になります。 「相対色」を選択した場合は、相対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。 「絶対色」を選択した場合は、絶対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。	

PS 印刷設定	ｲﾒｰｼﾞ印刷	ｸﾞﾚｰ再現	設定	**4 色（CMYK）ﾄﾅｰ** / 全て黒（K）ﾄﾅｰ / 黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ
			RGB のテキストデータの黒色とグレイの再現方法を設定します。 「4 色（CMYK）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、CMYK を使用して再現します。 「全て黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、グレイスケールのみブラックを使用して再現します。 「黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、黒色のみブラックを使用して再現します。	
		出力ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ	設定	**自動**
			出力プロファイルを設定します。 「自動」に設定した場合は、設定されたカラーマッチングや、中間色、他のプロファイルの組み合わせにより、プリンタが自動的に適応する出力プロファイルを選択します。 ダウンロードマネージャーで出力プロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	

PS 印刷設定	ﾃｷｽﾄ印刷	RGB ｿｰｽ	設定	ﾃﾞﾊﾞｲｽ色 /**sRGB**/AppleRGB/ AdobeRGB1998/ ColorMatchRGB/ BlueAdjustRGB
			RGB のテキストデータのカラースペースを設定します。 「ﾃﾞﾊﾞｲｽ色」を選択した場合は、カラースペースを設定しません。 ダウンロードマネージャーで RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
		RGB 特性	設定	**鮮やか** / 写真調 / 相対色 / 絶対色
			RGB のテキストデータを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 「鮮やか」を選択した場合は、鮮やかな出力になります。 「写真調」を選択した場合は、より明るい出力になります。 「相対色」を選択した場合は、相対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。 「絶対色」を選択した場合は、絶対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。	

PS 印刷設定	ﾃｷｽﾄ印刷	ｸﾞﾚｰ再現	設定	4 色（CMYK）ﾄﾅｰ / **全て黒（K）ﾄﾅｰ** / 黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ
			RGB のテキストデータの黒色とグレイの再現方法を設定します。 「4 色（CMYK）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、CMYK を使用して再現します。 「全て黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、グレイスケールのみブラックを使用して再現します。 「黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、黒色のみブラックを使用して再現します。	
		出力ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ	設定	**自動**
			出力プロファイルを設定します。 「自動」に設定した場合は、設定されたカラーマッチングや、中間色、他のプロファイルの組み合わせにより、プリンタが自動的に適応する出力プロファイルを選択します。 ダウンロードマネージャーで出力プロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	

PS 印刷設定	ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷	RGB ｿｰｽ	設定	ﾃﾞﾊﾞｲｽ色 /**sRGB**/AppleRGB/AdobeRGB1998/ColorMatchRGB/BlueAdjustRGB
			RGB のテキストデータのカラースペースを設定します。 「ﾃﾞﾊﾞｲｽ色」を選択した場合は、カラースペースを設定しません。 ダウンロードマネージャーで RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
		RGB 特性	設定	**鮮やか** / 写真調 / 相対色 / 絶対色
			RGB のテキストデータを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 「鮮やか」を選択した場合は、鮮やかな出力になります。 「写真調」を選択した場合は、より明るい出力になります。 「相対色」を選択した場合は、相対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。 「絶対色」を選択した場合は、絶対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。	

<table>
<tr><td rowspan="4">PS 印刷設定</td><td rowspan="4">ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷</td><td rowspan="2">ｸﾞﾚｰ再現</td><td>設定</td><td>4 色（CMYK）ﾄﾅｰ / 全て黒（K）ﾄﾅｰ / 黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">RGB のテキストデータの黒色とグレイの再現方法を設定します。
「4 色（CMYK）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、CMYK を使用して再現します。
「全て黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、グレイスケールのみブラックを使用して再現します。
「黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、黒色のみブラックを使用して再現します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出力ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ</td><td>設定</td><td>自動</td></tr>
<tr><td colspan="2">出力プロファイルを設定します。
「自動」に設定した場合は、設定されたカラーマッチングや、中間色、他のプロファイルの組み合わせにより、プリンタが自動的に適応する出力プロファイルを選択します。
ダウンロードマネージャーで出力プロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。</td></tr>
</table>

PS 印刷設定	ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ	設定	**なし** /SWOP/Euroscale/CommercialPress/TOYO/DIC
			シミュレーションプロファイルを選択します。 「なし」を選択した場合は、シミュレーションプロファイルを設定しません。 ダウンロードマネージャーでシミュレーションプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ特性	設定	**相対色** / 絶対色
			シミュレーションプロファイルの特性を設定します。 「相対色」を選択した場合は、相対色がシミュレーションプロファイルに反映されます。 「絶対色」を選択した場合は、絶対色がシミュレーションプロファイルに反映されます。	
		CMYK ｸﾞﾚｲ再現	設定	**4 色（CMYK）ﾄﾅｰ** / 全て黒（K）ﾄﾅｰ / 黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ
			CMYK の 4 色で作成された黒色とグレイの再現方法を設定します。 「4 色（CMYK ）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、4 色のトナーを使用して黒色とグレイを再現します。 「全て黒（K ）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、グレイスケールのみブラックのトナーを使用して再現します。 「黒のみ黒（K ）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、黒色のみブラックのトナーを使用して再現します。	

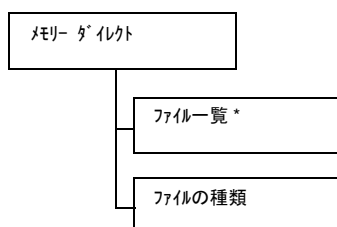
階調補正	濃度補正	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
		「ｵﾝ」にすると画質調整を有効にします。 「ｵﾌ」にすると画質調整を無効にします。	
	画像安定化制御	設定	実行 / **中止**
		「実行」を選択すると、画質調整を実行します。 「中止」を選択した場合は、画質調整を実行しません。	
	CMYK 濃度調整	設定	-3/-2/-1/**0**/+1/+2/+3
		ｼｱﾝ / ﾏｾﾞﾝﾀ / ｲｴﾛｰ / ﾌﾞﾗｯｸの各色ごとに､ﾊｲﾗｲﾄ部 / 中間部 / ｼｬﾄﾞｳ部の CMYK 濃度を設定します。	
ｶﾗｰｾﾊﾟﾚｰｼｮﾝ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**	
	「ｵﾝ」に設定すると、色分解を有効にします。1 ページを YMCK の色要因で分割して黒で 4 ページ印刷します（YMCK 順）。 「ｵﾌ」に設定すると、色分解を無効にします。		

メモリーダイレクト

メモリーダイレクト機能について設定します。

メモリーダイレクトの操作について詳しくは、「メモリーダイレクト印刷をする」（p.158）をごらんください。

本メニューはオプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュカードを装着し、「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ﾒﾓﾘｰ ﾀﾞｲﾚｸﾄ」を「有効」に設定している場合に表示されます。

本メニューはユーザ認証機能においてパブリックユーザーを許可していない場合は表示されません。ユーザ認証機能について詳しくは、「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

*本メニューはUSBポートにUSBメモリを接続した場合に表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="5">ﾌｧｲﾙ一覧</td><td colspan="2">印刷したいファイルを選択して、［メニュー選択］キーを押してください。
印刷したいファイルがフォルダ内にある場合は、フォルダを選択して、［メニュー選択］キーを押してください。</td></tr>
<tr><td>設定</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択したファイルを印刷します。</td></tr>
<tr><td>設定</td><td>中止</td></tr>
<tr><td colspan="2">印刷を行わないでファイル一覧に戻ります。</td></tr>
</table>

ﾌｧｲﾙ一覧	A4	設定	ﾚﾀｰ / ﾘｰｶﾞﾙ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ /**A4**/A5/A6/B5/B6/G. ﾚﾀｰ /STATEMENT/FOLIO/SP FOLIO/UK QUARTO/FOOLSCAP/G. ﾘｰｶﾞﾙ /16K/PHOTO 10x15/ ｶｲ 16/ ｶｲ 32/ 洋形 2 号 / 封筒 DL/ 洋形 6 号 / 長形 3 号 / 長形 4 号 / B5(ISO)/ 封筒 #10/ ﾊｶﾞｷ/ 往復ﾊｶﾞｷ/ ｶｽﾀﾑ
		用紙のサイズを選択して設定します。 *「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 用紙設定 / 計測単位」を「ｲﾝﾁ」に設定すると、「PHOTO 10x15」は「PHOTO 4x6」に変更されます。* *選択したファイルが PDF、XPS ファイルの場合、本メニューは表示されません。*	
	両面印刷 : ｵﾌ	設定	**ｵﾌ** / 長辺綴じ / 短辺綴じ
		両面印刷の設定を行います。 「ｵﾌ」に設定した場合は、両面印刷を行いません。 「長辺綴じ」に設定した場合は、横にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。 「短辺綴じ」に設定した場合は、縦にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。	
	印刷枚数 :1	設定	**1** ～ 9999
		印刷部数を設定します。	
	部単位印刷 : ｵﾌ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
		複数部印刷する場合に部単位で印刷するかしないかを設定します。 「ｵﾝ」に設定した場合は、部単位印刷を行います。 「ｵﾌ」に設定した場合は、部単位印刷を行いません。 *本メニューはオプションのハードディスクキットまたは 1GB 以上のコンパクトフラッシュカードを装着している場合に表示されます。*	

<table>
<tr><td rowspan="2">ﾌｧｲﾙの種類</td><td>設定</td><td>PDF, XPS,JPEG,TIFF/PDF,XPS</td></tr>
<tr><td colspan="2">表示するファイルの種類を選択します。

「PDF, XPS,JPEG,TIFF」に設定した場合は、PDF、XPS、JPEG、TIFF ファイルを表示します。

「PDF,XPS」に設定した場合は、PDF、XPS ファイルのみ表示します。</td></tr>
</table>

カメラダイレクトメニュー

カメラダイレクト機能について設定します。

カメラダイレクトの操作について詳しくは、「カメラダイレクト印刷をする」(p.156) をごらんください。

本メニューは「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ」を「有効」に設定している場合に表示されます。

本メニューはユーザ認証機能においてパブリックユーザーを許可していない場合は表示されません。ユーザ認証機能について詳しくは、「リファレンスガイド」(Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル) をごらんください。

デジタルカメラ側でこれらの設定を行なっている場合は、「ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ」での設定より優先されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

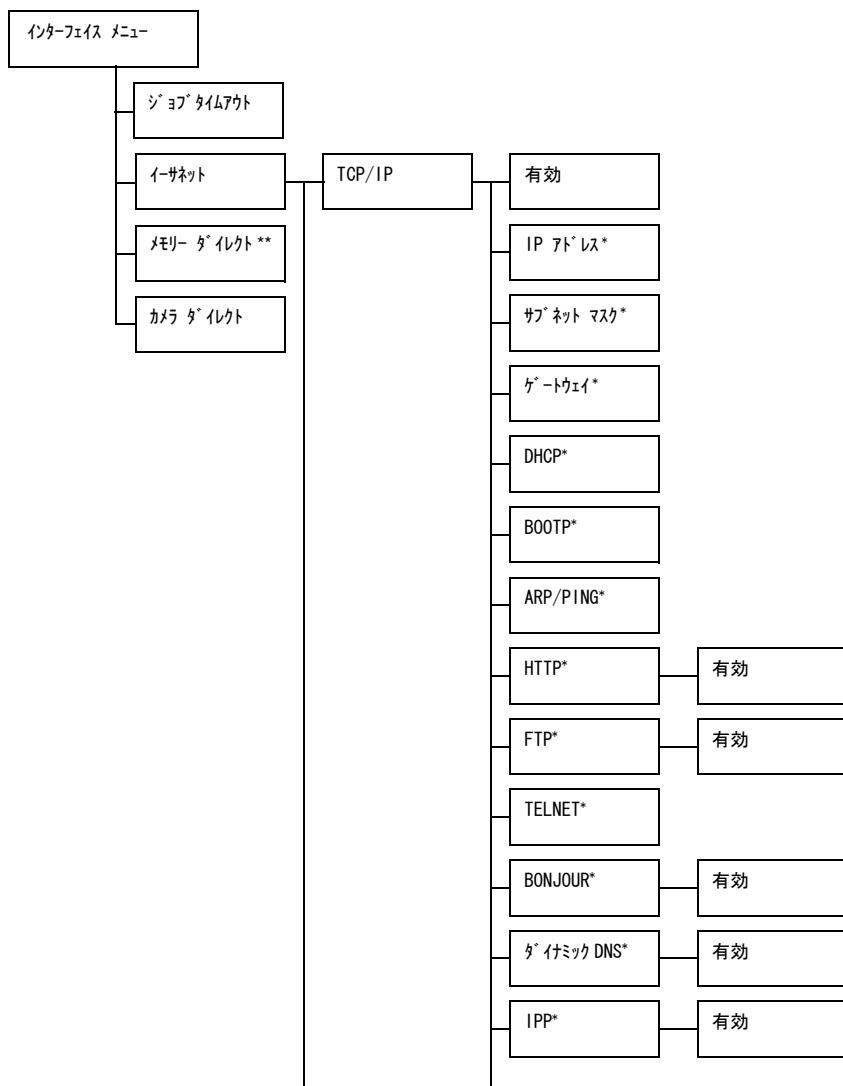
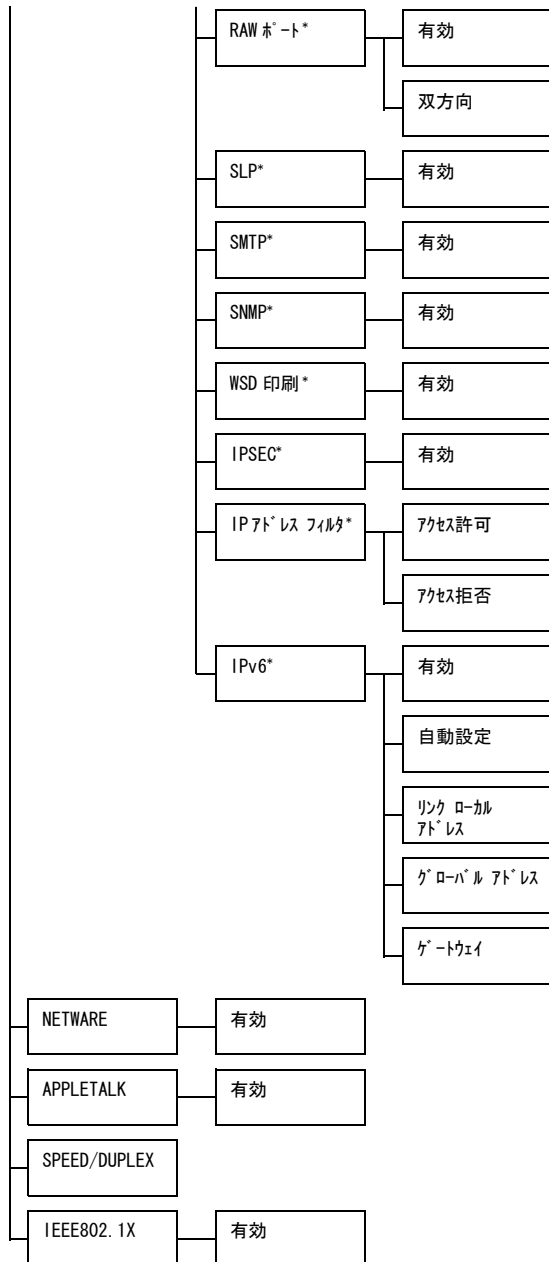
項目			
給紙ﾄﾚｲ	設定	ﾄﾚｲ 1/ **ﾄﾚｲ 2**/ ﾄﾚｲ 3	
	カメラダイレクト印刷で使用する給紙トレイを選択します。 *「ﾄﾚｲ 3」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。*		
ﾚｲｱｳﾄ	設定	**1-UP**/2-UP/3-UP/4-UP/6-UP/8-UP	
	1 枚の用紙に印刷する画像の数を設定します。 「1-UP」に設定した場合は、1 枚の用紙に一つの画像が印刷されます。		
余白量	設定	**標準** / ﾐﾆﾏﾑ	
	余白（印刷されない部分）の量を設定します。 「標準」に設定すると、通常の用紙余白が設定されます。 「ﾐﾆﾏﾑ」に設定すると、余白が縮小されます。		
ｲﾒｰｼﾞ品質	明るさ調整	設定	-15%/-10%/-5%/**0%**/+5%/+10%/+15%
		印刷する画像の明るさを調節します。	
	ｺﾝﾄﾗｽﾄ	設定	-15%/-10%/-5%/**0%**/+5%/+10%/+15%
		印刷する画像のコントラストを調節します。	
	ｴｺﾉﾐｰ印刷	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
		トナー消費量を低減することにより、グラフィックの濃度を下げ印刷を行います。 「ｵﾝ」に設定すると、トナー消費量を低減して印刷します。 「ｵﾌ」に設定すると、トナー消費量を低減しないで印刷します。	
	RGB ｿｰｽ	設定	ﾃﾞﾊﾞｲｽ色 /**sRGB**
		RGB の画像データのカラースペースを設定します。 「ﾃﾞﾊﾞｲｽ色」を選択した場合は、カラースペースは設定されません。	

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">RGB 特性</td><td>設定</td><td>鮮やか / 写真調</td></tr>
<tr><td colspan="2">RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。
「鮮やか」を選択した場合は、鮮やかな出力になります。
「写真調」を選択した場合は、より明るい出力になります。</td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="2">ｸﾞﾚｰ再現</td><td>設定</td><td>4 色（CMYK）ﾄﾅｰ / 全て黒（K）ﾄﾅｰ / 黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">RGB の画像データの黒色とグレイの再現方法を設定します。
「4 色（CMYK）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、CMYK のトナーを使用して再現します。
「全て黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、黒色、グレイともにブラックのトナーを使用して再現します。
「黒のみ黒（K）ﾄﾅｰ」を選択した場合は、黒色のみブラックのトナーを使用して再現します。</td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="2">ｽｸﾘｰﾝ</td><td>設定</td><td>高精細 / 精細 / ｽﾑｰｽﾞ</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">中間色の再現性を設定します。
「高精細」に設定すると、高精密に中間色を再現します。
「精細」に設定すると、詳細に中間色を再現します。
「ｽﾑｰｽﾞ」に設定すると、スムーズに中間色を再現します。</td></tr>
</table>

インターフェイスメニュー

本メニューでは、インターフェイスの設定ができます。

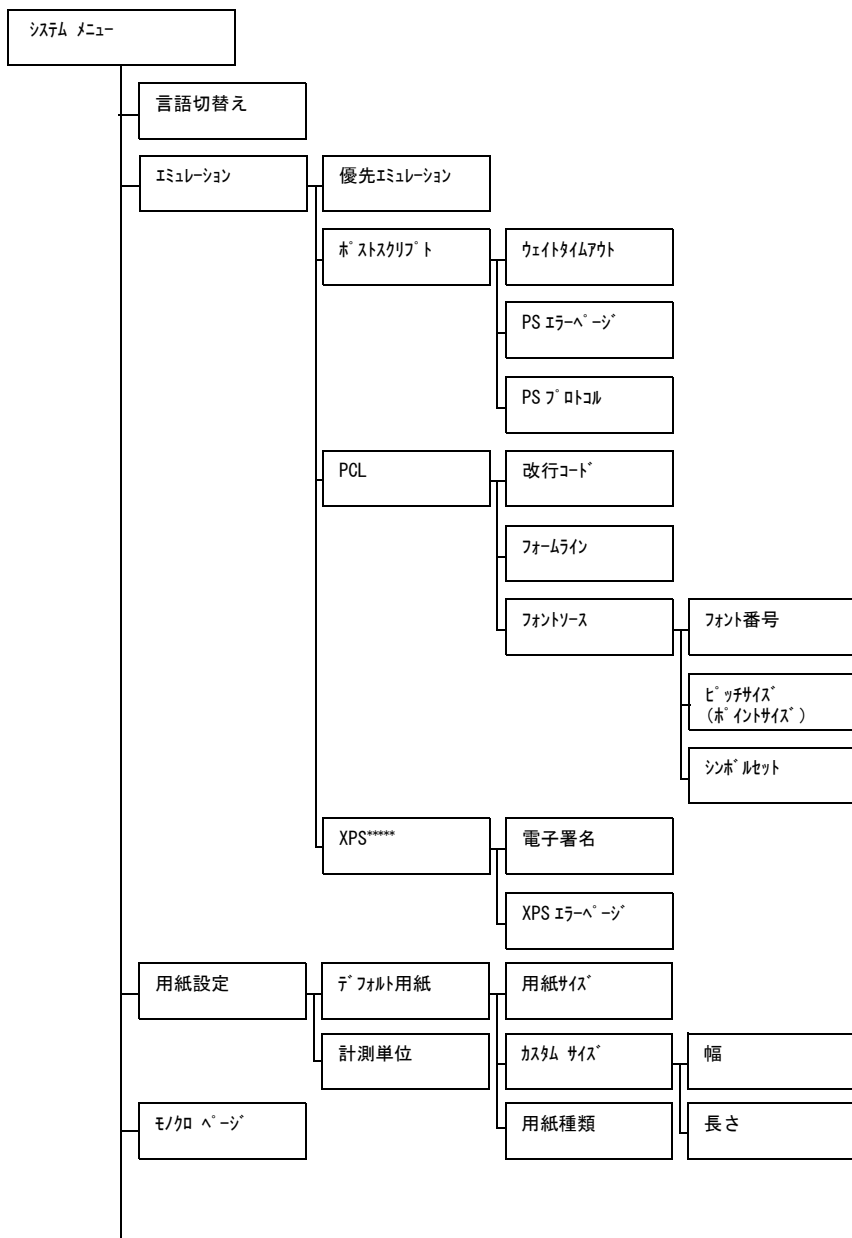
「ｲｰｻﾈｯﾄ」メニューの設定を変更した場合は、プリンタを再起動してください。

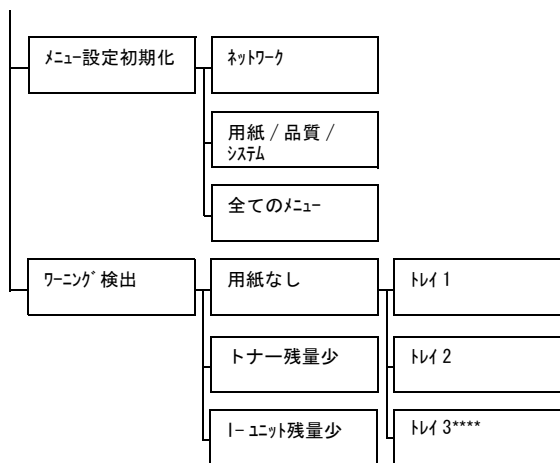
RAW ﾎﾟｰﾄ*
有効
双方向
SLP*
有効
SMTP*
有効
SNMP*
有効
WSD 印刷*
有効
IPSEC*
有効
IP ｱﾄﾞﾚｽ ﾌｨﾙﾀ*
ｱｸｾｽ許可
ｱｸｾｽ拒否
IPv6*
有効
自動設定
ﾘﾝｸ ﾛｰｶﾙ ｱﾄﾞﾚｽ
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ ｱﾄﾞﾚｽ
ｹﾞｰﾄｳｪｲ
NETWARE
有効
APPLETALK
有効
SPEED/DUPLEX
IEEE802.1X
有効

* 本メニューは「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ｲｰｻﾈｯﾄ /TCP/IP」を「有効」に設定している場合に表示されます。
** 本メニューはオプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュカードを装着している場合に表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

ｼﾞｮﾌﾞﾀｲﾑｱｳﾄ	設定	5 秒～ **15 秒**～ 300 秒		
	受信中のプリントジョブのタイムアウトの時間を設定できます。			
ｲｰｻﾈｯﾄ	TCP/IP	有効	設定	ﾊｲ / **ｲｲｴ**
			「ﾊｲ」に設定すると、TCP/IP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、TCP/IP が無効になります。	
		IP ｱﾄﾞﾚｽ	設定	**000.000.000.000**
			本プリンタのネットワーク上の IP アドレスを設定します。 △、▽、◁、▷キーを使って値を入力します。 手動で IP アドレスを設定した場合、DHCP/BOOTP は自動で「ｵﾌ」になります。	
		ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	設定	**000.000.000.000**
			ネットワークのサブネットマスク値を設定します。△、▽、◁、▷キーを使って入力します。	
		ｹﾞｰﾄｳｪｲ	設定	**000.000.000.000**
			ネットワークにルータがある場合に、ルータの IP アドレスを設定します。△、▽、◁、▷キーを使って入力します。	
		DHCP	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
			自動的に IP アドレスを取得するかどうかを設定します。 「ｵﾝ」に設定した場合は、IP アドレスを自動的に取得します。 「ｵﾌ」に設定した場合は、IP アドレスを自動的には取得しません。	

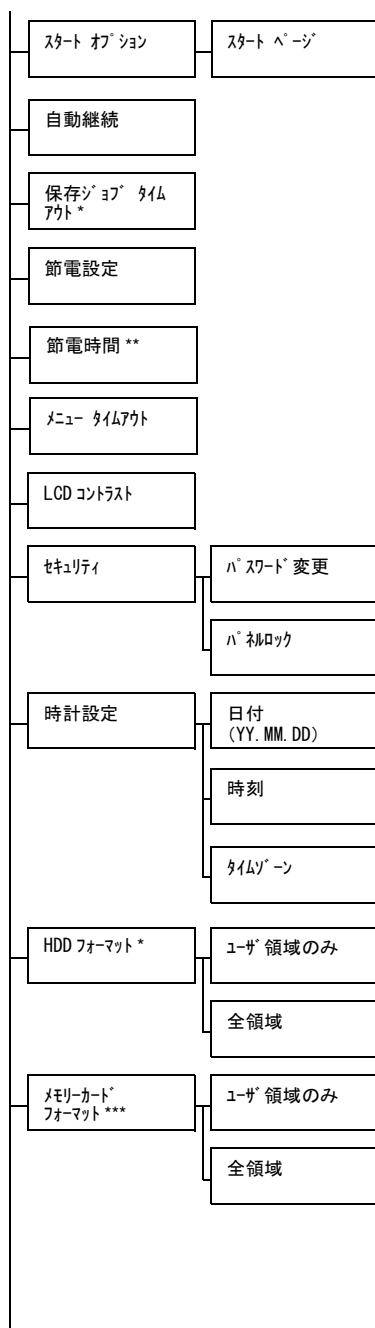
<table>
<tr><td rowspan="20"></td><td rowspan="20"></td><td rowspan="2">BOOTP</td><td>設定</td><td colspan="2">ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="3">自動的に IP アドレスを取得するかどうかを設定します。
「ｵﾝ」に設定した場合は、IP アドレスを自動的に取得します。
「ｵﾌ」に設定した場合は、IP アドレスを自動的には取得しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ARP/
PING</td><td>設定</td><td colspan="2">ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="3">自動的に IP アドレスを取得するかどうかを設定します。
「ｵﾝ」に設定した場合は、IP アドレスを自動的に取得します。
「ｵﾌ」に設定した場合は、IP アドレスを自動的には取得しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">HTTP</td><td rowspan="2">有効</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ﾊｲ」を設定すると、HTTP が有効になります。
「ｲｲｴ」を設定すると、HTTP が無効になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">FTP</td><td rowspan="2">有効</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ﾊｲ」を設定すると、FTP が有効になります。
「ｲｲｴ」を設定すると、FTP が無効になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">TELNET</td><td>設定</td><td colspan="2">有効 / 無効</td></tr>
<tr><td colspan="3">Telnet による通信を有効にするかどうかを選択します。
「有効」を選択すると、Telnet による通信が有効になります。
「無効」を選択すると、Telnet による通信が無効になります。</td></tr>
</table>

		BONJOUR	有効	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」を設定すると、BONJOUR が有効になります。 「ｲｲｴ」を設定すると、BONJOUR が無効になります。	
		ﾀﾞｲﾅﾐｯｸ DNS	有効	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」を設定すると、ダイナイミック DNS が有効になります。 「ｲｲｴ」を設定すると、ダイナミック DNS が無効になります。	
		IPP	有効	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」を設定すると、IPP が有効になります。 「ｲｲｴ」を設定すると、IPP が無効になります。	
		RAW ﾎﾟｰﾄ	有効	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」を設定すると、RAW ポートが有効になります。 「ｲｲｴ」を設定すると、RAW ポートが無効になります。	
			双方向	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
				「ｵﾝ」を設定すると、双方向通信が有効になります。 「ｵﾌ」を設定すると、双方向通信が無効になります。	
		SLP	有効	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」を設定すると、SLP が有効になります。 「ｲｲｴ」を設定すると、SLP が無効になります。	

		SMTP	有効	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」を設定すると、SMTP が有効になります。	
				「ｲｲｴ」を設定すると、SMTP が無効になります。	
		SNMP	有効	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」を設定すると、SNMP が有効になります。	
				「ｲｲｴ」を設定すると、SNMP が無効になります。	
		WSD 印刷	有効	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」を設定すると、WSD 印刷が有効になります。	
				「ｲｲｴ」を設定すると、WSD 印刷が無効になります。	
		IPSEC	有効	設定	ﾊｲ / **ｲｲｴ**
				「ﾊｲ」を設定すると、IPsec が有効になります。	
				「ｲｲｴ」を設定すると、IPsec が無効になります。	
		IP ｱﾄﾞﾚｽ ﾌｨﾙﾀ	ｱｸｾｽ許可	設定	有効 / **無効**
				IP アドレスへのアクセス許可を有効にするか無効にするかを設定します。	
				「有効」を設定すると、アクセス許可が有効になります。	
				「無効」を設定すると、アクセス許可が無効になります。	
			ｱｸｾｽ拒否	設定	有効 / **無効**
				IP アドレスへのアクセス拒否を有効にするか無効にするかを設定します。	
				「有効」を設定すると、アクセス拒否が有効になります。	
				「無効」を設定すると、アクセス拒否が無効になります。	

		IPv6	有効	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」を設定すると、IPv6 が有効になります。 「ｲｲｴ」を設定すると、IPv6 が無効になります。	
			自動設定	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」を設定すると、IPv6 の自動設定が有効になります。 「ｲｲｴ」を設定すると、IPv6 の自動設定が無効になります。	
			ﾘﾝｸ ﾛｰｶﾙ ｱﾄﾞﾚｽ	リンクローカルアドレスがメッセージウィンドウに表示されます。	
			ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ ｱﾄﾞﾚｽ	グローバルアドレスがメッセージウィンドウに表示されます。	
			ｹﾞｰﾄｳｪｲ	ゲートウェイアドレスがメッセージウィンドウに表示されます。	
	NETWARE	有効	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ	
			「ﾊｲ」に設定すると、NETWARE が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、NETWARE が無効になります。		
	APPLETALK	有効	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ	
			「ﾊｲ」に設定すると、APPLETALK が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、APPLETALK が無効になります。		
	SPEED/ DUPLEX	設定	**自動** /10BASE FULL/10BASE HALF/ 100BASE FULL/100BASE HALF/ 1000BASE FULL		
		ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。			

<table>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">IEEE802.1X</td><td rowspan="3">有効</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ﾊｲ」を設定すると、IEEE802.1X が有効になります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｲｲｴ」を設定すると、IEEE802.1X が無効になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾒﾓﾘｰ
ﾀﾞｲﾚｸﾄ</td><td>設定</td><td colspan="3">有効 / 無効</td></tr>
<tr><td colspan="4">メモリーダイレクト機能を有効にするかどうかを選択します。
「有効」を選択すると、メモリーダイレクト機能が有効になります。
「無効」を選択すると、メモリーダイレクト機能が無効になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｶﾒﾗ
ﾀﾞｲﾚｸﾄ</td><td>設定</td><td colspan="3">有効 / 無効</td></tr>
<tr><td colspan="4">カメラダイレクト機能を有効にするかどうかを選択します。
「有効」を選択すると、カメラダイレクト機能が有効になります。
「無効」を選択すると、カメラダイレクト機能が無効になります。</td></tr>
</table>

システムメニュー

本メニューでは、メッセージウィンドウに表示する言語や、節電モードに移行するまでの時間など、プリンタの動作に関する設定ができます。

ｽﾀｰﾄ ｵﾌﾟｼｮﾝ
ｽﾀｰﾄ ﾍﾟｰｼﾞ
自動継続
保存ｼﾞｮﾌﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ *
節電設定
節電時間 **
ﾒﾆｭｰ ﾀｲﾑｱｳﾄ
LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ
ｾｷｭﾘﾃｨ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
ﾊﾟﾈﾙﾛｯｸ
時計設定
日付 (YY.MM.DD)
時刻
ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ
HDD ﾌｫｰﾏｯﾄ *
ﾕｰｻﾞ領域のみ
全領域
ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ ﾌｫｰﾏｯﾄ ***
ﾕｰｻﾞ領域のみ
全領域

* 本メニューはオプションのハードディスクキットを装着している場合に表示されます。
** 本メニューは「節電設定」で「ｵﾌ」に設定されている場合は表示されません。
*** 本メニューはオプションのコンパクトフラッシュカードを装着している場合に表示されます。
**** 本メニューはオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
***** 本メニューはオプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュカードを装着している場合に表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="2">言語切替え</td><td>設定</td><td>英語 / フランス語 / ドイツ語 / スペイン語 / イタリア語 / ポルトガル語 / チェコ語 / 日本語 / 韓国語 / 簡体語 / 繁体語 / オランダ語 / ロシア語 / ポーランド語</td></tr>
<tr><td colspan="2">メッセージウィンドウの表示言語を選択した言語に切り替えることができます。
メッセージウィンドウの表示では、上記の選択言語は、ドイツ語は「DEUTSCH」のように、各国の言語で表示されます。</td></tr>
</table>

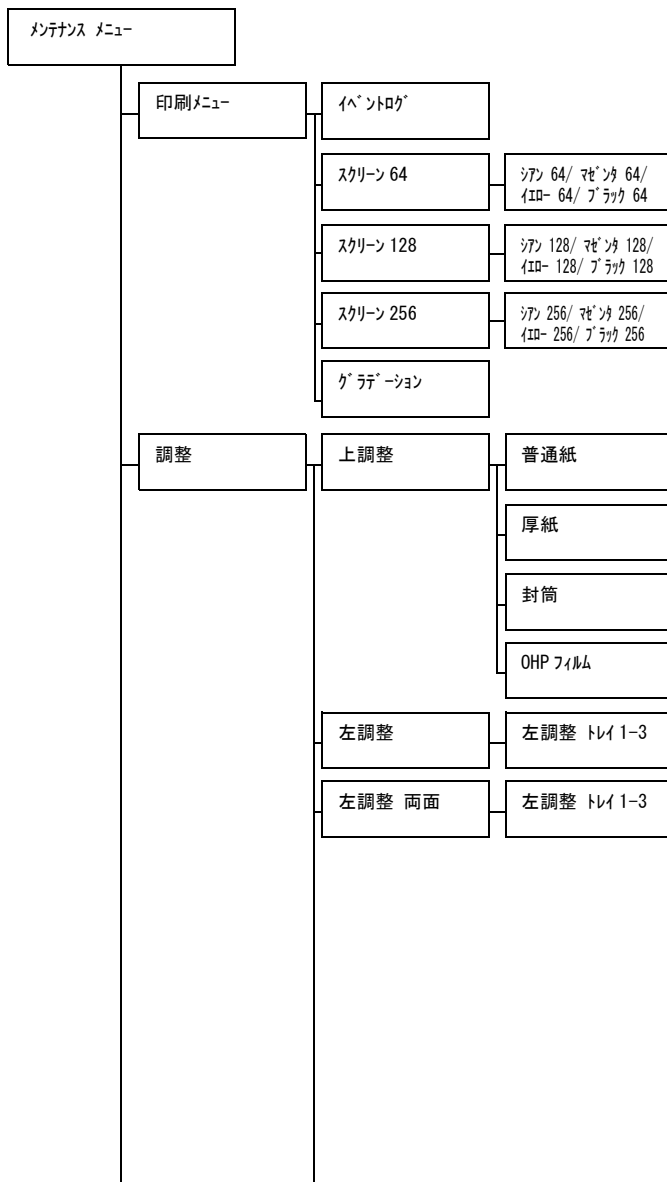
ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	優先ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	設定	**自動** / ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ /PCL	
		プリンタ制御言語を選択します。 自動を選択した場合は、プリンタが受信したプリントジョブから自動的にプリンタ制御言語を選択します。		
	ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ	ｳｪｲﾄﾀｲﾑｱｳﾄ	設定	**0** ～ 300
			ポストスクリプトエラーと判断するまでの時間を設定します。 「0」を選択した場合は、タイムアウトを行いません。	
		PS ｴﾗｰﾍﾟｰｼﾞ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
			ポストスクリプトエラーが発生した時に、エラーページを印刷するかしないかを設定できます。 「ｵﾝ」に設定した場合は、エラー発生時にエラーページを印刷します。	
		PS ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	設定	**自動** / 標準 / ﾊﾞｲﾅﾘ
			ポストスクリプトのデータストリームとのデータ通信のプロトコルを設定します。 「自動」を選択した場合は、プリンタがデータストリームから自動的に適合するプロトコルを判断します。	

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">PCL</td><td rowspan="2">改行ｺｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td colspan="2">CR=CR LF=LF/CR=CRLF LF=LF/CR=CR LF=LFCR/ CR=CRLF LF=LFCR</td></tr>
<tr><td colspan="3">PCL 言語での改行コードの定義を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾌｫｰﾑﾗｲﾝ</td><td>設定</td><td colspan="2">5 ～ 60 ～ 128</td></tr>
<tr><td colspan="3">PCL 言語でのページごとの線数を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ﾌｫﾝﾄｿｰｽ</td><td rowspan="2">ﾌｫﾝﾄ番号</td><td>設定</td><td>0 ～ 102</td></tr>
<tr><td colspan="2">PCL 言語でのデフォルトのフォントを設定します。
表示されるフォント番号は PCL フォントリストに対応しています。フォントリストの印刷については、「印刷メニュー」（p.96）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾋﾟｯﾁｻｲｽﾞ（ﾎﾟｲﾝﾄｻｲｽﾞ）</td><td>設定</td><td>0.44 ～ 10.00 ～ 99.99（4.00 ～ 12.00 ～ 999.75）</td></tr>
<tr><td colspan="2">PCL 言語でのフォントサイズを設定します。
「ﾌｫﾝﾄ番号」メニューで選択したフォントがビットマップフォントの場合、「ﾋﾟｯﾁｻｲｽﾞ」と表示されます。アウトラインフォントの場合は、「ﾎﾟｲﾝﾄｻｲｽﾞ」と表示されます。</td></tr>
<tr><td>ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ</td><td colspan="2">PCL 言語で使用するシンボルセットを選択します。
工場出荷時の設定値は PC 8 に設定されています。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">XPS</td><td rowspan="2">電子署名</td><td>設定</td><td>有効 / 無効</td></tr>
<tr><td colspan="2">「有効」を設定すると、XPS 電子署名が有効になります。
「無効」を設定すると、XPS 電子署名が無効になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">XPS ｴﾗｰﾍﾟｰｼﾞ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｵﾝ」を設定すると、XPS エラー発生時にエラーページを印刷します。
「ｲｲｴ」を設定すると、XPS エラー発生時にエラーページを印刷しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">用紙設定</td><td rowspan="2">ﾃﾞﾌｫﾙﾄ用紙</td><td rowspan="2">用紙ｻｲｽﾞ</td><td>設定</td><td>ﾚﾀｰ/ﾘｰｶﾞﾙ/ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ/A4/A5/A6/B5/B6/G. ﾚﾀｰ /STATEMENT/FOLIO/SP FOLIO/UK QUARTO/FOOLSCAP/G. ﾘｰｶﾞﾙ /16K/PHOTO 10×15/ｶｲ16/ｶｲ32/洋形 2 号 / 封筒 DL/ 洋形 6 号 / 長形 3 号 / 長形 4 号 / B5(ISO)/ 封筒 #10/ ﾊｶﾞｷ/ 往復ﾊｶﾞｷ / ｶｽﾀﾑ</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常使用する用紙のサイズを設定します。
「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ ／ 用紙設定 ／ 計測単位」を「ｲﾝﾁ」に設定すると、「PHOTO 10x15」は「PHOTO 4x6」に変更されます。</td></tr>
</table>

		ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ	通常使用する用紙がカスタムサイズの場合、用紙サイズを設定します。 計測単位の設定により設定単位はミリメートルまたは、インチに切換わります。 幅の設定範囲 ■ ミリメートルの場合 : 92 mm ～ 216 mm （工場出荷時の設定値は 210 mm） ■ インチの場合 : 3.63 ｲﾝﾁ～ 8.50 ｲﾝﾁ （工場出荷時の設定値は 8.27 ｲﾝﾁ） 長さの設定範囲 ■ ミリメートルの場合 : 148 mm ～ 356 mm （工場出荷時の設定値は 297 mm） ■ インチの場合 : 5.83 ｲﾝﾁ～ 14.00 ｲﾝﾁ （工場出荷時の設定値は 11.69 ｲﾝﾁ）	
		用紙種類	設定	**普通紙** / 再生紙 / 厚紙 1/ 厚紙 2/ ﾗﾍﾞﾙ紙 /OHP ﾌｨﾙﾑ / 封筒 / ﾊｶﾞｷ / ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ / 光沢紙 1/ 光沢紙 2
			通常使用する用紙の種類を設定します。	
	計測単位	設定	ｲﾝﾁ / **ﾐﾘﾒｰﾄﾙ**	
		使用する単位系を設定します。		
ﾓﾉｸﾛﾍﾟｰｼﾞ	設定	**自動** / ﾓﾉｸﾛ印刷 / ｶﾗｰ印刷		
	カラー指定されたプリントジョブの中にあるモノクロページの動作を設定します。 「自動」に設定した場合、プリントジョブの先頭ページで自動判別を行います。 「ﾓﾉｸﾛ印刷」に設定した場合、ページごとにモノクロの自動判別を行います。 「ｶﾗｰ印刷」に設定した場合、モノクロページがあってもカラーモードで印刷します。			

<table>
<tr><td rowspan="3">ｽﾀｰﾄ
ｵﾌﾟｼｮﾝ</td><td rowspan="3">ｽﾀｰﾄ ﾍﾟｰｼﾞ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンタの電源を入れたときにスタートページを印刷するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｵﾝ」に設定した場合は、スタートページの印刷を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">自動継続</td><td>設定</td><td colspan="2">ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="3">プリントジョブの用紙サイズ・種類と、指定した給紙トレイのの用紙サイズ・種類が異なる場合に、印刷を継続するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">「ｵﾝ」に設定すると、用紙サイズ・種類が異なる場合であっても、約 10 秒後に自動的に印刷を継続します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">保存
ｼﾞｮﾌﾞ
ﾀｲﾑｱｳﾄ</td><td>設定</td><td colspan="2">無効 /1 時間 /4 時間 /1 日間 /1 週間</td></tr>
<tr><td colspan="3">ハードディスクに保存したプリントジョブを消去するまでの時間の設定をします。</td></tr>
<tr><td colspan="3">「無効」に設定した場合は時間によるプリントジョブの消去を行いません。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">節電設定</td><td>設定</td><td colspan="2">ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="3">本プリンタを一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">「ｵﾝ」に設定した場合、プリンタはいったんすべての機能を停止しますが、パネルを操作したり、データが送られた場合には自動的に節電モードから復帰します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">節電時間</td><td>設定</td><td colspan="2">5 分 /6 分 /7 分 /8 分 /9 分 /10 分 /11 分 /12 分 /13 分 /15 分 /30 分 /1 時間 /3 時間</td></tr>
<tr><td colspan="3">節電モードへ移行するまでの時間を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">本メニューは「節電設定」が「ｵﾝ」に設定されている場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ﾒﾆｭｰ ﾀｲﾑ
ｱｳﾄ</td><td>設定</td><td colspan="2">ｵﾌ /1 分 /2 分</td></tr>
<tr><td colspan="3">メッセージウィンドウにメニュー、ヘルプ画面を表示した状態で何も操作が行なわれなかった場合に、ステータス画面に戻るまでの時間を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">「ｵﾌ」に設定した場合は、ステータス画面に戻りません。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">LCD
ｺﾝﾄﾗｽﾄ</td><td>設定</td><td colspan="2">-3/-2/-1/0/+1/+2/+3</td></tr>
<tr><td colspan="3">メッセージウィンドウの明るさを調整します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">「-3」が最も淡く、「+3」が最も濃くなります。</td></tr>
</table>

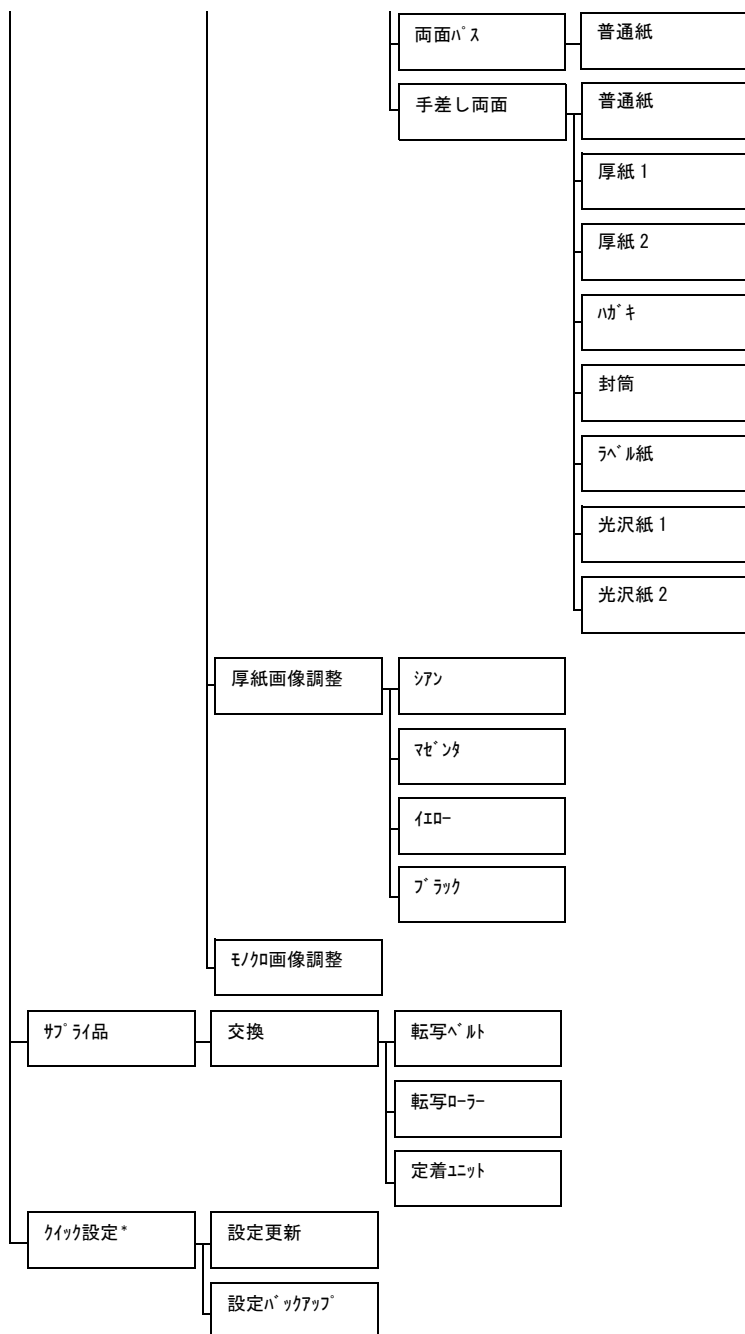
ｾｷｭﾘﾃｨ	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更	パネルロック設定時のユーザ管理者パスワードを設定します。 パスワードが「0000」（工場出荷時の設定値）に設定されている場合は、パネルロックは無効となります。パネルロックを行なう場合は必ず「0000」以外のパスワードを設定してください。	
	ﾊﾟﾈﾙﾛｯｸ	設定	ｵﾌ / ﾐﾆﾏﾑ / ｵﾝ
		パネルロックの設定をします。 「ｵﾌ」に設定した場合は、パネルロックを行いません。 「ﾐﾆﾏﾑ」に設定した場合は、「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ」と、「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ」をパスワードで保護します。 「ｵﾝ」に設定した場合は、「保守ﾒﾆｭｰ」以外のすべてのメニューをパスワードで保護します。 パネルロックを行なう場合はパスワードを必ず「0000」以外に設定してください。	
時計設定	日付 （YY.MM.DD）	プリンタに内蔵されている時計の日付を設定します。 日付は年、月、日の順の設定になっています。	
	時刻	プリンタに内蔵されている時計の時刻を設定します。	
	ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ	設定	－ 12:00 ～ **00:00** ～ ＋ 13:00
		世界標準時からの時差を 30 分単位で設定します。	
HDD ﾌｫｰﾏｯﾄ	ﾕｰｻﾞ領域のみ	ハードディスクのユーザ領域を初期化します。本メニューを実行すると、プリンタは自動的に再起動します。	
	全領域	ハードディスクを初期化します。本メニューを実行すると、プリンタは自動的に再起動します。	
ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ ﾌｫｰﾏｯﾄ	ﾕｰｻﾞ領域のみ	メモリーカードのユーザ領域を初期化します。本メニューを実行すると、プリンタは自動的に再起動します。	
	全領域	メモリーカードを初期化します。本メニューを実行すると、プリンタは自動的に再起動します。	

<table>
<tr><td rowspan="3">ﾒﾆｭｰ設定初期化</td><td>ﾈｯﾄﾜｰｸ</td><td colspan="3">「ﾈｯﾄﾜｰｸ ﾒﾆｭｰ」の設定を初期値に戻します。本メニューを実行すると、プリンタは自動的に再起動します。</td></tr>
<tr><td>用紙 / 品質 / ｼｽﾃﾑ</td><td colspan="3">「用紙ﾒﾆｭｰ」、「品質ﾒﾆｭｰ」、「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ」の設定を初期値に戻します。本メニューを実行すると、プリンタは自動的に再起動します。</td></tr>
<tr><td>全てのﾒﾆｭｰ</td><td colspan="3">すべての設定を初期値に戻します。本メニューを実行すると、プリンタは自動的に再起動します。</td></tr>
<tr><td rowspan="10">ﾜｰﾆﾝｸﾞ検出</td><td rowspan="6">用紙なし</td><td rowspan="2">ﾄﾚｲ 1</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">トレイ 1 に用紙が無くなった時に警告を表示するかしないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾄﾚｲ 2</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">トレイ 2 に用紙が無くなった時に警告を表示するかしないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾄﾚｲ 3</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">トレイ 3 に用紙が無くなった時に警告を表示するかしないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾄﾅｰ残量少</td><td>設定</td><td colspan="2">ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="3">トナーが残り少なくなったときに警告を表示するかしないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">I- ﾕﾆｯﾄ残量少</td><td>設定</td><td colspan="2">ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="3">イメージングユニットの寿命が近くなったときに警告を表示するかしないかを設定します。</td></tr>
</table>

メンテナンスメニュー

本メニューでは、プリンタの調整、メンテナンスができます。このメニューを操作するには、ユーザ管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザ管理者パスワードの初期値は、「0000」です。

2 次転写電流
片面ﾊﾟｽ
普通紙
OHP ﾌｨﾙﾑ
厚紙 1
厚紙 2
ﾊｶﾞｷ
封筒
ﾗﾍﾞﾙ紙
光沢紙 1
光沢紙 2

両面ﾊﾟｽ
普通紙
手差し両面
普通紙
厚紙 1
厚紙 2
ﾊｶﾞｷ
封筒
ﾗﾍﾞﾙ紙
光沢紙 1
光沢紙 2
厚紙画像調整
ｼｱﾝ
ﾏｾﾞﾝﾀ
ｲｴﾛｰ
ﾌﾞﾗｯｸ
ﾓﾉｸﾛ画像調整
ｻﾌﾟﾗｲ品
交換
転写ﾍﾞﾙﾄ
転写ﾛｰﾗｰ
定着ﾕﾆｯﾄ
ｸｲｯｸ設定 *
設定更新
設定ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ

* 本メニューはUSBポートにUSBメモリを接続した場合に表示されます。

 太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="10">印刷ﾒﾆｭｰ</td><td rowspan="2">ｲﾍﾞﾝﾄﾛｸﾞ</td><td>設定</td><td colspan="2">印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="3">イベントログを印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｽｸﾘｰﾝ 64</td><td rowspan="2">ｼｱﾝ 64/
ﾏｾﾞﾝﾀ
64/
ｲｴﾛｰ 64/
ﾌﾞﾗｯｸ 64</td><td>設定</td><td>印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="2">64 段階のグラデーションで、シアン / マゼンタ / イエロー / ブラックを印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｽｸﾘｰﾝ 128</td><td rowspan="2">ｼｱﾝ 128/
ﾏｾﾞﾝﾀ
128/
ｲｴﾛｰ
128/
ﾌﾞﾗｯｸ
128</td><td>設定</td><td>印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="2">128 段階のグラデーションで、シアン / マゼンタ / イエロー / ブラックを印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｽｸﾘｰﾝ 256</td><td rowspan="2">ｼｱﾝ 256/
ﾏｾﾞﾝﾀ
256/
ｲｴﾛｰ
256/
ﾌﾞﾗｯｸ
256</td><td>設定</td><td>印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="2">256 段階のグラデーションで、シアン / マゼンタ / イエロー / ブラックを印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝ</td><td>設定</td><td colspan="2">印刷 / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="3">グラデーションを印刷します。</td></tr>
</table>

調整	上調整	普通紙	設定	-15 ～ 15
			普通紙に印刷する場合の上余白を設定します。	
		厚紙	設定	-15 ～ 15
			厚紙 1 に印刷する場合の上余白を設定します。	
		封筒	設定	-15 ～ 15
			封筒に印刷する場合の上余白を設定します。	
		OHP ﾌｨﾙﾑ	設定	-15 ～ 15
			OHPﾌｨﾙﾑに印刷する場合の上余白を設定します。	
	左調整	左調整 ﾄﾚｲ 1	設定	-15 ～ 15
			トレイ 1 の用紙に印刷する場合の左余白を設定します。	
		左調整 ﾄﾚｲ 2	設定	-15 ～ 15
			トレイ 2 の用紙に印刷する場合の左余白を設定します。	
		左調整 ﾄﾚｲ 3	設定	-15 ～ 15
			トレイ 3 の用紙に印刷する場合の左余白を設定します。	
	左調整 両面	左調整 ﾄﾚｲ 1	設定	-15 ～ 15
			トレイ 1 の用紙に両面印刷する場合の左余白を設定します。	
		左調整 ﾄﾚｲ 2	設定	-15 ～ 15
			トレイ 2 の用紙に両面印刷する場合の左余白を設定します。	
		左調整 ﾄﾚｲ 3	設定	-15 ～ 15
			トレイ 3 の用紙に両面印刷する場合の左余白を設定します。	

	2 次転写電流	片面ﾊﾟｽ	普通紙	設定	-8 ～ 7
				普通紙に片面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			OHP ﾌｨﾙﾑ	設定	-8 ～ 7
				OHP ﾌｨﾙﾑに片面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			厚紙 1	設定	-8 ～ 7
				厚紙 1 に片面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			厚紙 2	設定	-8 ～ 7
				厚紙 2 に片面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			ﾊｶﾞｷ	設定	-8 ～ 7
				ﾊｶﾞｷに片面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			封筒	設定	-8 ～ 7
				封筒に片面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			ﾗﾍﾞﾙ紙	設定	-8 ～ 7
				ﾗﾍﾞﾙ紙に片面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			光沢紙 1	設定	-8 ～ 7
				光沢紙 1 に片面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			光沢紙 2	設定	-8 ～ 7
				光沢紙 2 に片面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
		両面ﾊﾟｽ	普通紙	設定	-8 ～ 7
				普通紙に両面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	

		手差し両面	普通紙	設定	-8 ～ 7
				普通紙に手差し両面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			厚紙 1	設定	-8 ～ 7
				厚紙 1 に手差し両面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			厚紙 2	設定	-8 ～ 7
				厚紙 2 に手差し両面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			ﾊｶﾞｷ	設定	-8 ～ 7
				ﾊｶﾞｷに手差し両面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			封筒	設定	-8 ～ 7
				封筒に手差し両面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			ﾗﾍﾞﾙ紙	設定	-8 ～ 7
				ﾗﾍﾞﾙ紙に手差し両面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			光沢紙 1	設定	-8 ～ 7
				光沢紙 1 に手差し両面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	
			光沢紙 2	設定	-8 ～ 7
				光沢紙 2 に手差し両面印刷する場合の 2 次転写電流を設定します。	

	厚紙画像調整	ｼｱﾝ	設定	-5 ～ **0** ～ 5
			厚紙に印刷する場合のシアンを調整します。	
		ﾏｾﾞﾝﾀ	設定	-5 ～ **0** ～ 5
			厚紙に印刷する場合のマゼンタを調整します。	
		ｲｴﾛｰ	設定	-5 ～ **0** ～ 5
			厚紙に印刷する場合のイエローを調整します。	
		ﾌﾞﾗｯｸ	設定	-5 ～ **0** ～ 5
			厚紙に印刷する場合のブラックを調整します。	
	ﾓﾉｸﾛ画像調整	設定	-2 ～ **0** ～ 2	
		グレースケール印刷を行う場合の、ブラックを調整します。		
ｻﾌﾟﾗｲ品	交換	転写ﾍﾞﾙﾄ	設定	ﾊｲ / **ｲｲｴ**
			転写ベルトのライフカウンタをリセットします。	
		転写ﾛｰﾗｰ	設定	ﾊｲ / **ｲｲｴ**
			転写ローラーのライフカウンタをリセットします。	
		定着ﾕﾆｯﾄ	設定	ﾊｲ / **ｲｲｴ**
			転写ユニットのライフカウンタをリセットします。	

<table>
<tr><td rowspan="6">ｸｲｯｸ設定</td><td rowspan="3">設定更新</td><td>設定</td><td>**実行** / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB メモリから指定されたファイルを読み込み、プリンタ設定を更新するかどうか設定します。

「実行」を設定すると、プリンタ設定を更新します。

「中止」を設定すると、プリンタ設定を更新しません。</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">設定ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ</td><td>設定</td><td>**実行** / 中止</td></tr>
<tr><td colspan="2">現在のプリンタ設定情報を USB メモリに保存するかどうか設定します。

「実行」を設定すると、プリンタ設定情報を USB メモリに保存します。

「中止」を設定すると、プリンタ設定情報は USB メモリに保存しません。</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
</table>

保守メニュー

このメニューは、サービス技術者がプリンタの調整や、メンテナンスのために使用するメニューです。ユーザは使用しません。

カメラダイレクト

カメラダイレクト印刷をする

PictBridge（1.0 以降）対応のデジタルカメラとプリンタを USB で接続し、デジタルカメラに納められた画像を直接印刷することができます。

デジタルカメラの操作方法については、デジタルカメラの取扱説明書をごらんください。

本プリンタでは、下記の機能をサポートしません。
DPOF 印刷
トリミング印刷
フチなし印刷
DPOF ケーブル接続エラーの回復

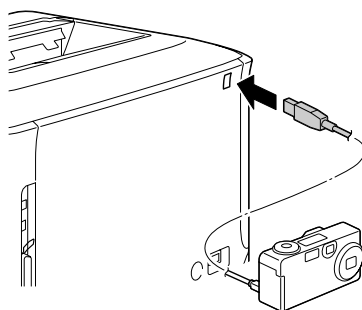
デジタルカメラから直接印刷する

1 必要に応じてプリンタの操作パネルで、「給紙ﾄﾚｲ」、「ﾚｲｱｳﾄ」、「余白量」、「ｲﾒｰｼﾞ品質」を設定します。

画像を印刷する用紙の種類は、プリンタ側でのみ設定できます。デジタルカメラ側で用紙種類を選択することはできません。

デジタルカメラ側でこれらの設定（用紙種類および用紙サイズの設定は除く）が出来る場合は、操作パネルでの設定は必要ありません。デジタルカメラでの設定が操作パネルの設定より優先されます。
操作パネルでの詳しい設定については、「カメラダイレクトメニュー」（p.124）をごらんください。

2 デジタルカメラと、コニカミノルタデジタルカメラダイレクト印刷用ポートを USB ケーブルで接続します。

USB ケーブルは本プリンタには同梱されていません。お使いのデジタルカメラに USB ケーブルが同梱されていない場合は、別途お買い求めください。

3 デジタルカメラから、印刷したい画像と枚数の設定をします。

4 デジタルカメラで印刷を開始します。

メモリー ダイレクト 6

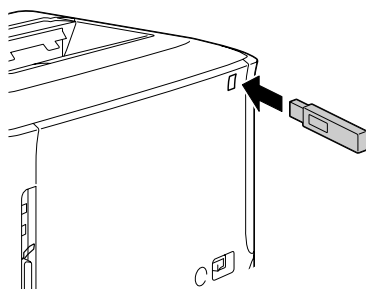
メモリーダイレクト印刷をする

USB メモリを本機に接続し、USB メモリに納められた PDF、XPS、JPEG、TIFF ファイルを印刷することができます。

オプションのハードディスクキットまたはコンパクトフラッシュカードを装着していないと、メモリーダイレクト印刷は行えません。オプションのハードディスクまたは 1GB 以上のコンパクトフラッシュカードを装着していないと、メモリーダイレクトで部単位印刷は行えません。

操作パネルの設定について詳しくは、「メモリーダイレクト」（p.121）をごらんください。

USB メモリを接続して印刷する

1 USBメモリをUSBポートに接続します。
メッセージウィンドウの右上に が表示され、メモリーダイレクトのメニューが表示されます。

2 「ﾌｧｲﾙ一覧」を選択して、［メニュー選択］キーを押します。

JPEG、TIFF ファイルを表示する場合は、「ﾌｧｲﾙの種類」で「PDF,XPS,JPEG,TIFF」を選択して、［メニュー選択］キーを押してください。

3 ファイルリストから印刷したいファイルを選択して、［メニュー選択］キーを押します。
印刷したいファイルがフォルダ内にある場合は、フォルダを選択して、［メニュー選択］キーを押してください。

フォルダとファイルを合わせて、最大 99 個まで表示することができます。

8 階層以上のフォルダは、表示することができません。

4 「印刷」を選択して、［メニュー選択］キーを押します。
印刷が終了すると、メインメニューに戻ります。

用紙サイズ、両面印刷、印刷枚数、部単位印刷を設定することができます。

メモリーダイレクト印刷中は、USB ポートから USB メモリを抜かないでください。

用紙の取り扱い

使用できる出力用紙サイズ

本プリンタでは以下の用紙が使用できます。

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ *	両面印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）		
レター	215.9 × 279.4	8.5 × 11.0	1/2/3	○
リーガル	215.9 × 355.6	8.5 × 14.0	1/3	○
Statement	139.7 × 215.9	5.5 × 8.5	1/2	×
エグゼクティブ	184.2 × 266.7	7.25 × 10.5	1/2/3	○
A4	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7	1/2/3	○
A5	148.0 × 210.0	5.9 × 8.3	1/2	×
A6	105.0 × 148.0	4.1 × 5.8	1/2	×
B5（JIS）	182.0 × 257.0	7.2 × 10.1	1/2/3	○
B6	128.0 × 182.0	5.0 × 7.2	1/2	×
Folio	210.0 × 330.0	8.25 × 13.0	1	○
SP Folio	215.9 × 322.3	8.5 × 12.69	1	○
Foolscap	203.2 × 330.2	8.0 × 13.0	1	○
UK Quarto	203.2 × 254.0	8.0 × 10.0	1/2	×
G. レター	203.2 × 266.7	8.0 × 10.5	1/2	○
G. リーガル	215.9 × 330.2	8.5 × 13.0	1/3	○
フォトサイズ 4" × 6"/10 × 15	101.6 × 152.4	4.0 × 6.0	1/2	×
16K	195.0 × 270.0	7.7 × 10.6	1/2	○
Kai16	185.0 × 260.0	7.3 × 10.2	1/2	○
Kai32	130.0 × 185.0	5.1 × 7.3	1/2	×
ハガキ	100.0 × 148.0	3.9 × 5.8	1	×
往復ハガキ	148.0 × 200.0	5.8 × 7.9	1	×
B5（ISO）	176.0 × 250.0	6.9 × 9.8	1	×
封筒 #10	104.8 × 241.3	4.125 × 9.5	1	×
封筒 DL****	220.0 × 110.0	8.7 × 4.3	1	×
洋形 2 号 ****	162.0 × 114.0	6.4 × 4.5	1	×
洋形 6 号 ****	190.5 × 98.4	7.5 × 3.875	1	×
長形 3 号	120.0 × 235.0	4.7 × 9.2	1	×

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ *	両面印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）		
長形 4 号	90.0 × 205.0	3.5 × 8.1	1	×
カスタムサイズ（最小値）	92.0-216.0 × 148.0-356.0	3.6-8.5 × 5.8-14.0	1	○ **
カスタムサイズ（最大値）	92.0-216.0 × 148.0-297.0	3.6-8.5 × 5.8-11.7	2	○ ***
備考： * トレイ 1 ＝手差しトレイ トレイ 3 ＝オプションの給紙ユニット ** 両面印刷が可能な最小サイズは B5（JIS）、最大サイズはリーガルです。 *** 両面印刷が可能な最小サイズは B5（JIS）、最大サイズは A4 です。 **** 用紙をセットする場合、封筒のフタがある長辺側を本機方向にセットしてください。それ以外の用紙は、短辺側を本機方向にセットしてください。				

カスタムサイズは上の表の数値の範囲でプリンタドライバから設定してください。

用紙種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

本プリンタで利用できる用紙の種類は printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

普通紙（再生紙）

<table>
<tr><td rowspan="3">容量</td><td>トレイ 1
（手差しトレイ）</td><td>100 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td>トレイ 2</td><td>250 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td>トレイ 3</td><td>500 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">用紙のセット方向</td><td>トレイ 1
（手差しトレイ）</td><td>印刷面が下向き</td></tr>
<tr><td>トレイ 2/3</td><td>印刷面が上向き</td></tr>
<tr><td>プリンタドライバでの用紙種類の設定</td><td colspan="2">普通紙（再生紙）</td></tr>
<tr><td>坪量</td><td colspan="2">60 ～ 90 g/m²</td></tr>
<tr><td>両面印刷</td><td colspan="2">「使用できる出力用紙サイズ」（p.160）をごらんください。</td></tr>
</table>

以下の用紙を使用してください。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、レーザープリンタ対応の普通紙（再生紙）

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、プリンタの故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

- 表面加工されている用紙（カーボン紙、カラー加工された紙など）
- カーボン紙
- 感熱紙、熱転写用紙
- 水転写用紙
- 感圧紙
- インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）
- 一度印刷に使用した用紙
  - インクジェットプリンタで印刷された用紙
  - モノクロ / カラーのレーザープリンタ / コピー機で印刷された用紙
  - 熱転写プリンタで印刷された用紙
  - 他のプリンタやファクス機で印刷された用紙
- 湿気のある用紙
  湿度が 35% ～ 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1（手差しトレイ）**	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2/3	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	厚紙 1（91 ～ 150 g/m^2） 厚紙 2（151 ～ 210 g/m^2）	
坪量	91 ～ 210 g/m^2	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使いかたはしないでください。

■ トレイ 1 の中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

容量	**トレイ 1（手差しトレイ）**	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2/3	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	封筒	
坪量	91 ～ 163 g/m^2	
両面印刷	対応していません。	

以下の封筒を使用してください。

■ 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

■ レーザープリンタ対応の封筒

■ 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

■ 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒

■ テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒

■ 窓付きの封筒

■ 表面が粗い和紙などの封筒

■ 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒

■ すでにのりでとじられている封筒

ラベル紙

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

■ 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。

■ 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

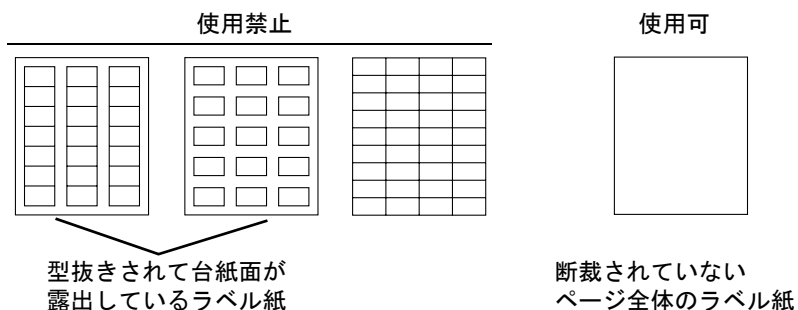
ラベル紙にも連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル紙用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	**トレイ 1（手差しトレイ）**	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2/3	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ラベル紙	

坪量	60 ～ 163 g/m^2
両面印刷	対応していません。

以下のラベル紙を使用してください。

■ レーザープリンタ用ラベル紙

以下のようなラベル紙は使用しないでください。

■ はがれやすいラベル紙

■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル紙

ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル紙

レターヘッド

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**（手差しトレイ）	20 枚（用紙の厚さによって変わります）
	トレイ 2/3	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	レターヘッド付き用紙	
坪量	60 ～ 90 g/m^2	
両面印刷	「使用できる出力用紙サイズ」（p.160）をごらんください。	

はがき

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。

容量	**トレイ 1** **（手差しトレイ）**	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2/3	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	はがき	
坪量	60 ～ 163 g/m^2	
両面印刷	対応していません	

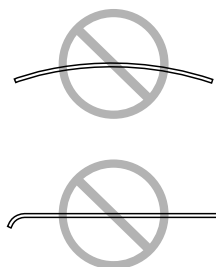
以下のはがきを使用してください。

- 官製はがき（100 × 148 mm）
  （市販のはがきには、使用できないものがあります。）

以下のようなはがきは使用しないでください。

- 光沢のあるもの
- 曲がっているもの
- インクジェットプリンタ用はがき
- 切り込みやミシン目のあるはがき
- すでに印刷されているもの、色加工されているもの
  （はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

はがきが曲がっているときは、トレイ 1 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。

■ 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの

OHP フィルム

 セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。静電気が発生し、印刷時のエラーの原因になります。

 一度に多くの OHP フィルムをセットしないでください。また、OHP フィルムの表面を手で触わると、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。

 通紙部は清潔に保ってください。OHP フィルムは通紙部の汚れの影響を大きく受けてしまいます。用紙の先端／後端に影がみられる場合は、「メンテナンス」（p.225）をごらんください。

 静電気が起きないように、印刷後すぐに OHP フィルムを排紙トレイから取り除いてください。

OHP フィルムも連続印刷することができますが、用紙の質、静電気の発生、印刷環境によって、うまく給紙できない場合があります。一度に多くの OHP フィルムをセットして問題がある場合は、10 枚以下の用紙をセットしてください。

 一度に多くの OHP フィルムをセットすると、静電気が発生し、給紙トラブルの原因になります。

お使いのアプリケーションにしたがって OHP フィルム用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1（手差しトレイ）**	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2/3	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が下向き	

プリンタドライバでの用紙種類の設定	OHP フィルム
両面印刷	対応していません

以下の OHP フィルムを使用してください。

- レーザープリンタ用 OHP フィルム

以下のような OHP フィルムは使用しないでください。

- 静電気が発生し、互いにくっつくもの
- インクジェットプリンタ用のもの

光沢紙

あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1** **（手差しトレイ）**	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2/3	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	光沢紙 1 光沢紙 2	
坪量	光沢紙 1（100 ～ 128 g/m^2） 光沢紙 2（128 ～ 158 g/m^2）	
両面印刷	対応していません。	

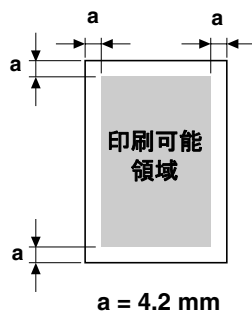
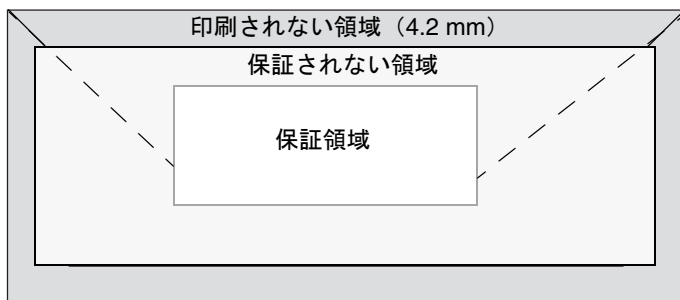
以下のような使いかたはしないでください。

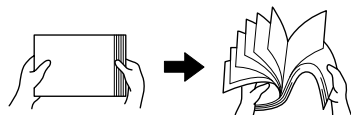
- トレイ 1 の中で光沢紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

印刷可能領域

印刷保証範囲と印刷可能範囲は？

すべての用紙サイズで、用紙の端から4.2 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。

封筒の印刷保証領域

封筒では、封の部分は印刷保証外です。また、印刷保証外領域は封筒の種類によって異なります。

封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。

用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。約 100 枚の用紙の束を給紙トレイにセットする前にさばいて静電気が起きないようにします。

OHP フィルムはさばかないでください。

ご注意

本プリンタは、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。
普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムなど）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したりプリンタの寿命が短くなる場合があります。

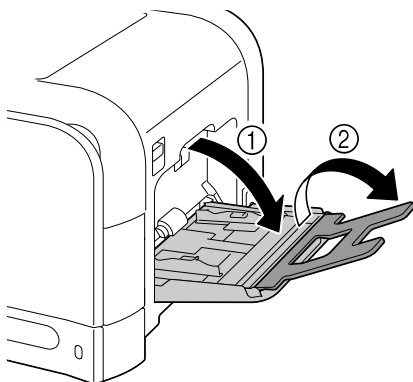
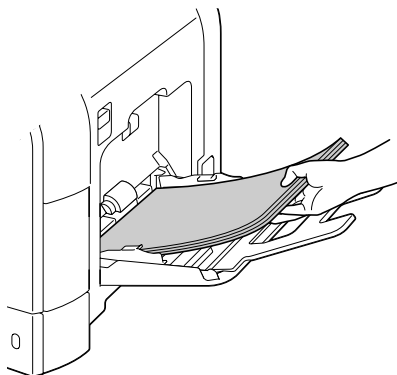
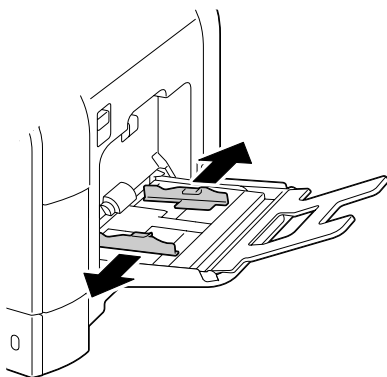
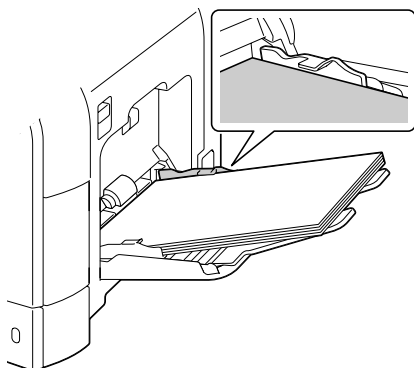
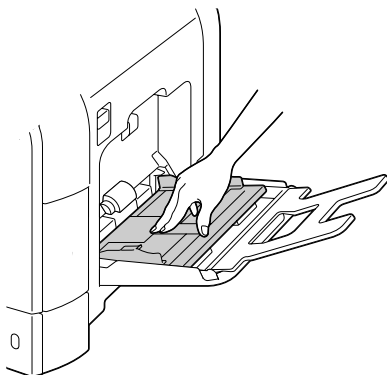
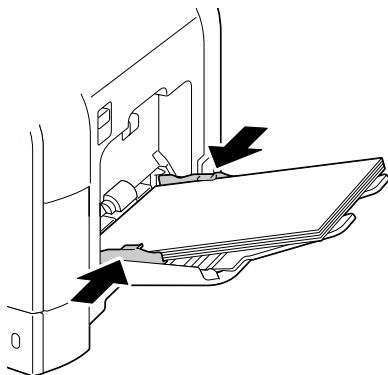
用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

トレイ 1（手差しトレイ）

トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる出力用紙サイズ」（p.160）をごらんください。

普通紙の場合

1 トレイ 1 を開きます。

2 用紙ガイドを広げます。

3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

4 印刷したい面を下向きにして用紙をセットします。

用紙は上限を示すガイドを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 100 枚（80 g/m²）までセットできます。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

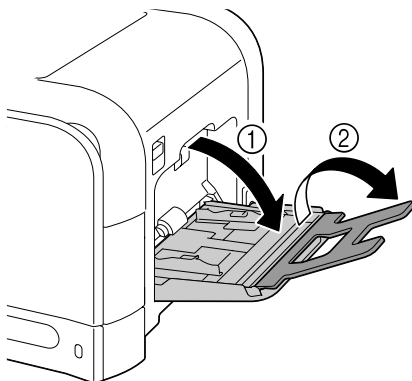
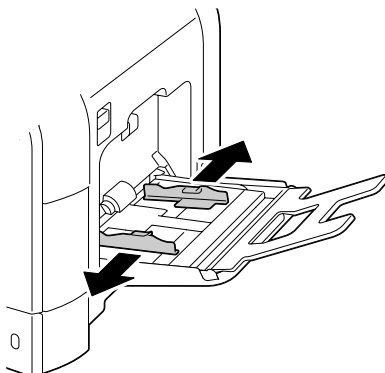
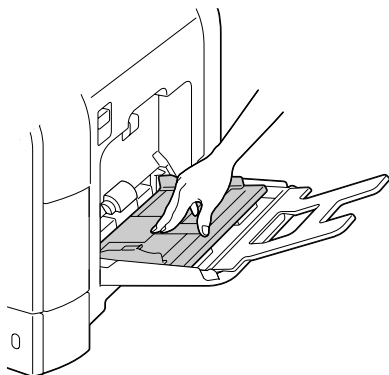
6 操作パネルから「用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 1」を選択します。「用紙ｻｲｽﾞ」「用紙種類」を選択して、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳細については「用紙メニュー」（p.98）を参照してください。

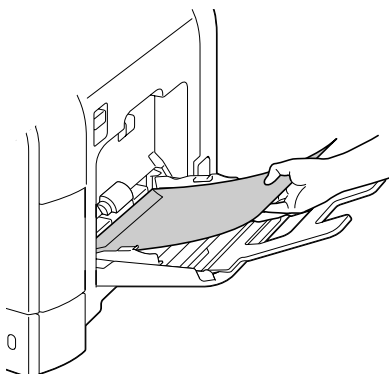
プリンタドライバの基本設定で、用紙トレイに「トレイ 1（手差し）」を選択し、出力用紙サイズや用紙種類を正しく設定した場合には、操作パネルの設定は必要ありません。

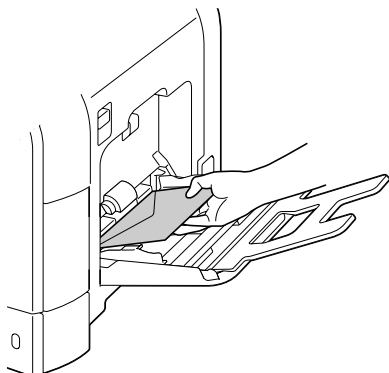
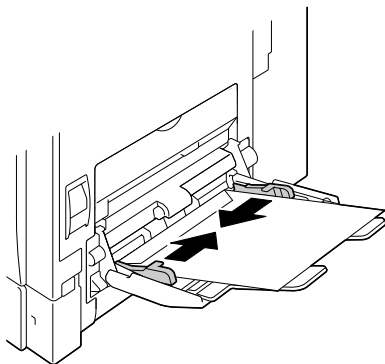
その他の用紙種類の補給

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタドライバの「用紙の種類」メニューを正しく設定してください。（厚紙 1、厚紙 2、封筒、OHP フィルムなど）

封筒の場合

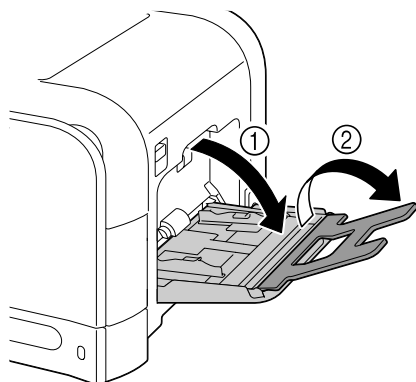
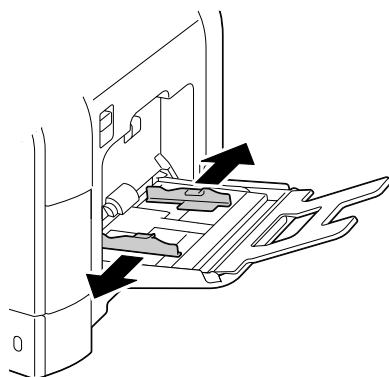
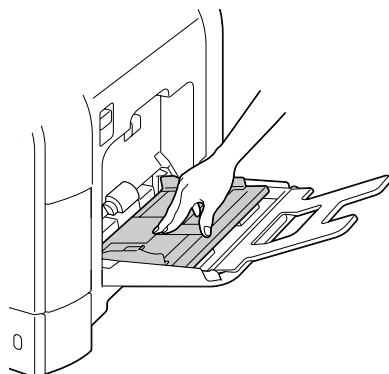
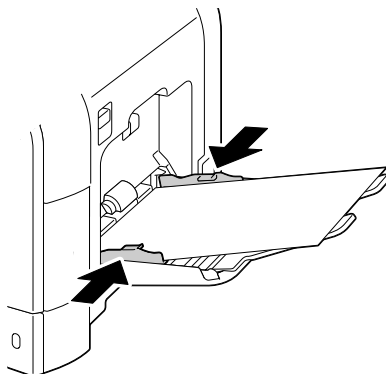
1 トレイ 1 を開きます。

2 用紙ガイドを広げます。

3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

4 フタを上側にして封筒をセットします。

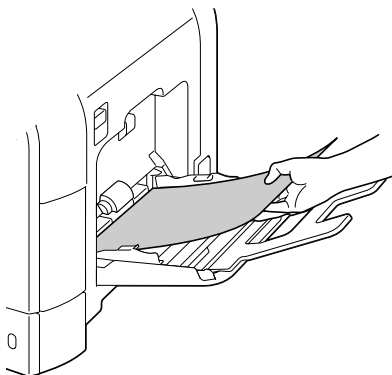
 セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわが出来たり、紙づまりの原因になります。

 封筒は一度に 10 枚までセットできます。

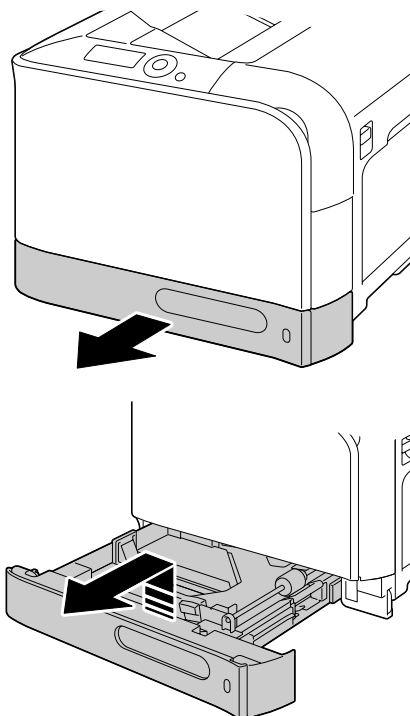
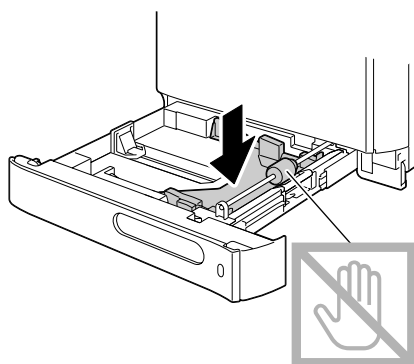
フタが封筒の長辺にある場合（洋形 2 号、洋形 6 号、封筒 DL）はフタを上側にしてセットしてください。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 操作パネルから「用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 1」を選択します。「用紙ｻｲｽﾞ」「用紙種類」を選択して、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳細については「用紙メニュー」（p.98）を参照してください。

プリンタドライバの基本設定で、用紙トレイに「トレイ 1（手差し）」を選択し、出力用紙サイズを正しく設定した場合には、操作パネルの設定は必要ありません。

ラベル紙／はがき／厚紙／ OHP フィルム／光沢紙の場合

1 トレイ 1 を開きます。

2 用紙ガイドを広げます。

3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

4 印刷面を下向きにして用紙をセットします。

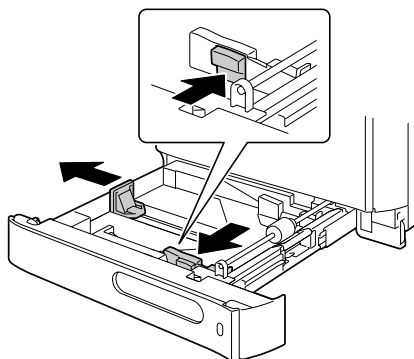
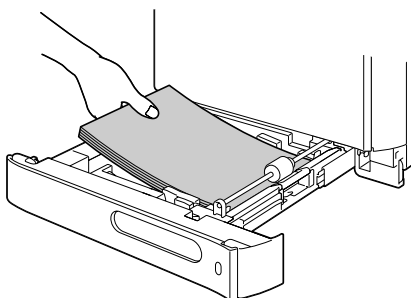
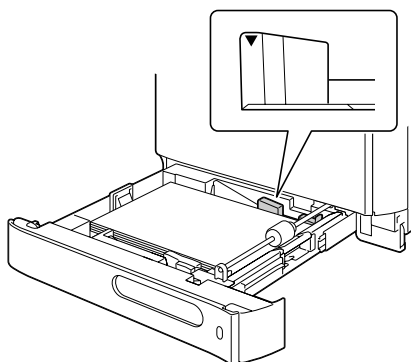
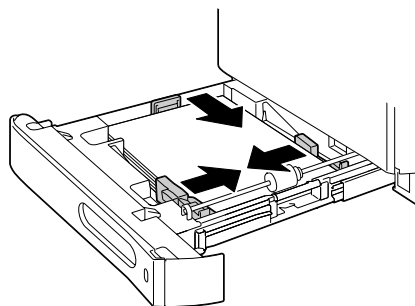
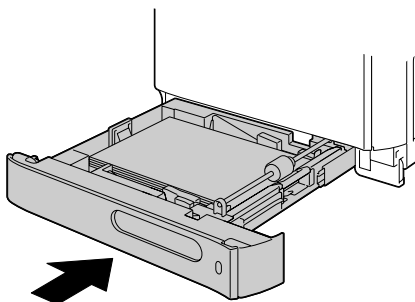
 用紙は一度に 20 枚までセットできます。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 操作パネルから「用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 1」を選択します。「用紙ｻｲｽﾞ」「用紙種類」を選択して、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳細については「用紙メニュー」(p.98) を参照してください。

 プリンタドライバの基本設定で、用紙トレイに「トレイ 1(手差し)」を選択し、出力用紙サイズを正しく設定した場合には、操作パネルの設定は必要ありません。

トレイ 2

普通紙の場合

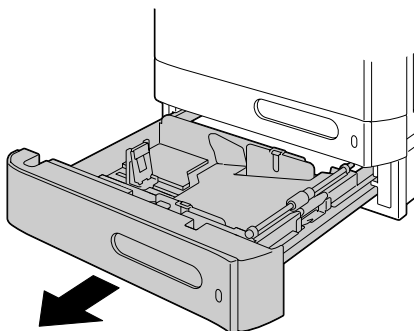
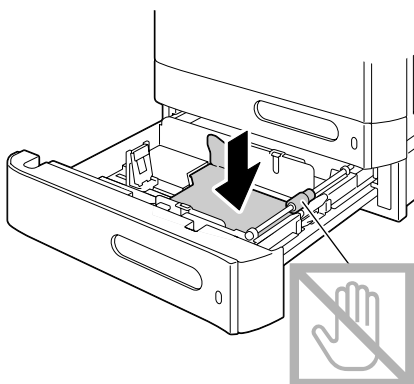
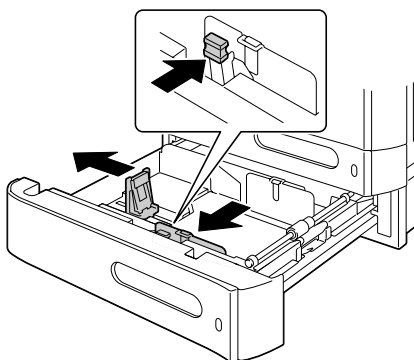
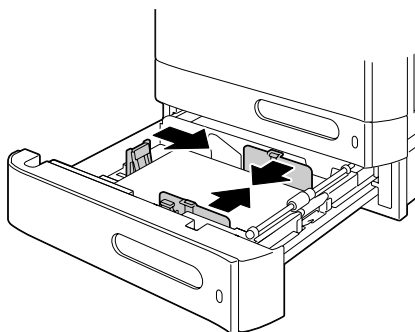
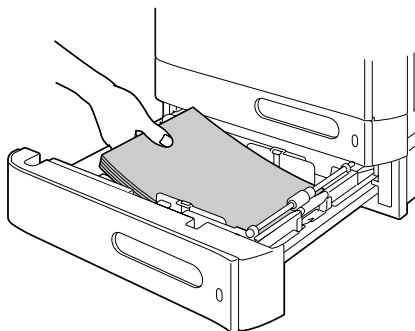
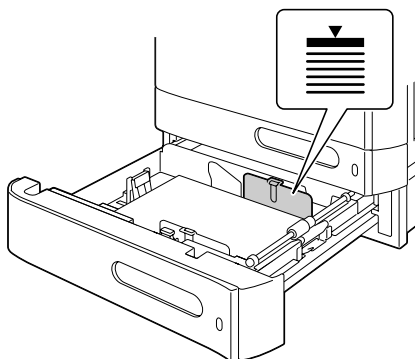
1 トレイ 2 を引き出します。

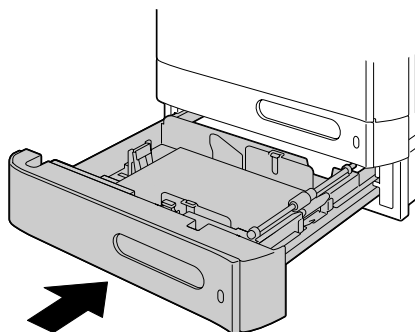
2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

3 用紙ガイドを広げます。

4 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 250 枚（80 g/m^2）までセットできます。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 トレイ 2 を閉じます。

7 操作パネルから「用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 2」を選択します。「用紙ｻｲｽﾞ」「用紙種類」を選択して、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳細については「用紙メニュー」（p.98）を参照してください。

トレイ 3（オプションの給紙ユニット）

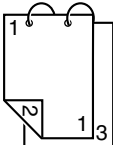
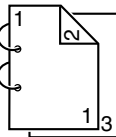
普通紙の場合

1 トレイ 3 を引き出します。

2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

3 用紙ガイドを広げます。

4 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 500 枚（80 g/m^2）までセットできます。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

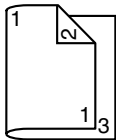
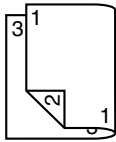
6 トレイ 3 を閉じます。

7 操作パネルから「用紙ﾒﾆｭｰ / 給紙ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 3」を選択します。「用紙種類」を選択して、セットした用紙の種類を設定します。詳細については「用紙メニュー」（p.98）を参照してください。

両面印刷

両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションでマージンについても確認してください。あらかじめ試し印刷をし、裏映りの度合いを確認してください。

ご注意

自動両面印刷は、60 ～ 90 g/m² の普通紙にのみ対応しています。
「使用できる出力用紙サイズ」（p.160）をごらんください。

厚紙、封筒、ラベル紙、官製はがき、光沢紙、および OHP フィルムでは、両面印刷できません。

自動両面印刷の方法は？

お使いのアプリケーションでの両面印刷用マージンの設定方法を確認してください。

両面印刷の設定には以下の種類があります。

	「短辺とじ」に設定すると、縦にめくるレイアウトになります。
	「長辺とじ」に設定すると、横にめくるレイアウトになります。

また、「ページ割付」の「小冊子」を選択した場合も自動的に両面印刷になります。

「小冊子」には以下のレイアウトがあります。

	「左開き」に設定すると、左にめくるようにレイアウトされます。
	「右開き」に設定すると、右にめくるようにレイアウトされます。

1 トレイに普通紙をセットします。

2 プリンタドライバで、両面印刷のレイアウトを設定します。

3 ［OK］をクリックします。

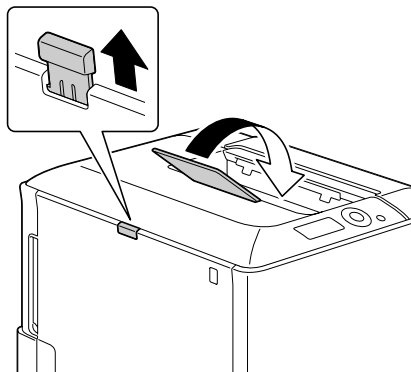
自動両面印刷では先に裏面が印刷され、あとで表面が印刷されます。

排紙トレイ

どの用紙もプリンタ上部の排紙トレイに印刷面を下向きにして排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙（A4 ／レター）で約 200 枚までです。

排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

OHP フィルムの場合は、印刷したらすぐに排紙トレイから取り除いてください。

厚紙印刷時に厚紙がカール
して排紙トレイから落ちる
場合、補助トレイをたたみ、
排紙ストッパーを引き出し
て印刷してください。

用紙の保管方法

用紙の保管のしかたは？

■ 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。

■ いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。

■ 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。

- 湿気が多い場所
- 直射日光があたる場所
- 高温の場所（35°C 以上の場所）
- ほこりの多い場所

■ 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

消耗品の交換

消耗品の交換のしかた

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されいる手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

「トナーなし」「転写ベルト交換」などのエラーメッセージが表示された場合は、設定リストページを印刷し、消耗品の状態を確認してください。エラーメッセージについて詳しくは、「エラーメッセージ（警告）」をごらんください。また、設定リストページの印刷について詳しくは、「設定リストページを印刷する」をごらんください。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収したトナーカートリッジおよびイメージングユニットは再資源化しています。

回収の受付など詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

トナーカートリッジについて

本プリンタではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーがプリンタや手などにこぼれないように注意してください。

トナーカートリッジを交換する場合、必ず未使用品と交換してください。使用済みのトナーと交換すると、メッセージウィンドウの表示がクリアされません。

トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。トナーが漏れ出した場合、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。

トナーが服や手に付いた場合、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーを吸入した場合、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。

トナーが目に入った場合、直ちに流水で 15 分以上洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。

トナーを飲み込んだ場合、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んでください。必要に応じて医師の診察を受けてください。

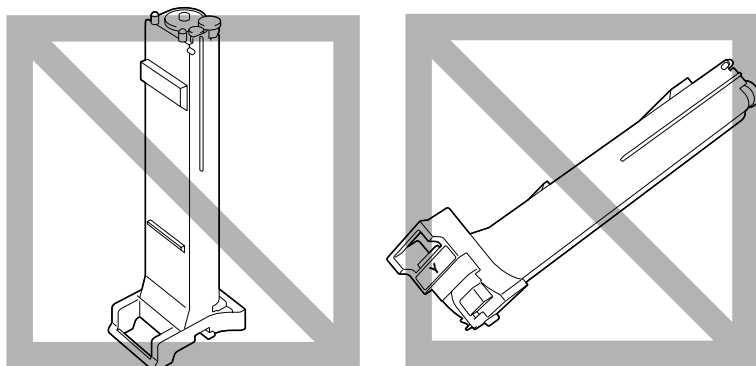
トナーカートリッジは幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のトナーカートリッジをご使用ください。プリンタ製品番号とトナーカートリッジ製品番号は前ドアの内側のラベルでご確認ください。

プリンタ製品番号	トナーカートリッジタイプ	トナーカートリッジ製品番号
A00F 002	トナーカートリッジ - ブラック（K）	A0DK 171
	トナーカートリッジ - イエロー（Y）	A0DK 271
	トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	A0DK 371
	トナーカートリッジ - シアン（C）	A0DK 471
	大容量トナーカートリッジ - ブラック（K）	A0DK 172
	大容量トナーカートリッジ - イエロー（Y）	A0DK 272
	大容量トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	A0DK 372
	大容量トナーカートリッジ - シアン（C）	A0DK 472

交換にあたっては、上記製品番号のトナーカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のトナーカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

トナーカートリッジは以下のように保管してください。

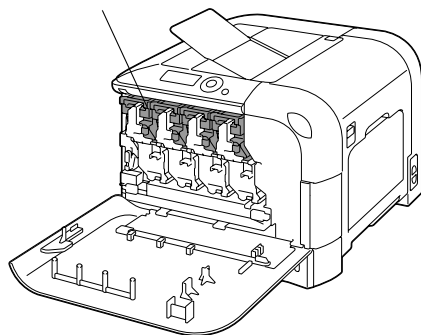
- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35°C 以下､湿度 80% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。
- 水平な状態で保管してください。
  トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。

- 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

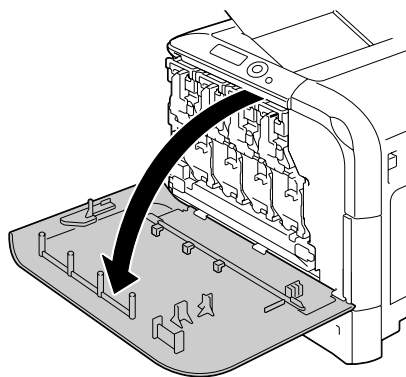
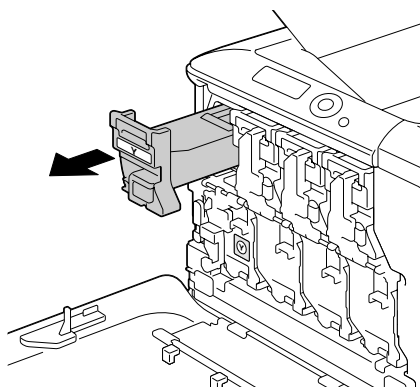
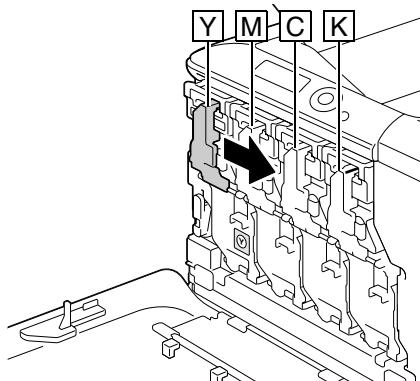
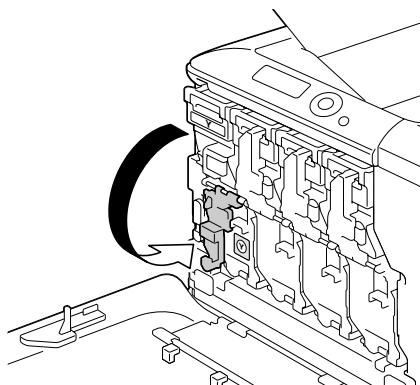
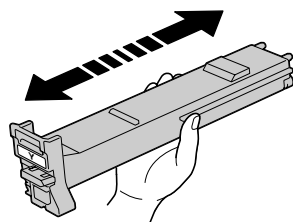
トナーカートリッジの交換手順

ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

トナーがなくなると、「ﾄﾅｰなし X」（X はトナーの色を表します）のメッセージが表示されます。以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。ここではイエロートナーカートリッジを例に説明します。

トナーカートリッジは右図の位置にあります。

1 操作パネルのメッセージウィンドウで、なくなったトナーの色を確認します。

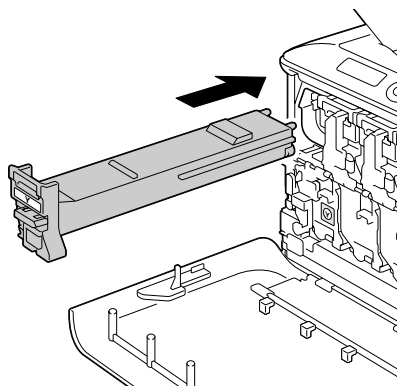
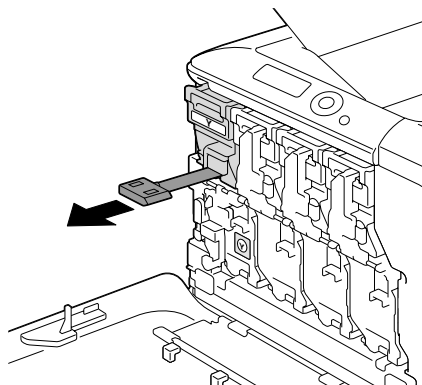
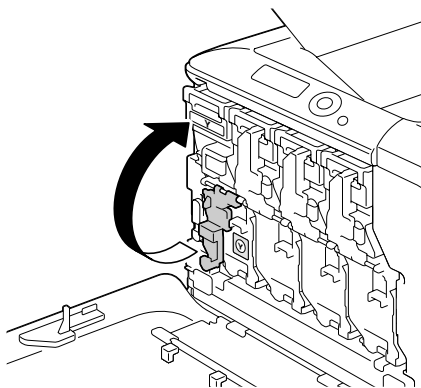
2 前ドアを開きます。

3 正面のレバーを右へ引きます。
Y: イエロー
M: マゼンダ
C: シアン
K: ブラック

4 レバーを下に下げロックを外します。

5 交換するトナーカートリッジの取っ手をつかみ、引き抜きます。

ご注意

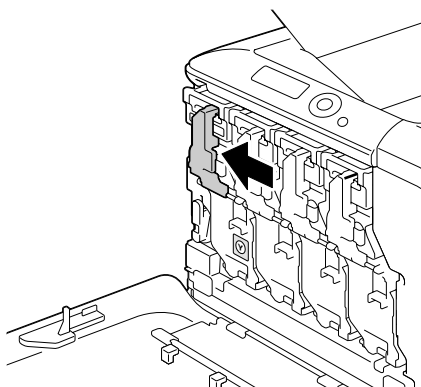
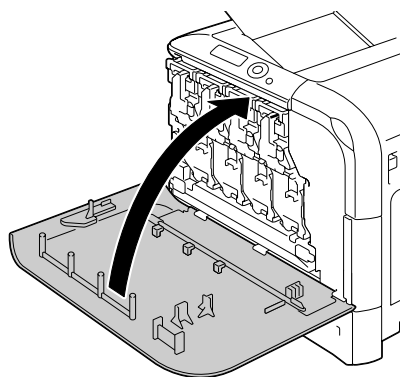
使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

6 新たにセットするトナーカートリッジの色を確認します。

7 トナーカートリッジを袋から取り出します。

8 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。

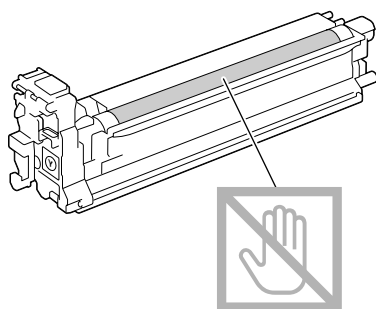
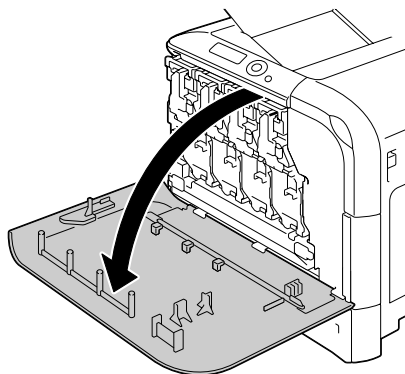
9 トナーカートリッジの色と本体挿入口の色が合っていることを確認して、トナーカートリッジを本機に押し込みます。

10 トナーカートリッジが確実にセットされていることを確認して、保護フィルムを引き抜きます。

11 正面のレバーを上に戻します。

12 レバーを左に引きロックします。

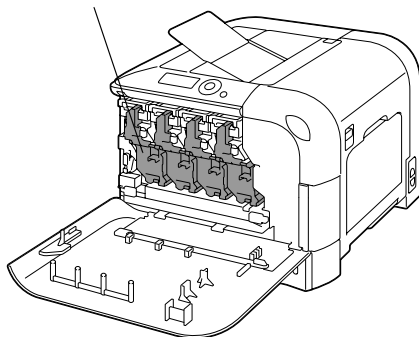
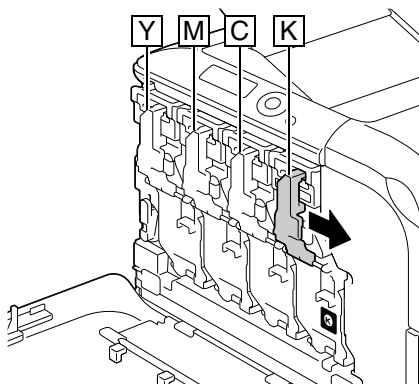
正面のレバーを確実に元の位置に戻してください。元の位置に戻っていない場合、本機の前カバーは閉じません。

13 前ドアを閉じます。

イメージングユニットの交換手順

イメージングユニットの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のイメージングユニットをご使用ください。プリンタ製品番号とイメージングユニット製品番号は前ドアの内側のラベルでご確認ください。

プリンタ製品番号	イメージングユニットタイプ	イメージングユニット製品番号
A00F 002	イメージング　ユニット - ブラック（K）	A031 00D
	イメージング　ユニット - イエロー（Y）	A031 05D
	イメージング　ユニット - マゼンタ（M）	A031 0AD
	イメージング　ユニット - シアン（C）	A031 0GD

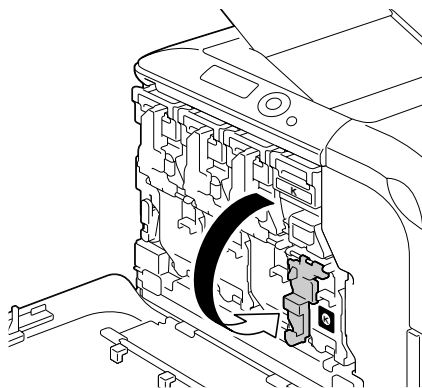
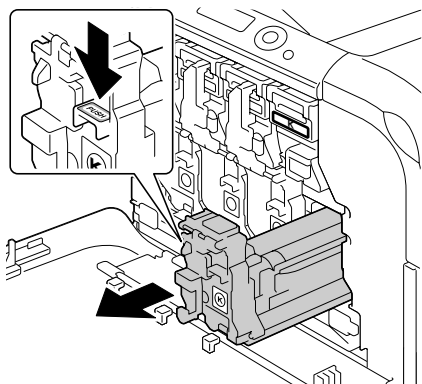
ご注意

OPC ドラムの表面に手を触れないでください。印刷品質低下の原因になります。

イメージングユニットの寿命がなくなると、「I- ﾕﾆｯﾄ 寿命 X」（X はイメージングユニットの色を表します）のメッセージが表示されます。以下の手順に従ってイメージングユニットを交換してください。ここではブラックイメージングユニットを例に説明します。

「I- ﾕﾆｯﾄ 寿命 X」というメッセージが表示されたら指定されたイメージングユニットを交換してください。

イメージングユニットは右図の位置にあります。

1 操作パネルのメッセージウィンドウで、交換するイメージングユニットの色を確認します。

2 前ドアを開きます。

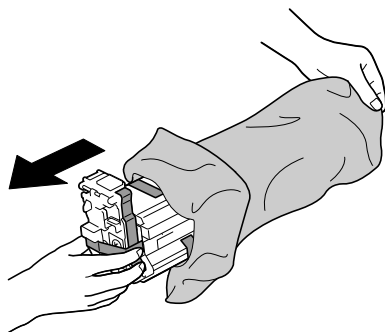
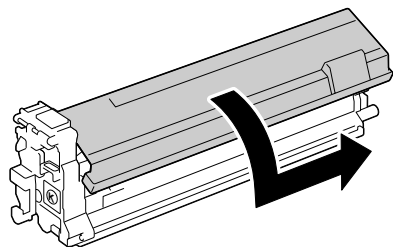
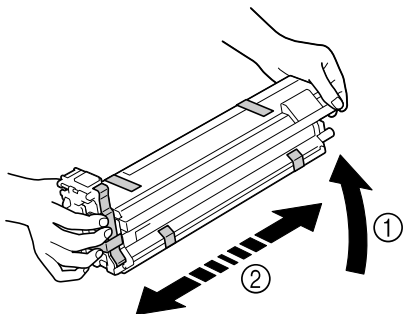
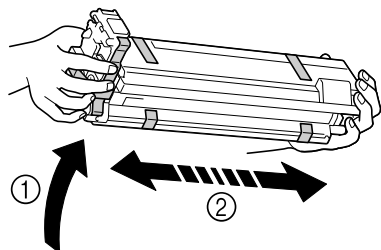
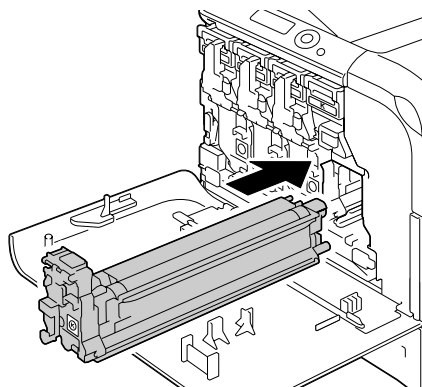
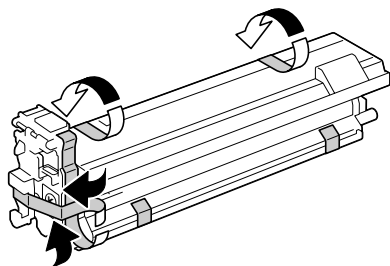
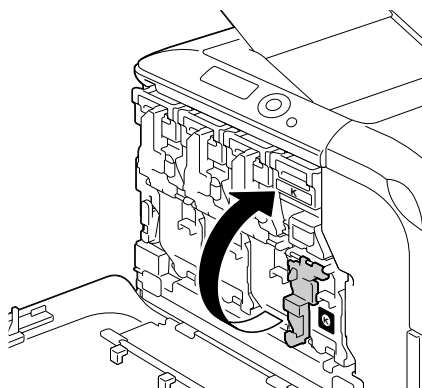
3 正面のレバーを右へ引きます。
Y: イエロー
M: マゼンダ
C: シアン
K: ブラック

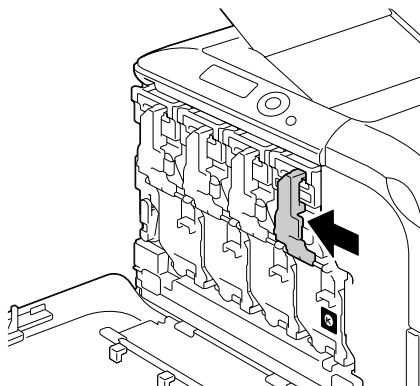
4 レバーを下に下げロックを外します。

5 交換するイメージングユニットのロックレバー（「PUSH」と表示されている）を押し下げ、イメージングユニットを引き抜きます。

ご注意

使用済みイメージングユニットは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。イメージングユニットを燃やさないでください。

6 新たにセットするイメージングユニットの色を確認します。

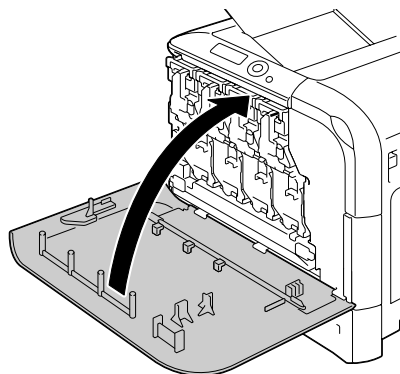
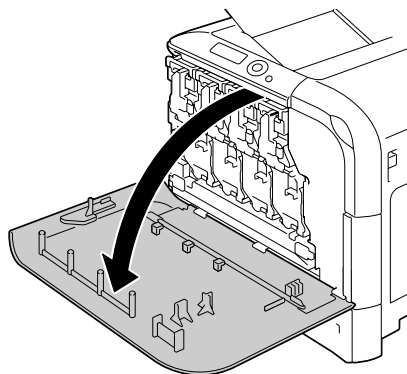
トナーがこぼれるのを防ぐため、手順 5 を実行するまでイメージングユニットを袋から出さないでください。

7 イメージングユニットを袋から取り出します。

8 新しいイメージングユニットを両手で持ち、図のように数回振ります。

イメージングユニットの下部に手を触れないでください。損傷による印刷品質低下の原因になります。

9 イメージングユニットの保護テープをすべて取り外します。

10 イメージングユニットの保護カバーを取り外します。

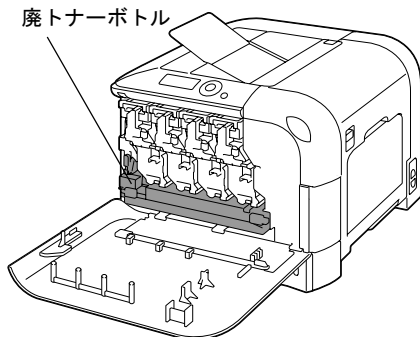
11 新しくセットするイメージングユニットの色と本体挿入口の色が合っていることを確認して、イメージングユニットを本機に押し込みます。

12 正面のレバーを上に戻します。

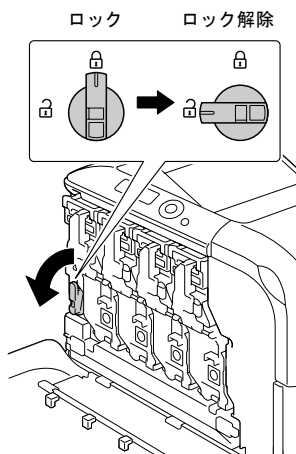
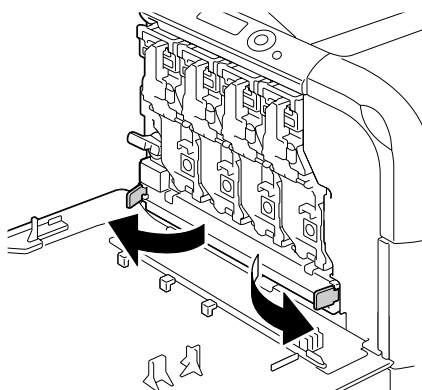
13 レバーを左に引きロックします。

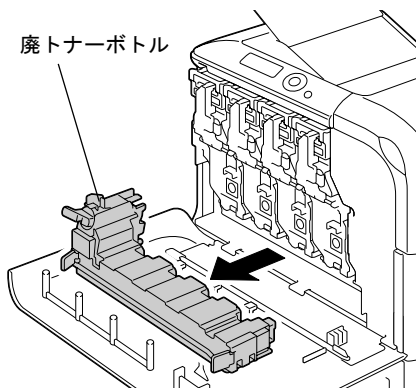
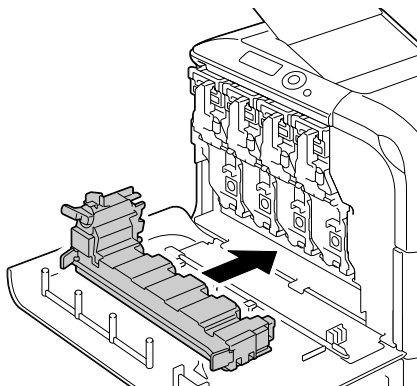
14 前ドアを閉じます。

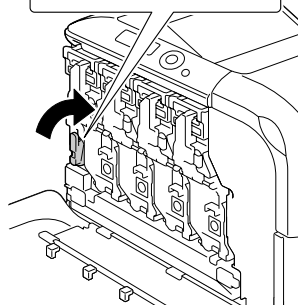
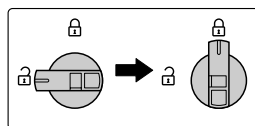
正面のレバーを確実に元の位置に戻してください。元の位置に戻っていない場合、本機の前ドアは閉じません。

廃トナーボトルの交換手順

廃トナーボトルがいっぱいになると「廃ﾄﾅｰﾌﾙ 廃ﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙ を交換」のメッセージが表示されます。プリンタは印刷を中断し、廃トナーボトルを交換後に印刷を再開します。

廃トナーボトルは右図の位置にあります。

1 前ドアを開きます。

2 廃トナーボトルのダイヤルを反時計回りにロック解除の位置まで回します。

3 廃トナーボトルの左右の取っ手を開きます。

4 廃トナーボトルの左右の取っ手をつまみ、廃トナーボトルをゆっくりと引き抜きます。

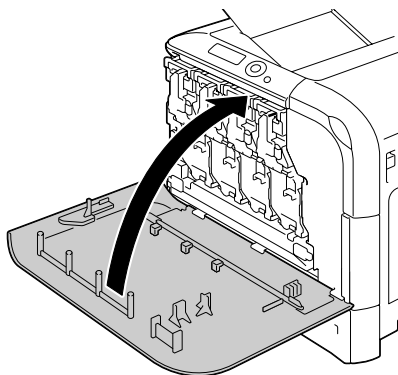
廃トナーボトルを取り出したときにロックを閉めると、廃トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

5 梱包箱から新しい廃トナーボトルを取り出します。使用済みの廃トナーボトルは梱包箱に同梱されているポリ袋にを入れて、梱包箱へしまっておきます。

ご注意

使用済み廃トナーボトルは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

取り付ける前にダイヤルがロック解除の位置になっていることを必ず確認してください。

6 廃トナーボトルを取り付けます。
最後まで確実に押し込みます。

7 ダイヤルを時計回りにロックの位置まで回します。

8 前ドアを閉じます。

廃トナーボトルが最後まで押し込まれていない場合や、ダイヤルがロックの位置になっていない場合、前ドアは閉まりません。

バックアップ電池の交換

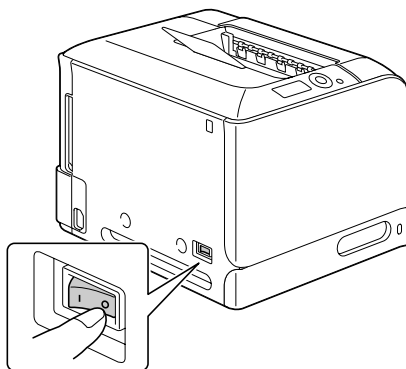
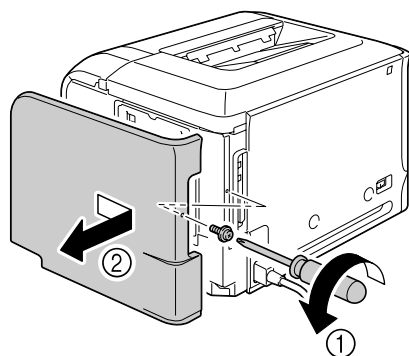
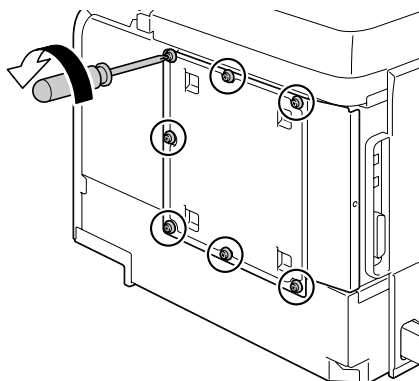
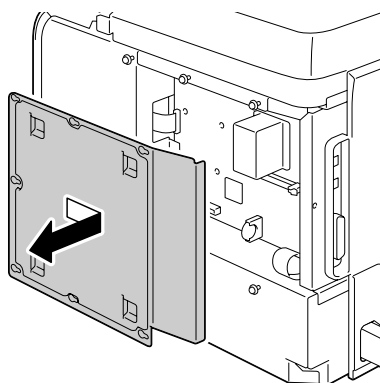
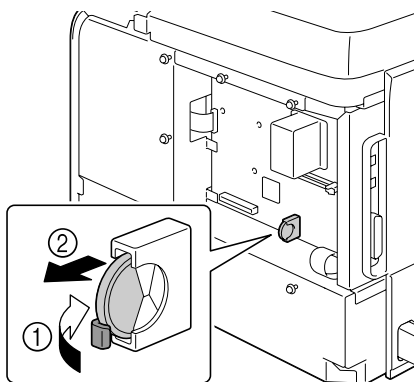
バックアップ電池が無くなると、本機で設定している日付や時刻が保持されません。以下の手順にしたがってバックアップ電池を交換してください。

コイン型リチウム電池 CR2032 3V のみ使用できます。

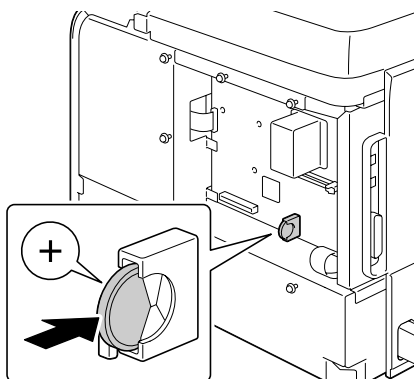
ご注意

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.285）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の緑色部を持ってください。

---

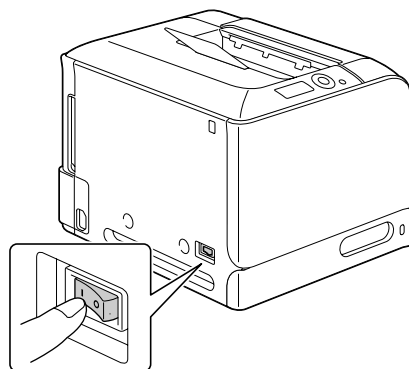
1 本機の電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 ドライバを使ってねじを取り外し（①）、背面のカバーを右へずらして取り外します（②）。

3 ドライバを使ってネジ７個をゆるめます。（ネジは取り外さないでください。）

4 金属パネルを右に少しずらし、プリンタから取り外します。

5 フックをずらしながら、バックアップ電池を引き抜きます。

6 新しいバックアップ電池を差し込みます。

バックアップ電池を差し込むときは、必ずプラス面を左側にしてください。

不適切なバックアップ電池を使用した場合は、電池が破裂するおそれがあります。正しいバックアップ電池を使用してください。

7 金属パネルを取り付け、ゆるめたネジ 7 個をしめます。

8 背面のカバーを取り付けます。

9 インターフェースケーブルを接続します。

10 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

11 「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 時計設定 / 日付」メニューで本機の日付、「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / 時計設定 / 時刻」メニューで本機の時刻を設定します。

定期交換部品の交換のしかた

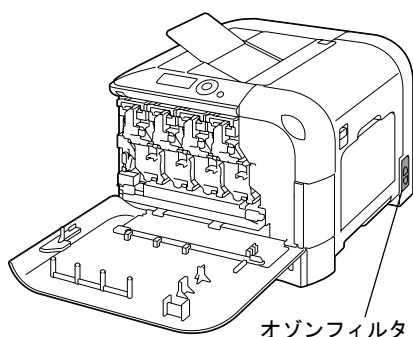
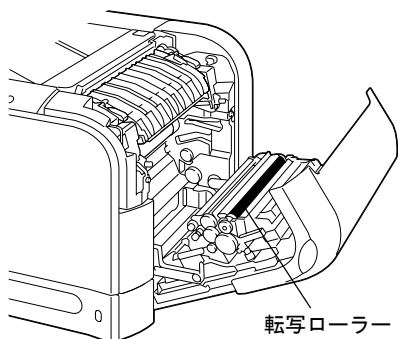
定期交換部品の交換は、保守サービス実施機関のサービスパーソンが実施します。定期交換部品の一覧については、「定期交換部品の寿命の目安」（p.306）をごらんください。

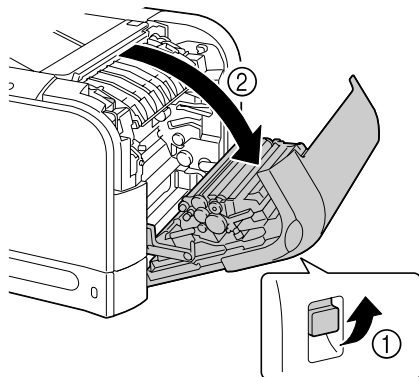
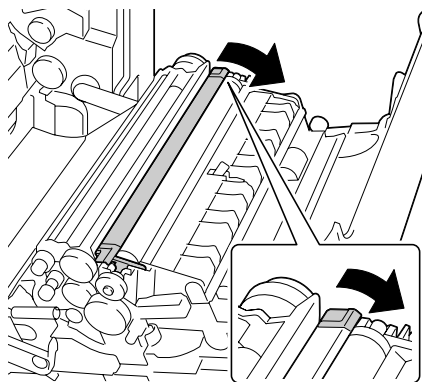
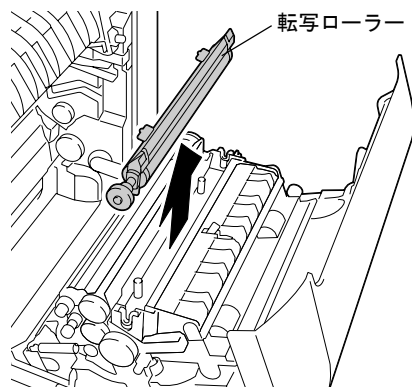
なお、転写ローラー（オゾンフィルタ同梱）、および転写ベルトはユーザー交換も可能です。それぞれ以下の手順をごらんください。

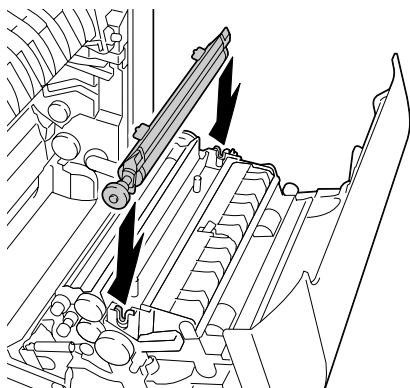
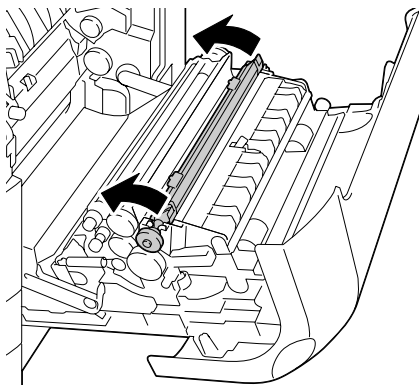
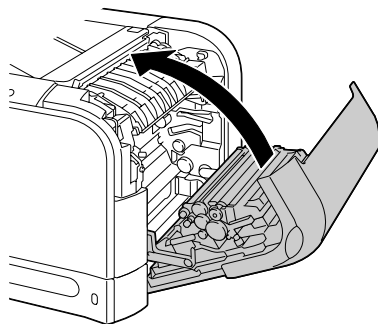
転写ローラーの交換手順

転写ローラーの交換時期がくると「転写ﾛｰﾗｰ 交換時期」のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されてからも印刷できますが、印刷品質が低下しますので、すみやかに転写ローラーを交換してください。

転写ローラー交換時には、オゾンフィルタの交換も行ってください。オゾンフィルタは転写ローラーの梱包箱に同梱されています。

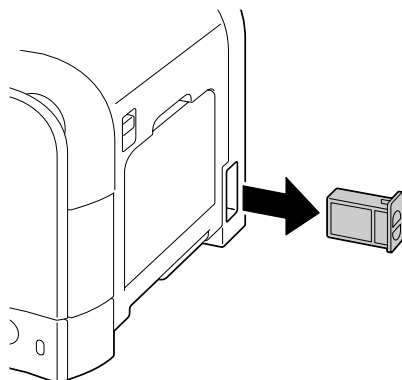
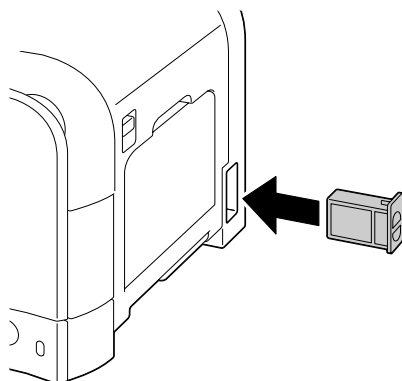
転写ローラーとオゾンフィルタはそれぞれ右図の位置にあります。

1 レバーを引き（①)、右ドアを開きます（②)。

右ドアを開ける時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開けてください。

2 ローラー押えを手前に倒します。

3 転写ローラーを取り外します。

4 新しい転写ローラーを用意します。

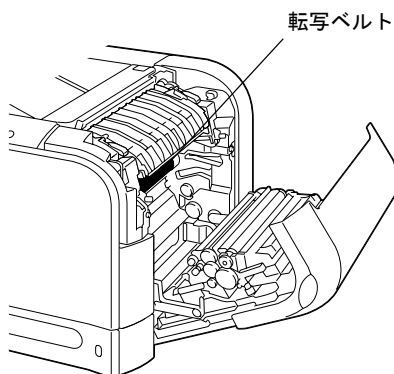
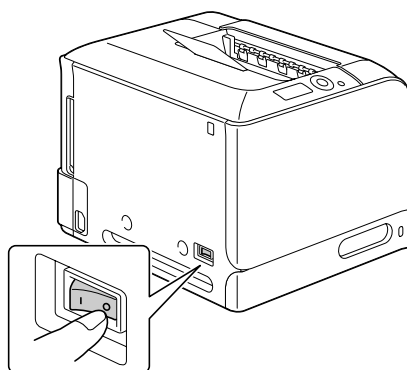
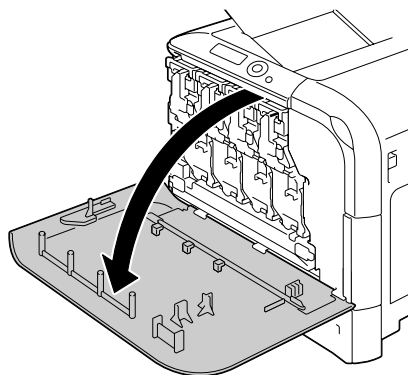
5 軸受けに転写ローラーの軸をセットします。

6 カチッと音がするまでローラー押さえを奥側に倒します。

7 右ドアを閉じます。

8 「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ / ｻﾌﾟﾗｲ品 / 交換 / 転写ﾛｰﾗｰ」メニューでカウンタをリセットします。

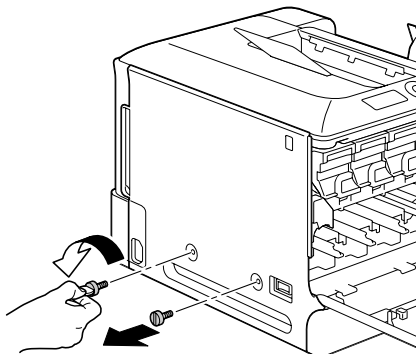
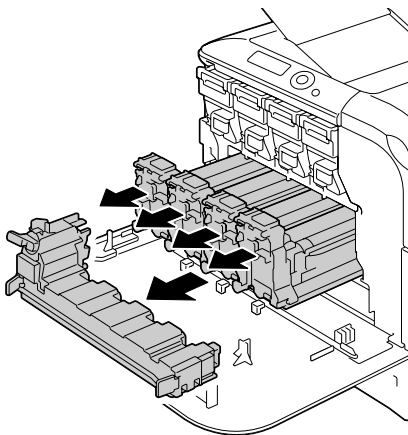
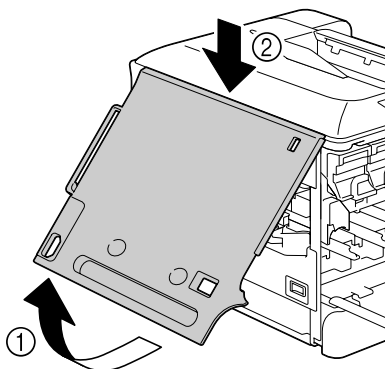
9 以下の手順に従ってオゾンフィルタの交換をおこないます。

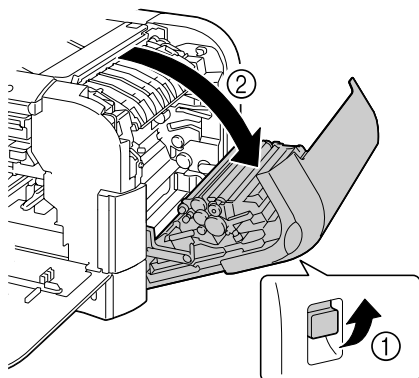
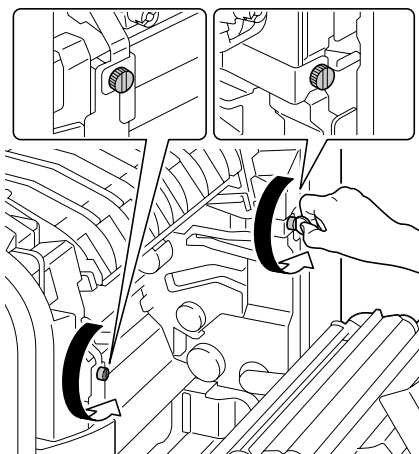
オゾンフィルタの交換手順

1 プリンタからオゾンフィルタを抜き取ります。

2 新しいオゾンフィルタを差し込みます。
カチッと音がするまで確実に差し込んでください。

転写ベルトの交換手順

転写ベルトの交換時期がくると「転写ﾍﾞﾙﾄ 交換時期」のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されてからも印刷できますが、印刷品質が低下しますので、すみやかに転写ベルトを交換してください。

転写ベルトは右図の位置にあります。

1 本機の電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 前ドアを開きます。

3 廃トナーボトルと 4 色全てのイメージングユニットを取り外します。

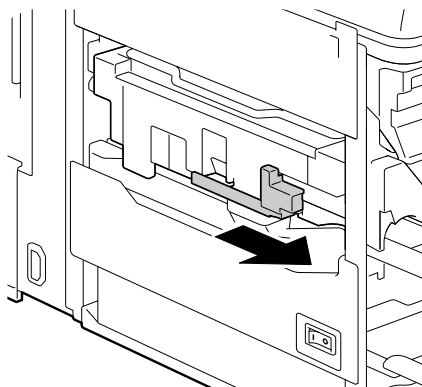
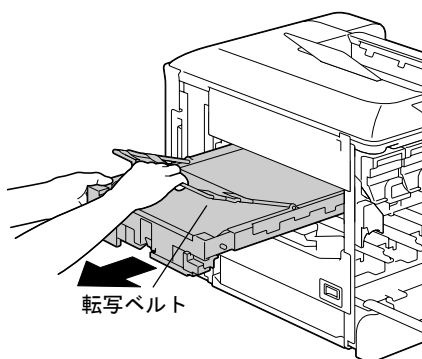
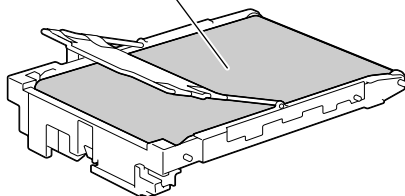
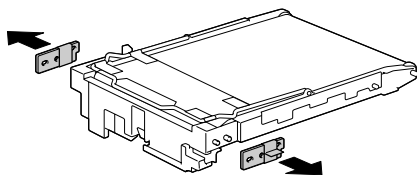
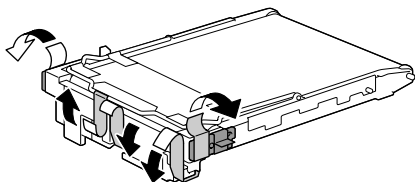
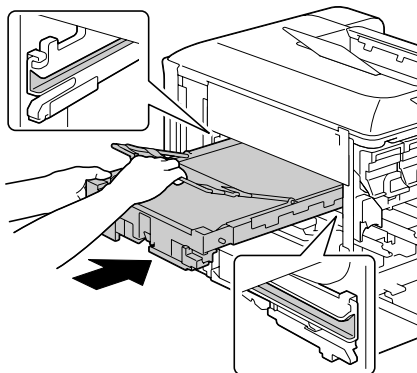
イメージングユニットの取り外し、廃トナーボトルをの取り外しについては、「イメージングユニットの交換手順」(p.197)、「廃トナーボトルの交換手順」(p.203) をごらんください。

取り出したイメージングユニットに光が当たらないようにカバーで覆ってください。

4 左サイドカバーのねじ（2 個）をコインを使って取り外します。

ねじはなくさないように注意してください。

5 左サイドカバーを取り外します。

6 レバーを引き（①）、右ドアを開きます（②）。

右ドアを開ける時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開けてください。

7 転写ベルトを固定している左右のねじをコインを使ってゆるめます。

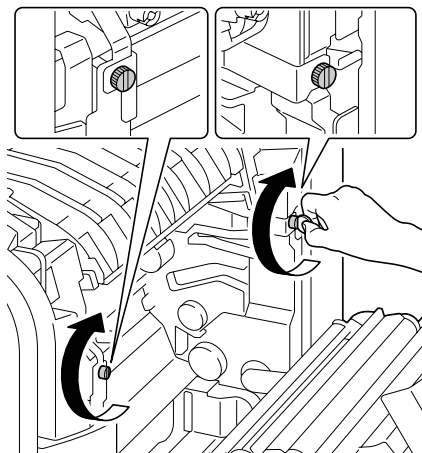
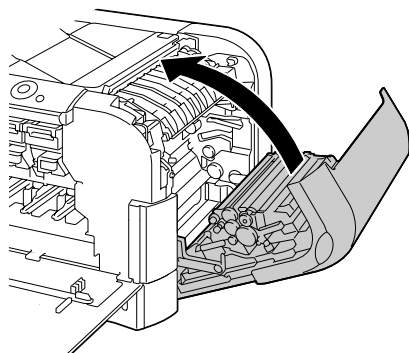
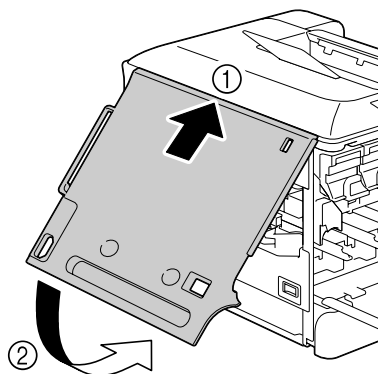
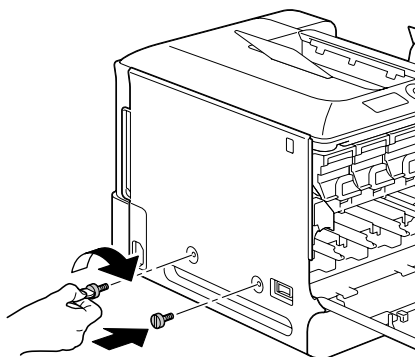
8 転写ベルトの青色のシャッターレバーを右へ引きます。

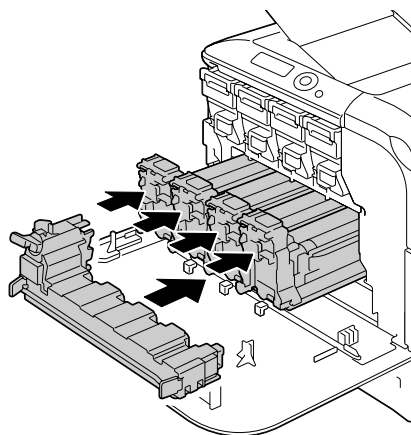
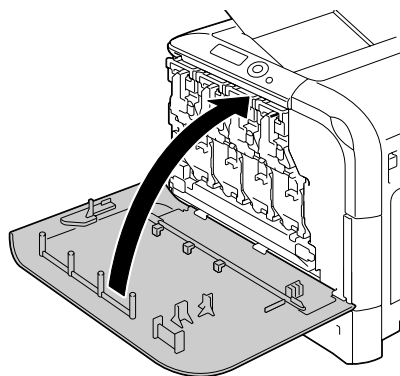
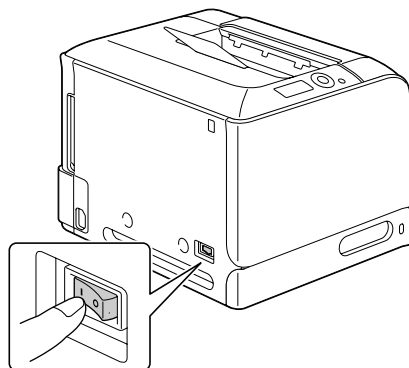
青色のレバーは取り外さないでください。

9 左サイドカバー側からアームを持って転写ベルトを静かに引き抜きます。

10 新しい転写ベルトを用意して、全ての保護テープを取り外します。

11 転写ベルトから保護カバーを取り外します。

ベルト部分には手を触れないよう注意してください。

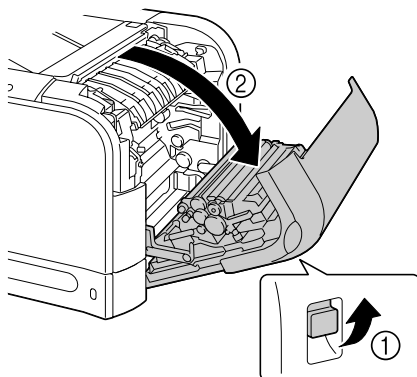
青色のレバーは取り外さないでください。

12 本体内部のレールに沿って新しい転写ベルトをセットします。

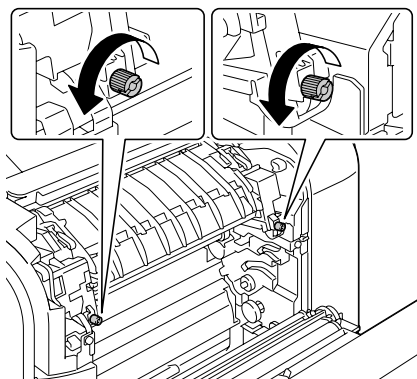
13 右ドア側の転写ベルトの固定ねじを締め付けます。

14 右ドアを閉じます。

15 左サイドカバーを付けます。

16 コインを使って、ねじ（2 個）を締めます。

17 廃トナーボトルとイメージングユニットを取り付けます。

イメージングユニットの取り付け、廃トナーボトルをの取り付けについては、「イメージングユニットの交換手順」（p.197）、「廃トナーボトルの交換手順」（p.203）をごらんください。

18 前ドアを閉じます。

19 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

20 「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ / ｻﾌﾟﾗｲ品 / 交換 / 転写ﾍﾞﾙﾄ」メニューでカウンタをリセットします。

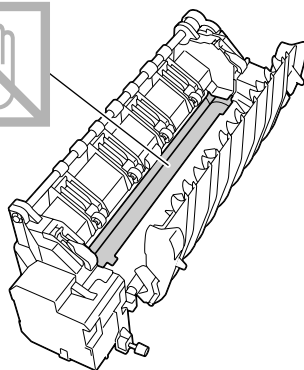
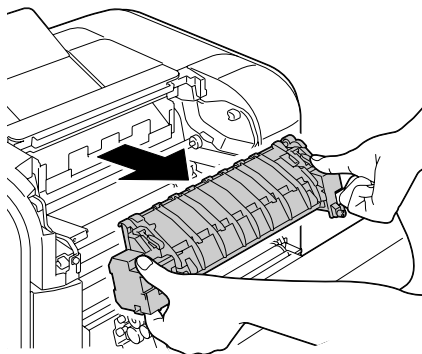
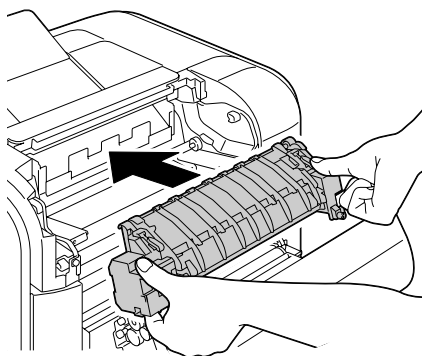
定着ユニットの交換

1 本機の電源を切ります。

ご注意

機械内部には、高温部分があります。定着ユニットの交換は、電源を切ってから約 20 分程度待ち、定着部が常温になっていることを確認してから行ってください。

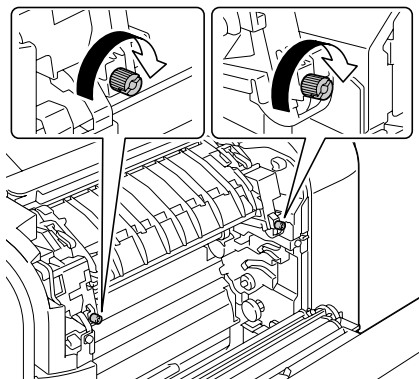
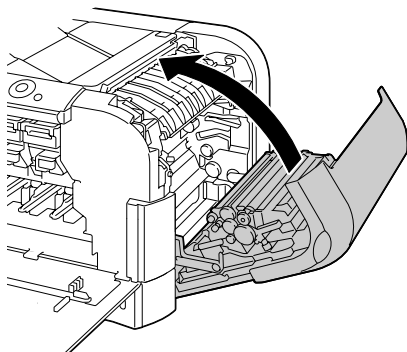
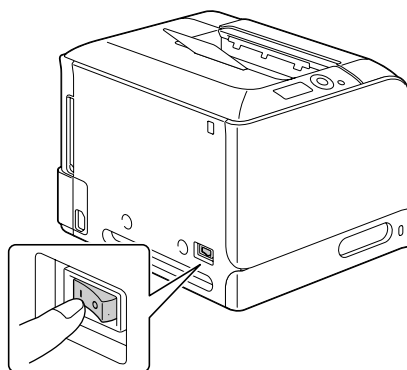
---

2 レバーを引き（①）、右ドアを開きます（②）。

右ドアを開ける時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開けてください。

3 コインを使って定着ユニットを固定している左右のねじをゆるめます。

4 定着ユニットを取り外します。

5 新しい定着ユニットを用意します。

定着ローラーの表面に手を触れないように注意してください。

6 定着ユニットを取り付けます。

7 コインを使って、定着ユニットの固定ねじを締め付けます。

8 右ドアを閉じます。

9 本機の電源を入れます。

10 「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ / ｻﾌﾟﾗｲ品 / 交換 / 定着ﾕﾆｯﾄ」メニューでカウンタをリセットします。

9 メンテナンス

プリンタのメンテナンス

注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルはプリンタのドア内部やプリンタ本体の内部にあります。

プリンタを長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片がプリンタ内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的にプリンタの清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

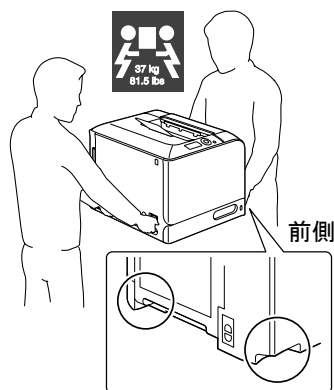
警告

清掃前には、プリンタの電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
プリンタ内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。プリンタの損傷や感電のおそれがあります。

注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1時間お待ちください）。

- プリンタ内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- プリンタの上に物を置かないでください。
- プリンタの清掃には柔らかい布を使用してください。
- プリンタの表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。プリンタのすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- プリンタの清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、プリンタの目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- プリンタの清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- プリンタのドアはゆっくり閉めてください。プリンタに振動を与えないようにしてください。

- プリンタを使用後すぐにカバーなどをかけないでください。電源を切り、プリンタの温度が下がるまで待ってください。
- プリンタのドアを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってトナーカートリッジが損傷を受ける場合があります。
- 印刷中はプリンタのいずれのドアも開けないでください。
- 用紙をプリンタの上部にあててそろえないでください。
- プリンタに油をさしたり、分解しないでください。
- プリンタを傾けないでください。
- 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。プリンタの故障や印刷品質の低下の原因になります。
- 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。
- プリンタを移動するときは、必ず 2 人以上で持ち上げてください。
  トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。
- プリンタを運ぶ時は、必ずトレイ 1 をたたみ、図に示す位置を持って運んでください。

オプションの給紙ユニットを装着しているときは、必ず、プリンタと別々に運んでください。また、トレイ 3 の取手（引き出し部）や給紙ユニットの右ドアを持たないでください。給紙ユニットの破損の原因になります。

- トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

注意

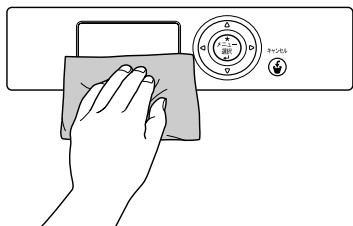
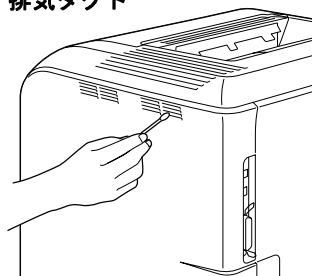
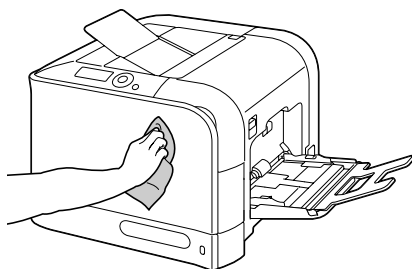
トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

- プリンタの電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

プリンタの清掃

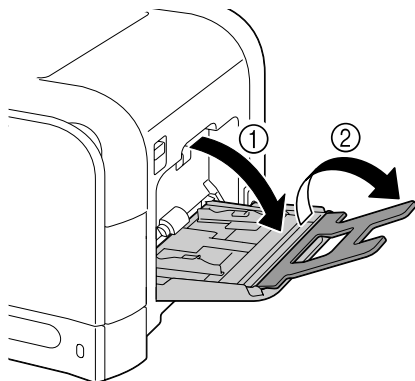
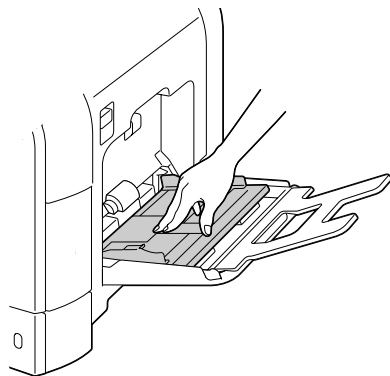
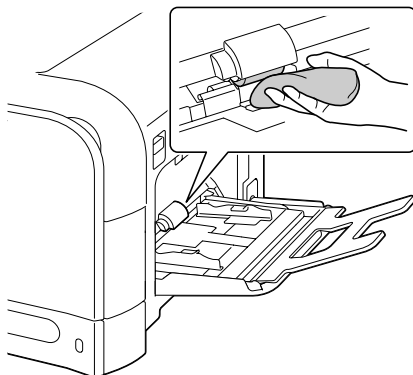
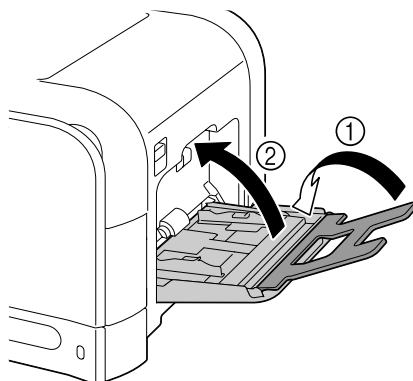
注意

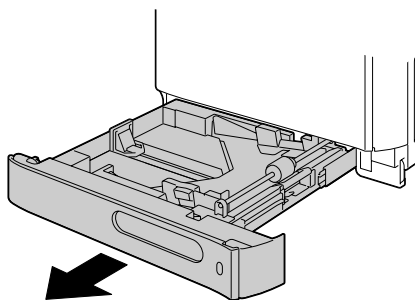
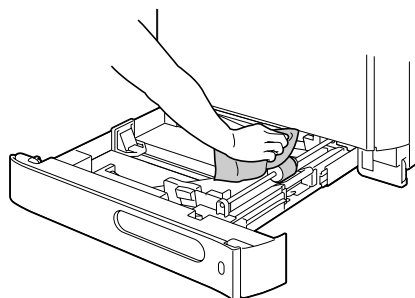
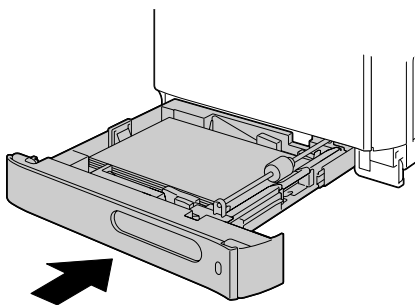
清掃前にはプリンタの電源を切り、電源ケーブルを外してください。

プリンタ外側の清掃

プリンタの外側

給紙ローラー

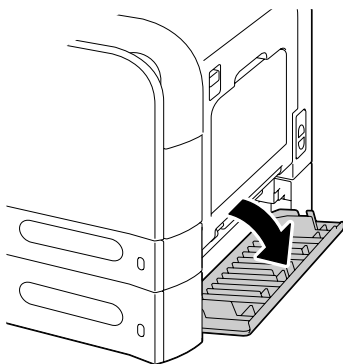
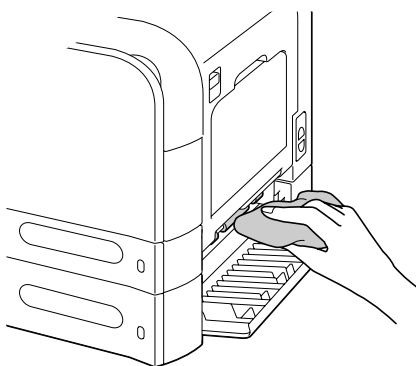
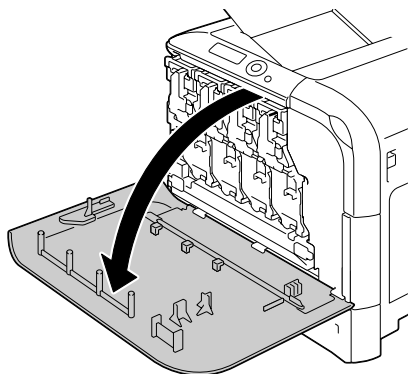
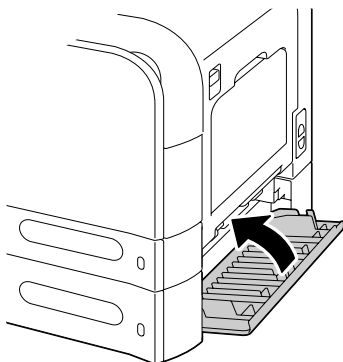
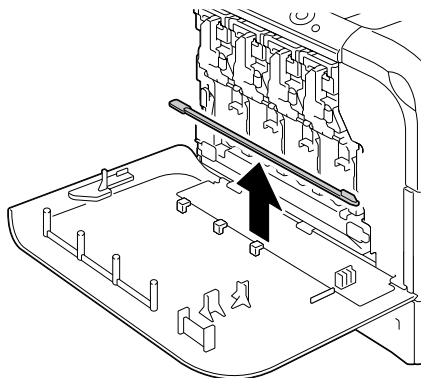
給紙ローラー部に紙粉やほこりがたまると、給紙トラブルの原因になります。

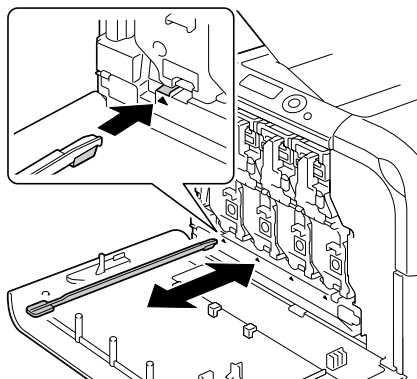
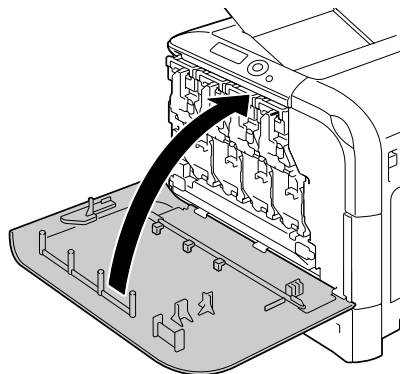
トレイ 1（手差しトレイ）の給紙ローラーの清掃

1 トレイ 1 を開きます。

2 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

3 給紙ローラーを柔らかい乾いた布で拭きます。

4 トレイ 1 を閉じます。

トレイ 2/3 の給紙ローラーの清掃

1 トレイを開きます。

2 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

3 トレイを閉じます。

トレイ 3 の搬送ローラーの清掃

1 トレイ 3 の右ドアを開きます。

トレイ 3 の右ドアを開ける時は、トレイ 1 をたたんでから開けてください。

2 やわらかい乾いた布で搬送ローラーの汚れを拭き取ります。

3 トレイ 3 の右ドアを閉じます。

レーザーレンズの清掃

本プリンタには 4 つのレーザーレンズがあります。すべて以下の手順で清掃を行ってください。

1 前ドアを開きます。

2 レーザーレンズ清掃具を取り出します。

3 プリントユニットの下部にある清掃孔にレーザーレンズ清掃具を差し込み、2 ～ 3 回前後に動かします。

4 同様にして各プリントユニットに相当する位置のレーザーレンズを清掃します。

5 レーザーレンズ清掃具をホルダに戻します。

レーザーレンズ清掃具はなくさないようにレーザーレンズ清掃具ホルダに戻してください。

6 前ドアを閉じます。

10 トラブルシューティング

はじめに

この章では、プリンタ使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

設定リストページを印刷する

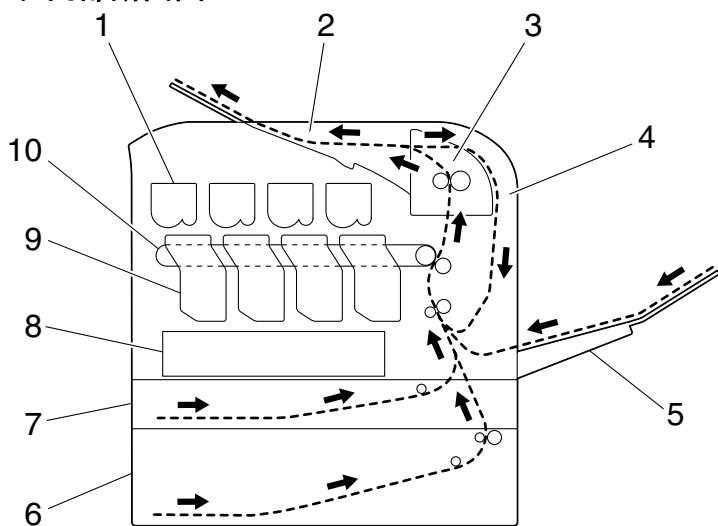
設定リストページを印刷し、プリンタが正しく印刷動作をしているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ
	「印刷可」
* メニュー 選択 ↵	「印刷ﾒﾆｭｰ」 オプションのハードディスクキットを装着している場合は、メニューの一番上に「保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ」が表示されます。▽キーを押して「印刷ﾒﾆｭｰ」にカーソルを合わせてください。
* メニュー 選択 ↵	「設定ﾘｽﾄ」
* メニュー 選択 ↵	「印刷」

押すキー	ディスプレイ
* メニュー 選択 ↵	設定リストページが印刷され「印刷可」の画面に戻ります。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙はプリンタの仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
プリンタは表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
静電気の発生を防ぐために、OHP フィルムに印刷したら、すぐに排紙トレイから取り除いていますか？
トレイに用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、プリンタの破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
OHP フィルムはさばかないでください。（OHP フィルムをさばくと、静電気が発生し、OHP フィルムどうしがくっついてしまいます。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 200 枚まで排紙できます。200 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）
排紙トレイに OHP フィルムを大量に排紙しないでください。

用紙送りの流れ

プリンタ用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

プリンタ内部断面図

1　トナーカートリッジ	6　トレイ 3（オプション）
2　排紙トレイ	7　トレイ 2
3　定着ユニット	8　レーザー
4　両面プリントユニット（内蔵）	9　イメージングユニット
5　トレイ 1（手差しトレイ）	10 転写ベルト

紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片がプリンタ内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、プリンタ内部にトナーをこぼさないでください。

注意

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

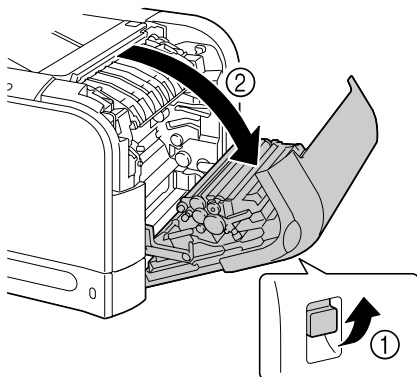
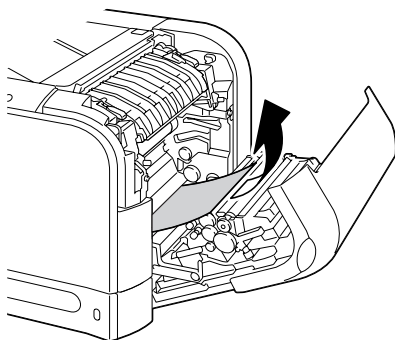
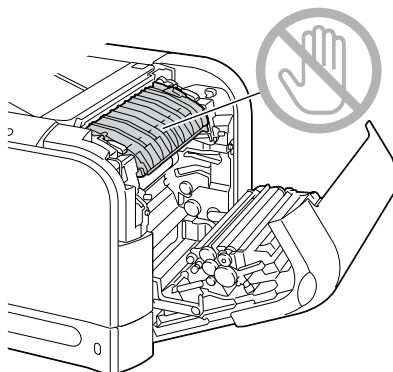
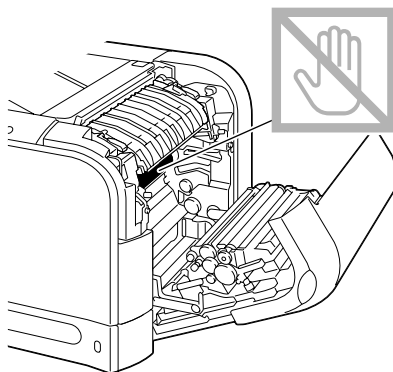
紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのメッセージウィンドウに紙づまりのメッセージが表示されている場合は、プリンタのドアの開閉を行ってください。

紙づまり表示と処理について

紙づまりメッセージ	参照ページ
紙詰まり ﾄﾚｲ 2	p. 242
紙詰まり ﾄﾚｲ 3	p. 245
紙詰まり 両面 1	p. 247
紙詰まり 両面 2	p. 247
紙詰まり 定着 / 排紙部	p. 248
紙詰まり ﾄﾚｲ 1	p. 252
紙詰まり 2 次転写部	p. 252
紙詰まり 搬送部	p. 245, p. 252

「紙詰まり 搬送部」と表示された場合は、トレイ 3 の右ドアと転写ローラー部の紙づまりを確認してください。

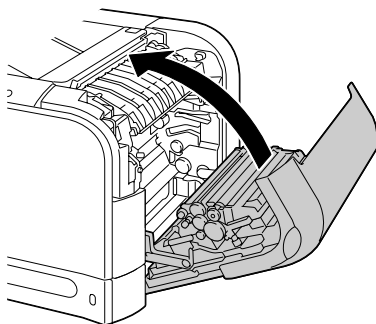
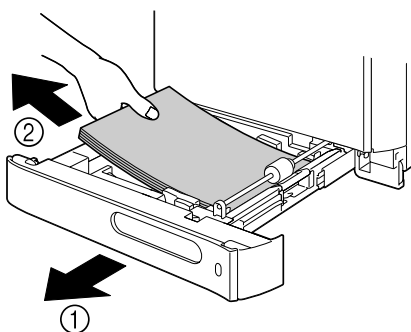
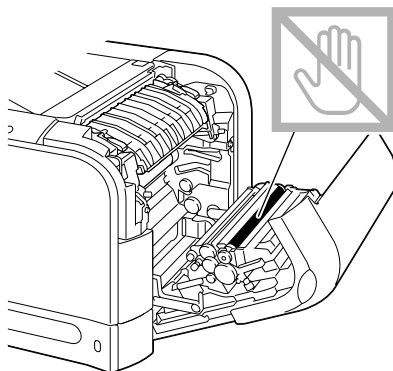
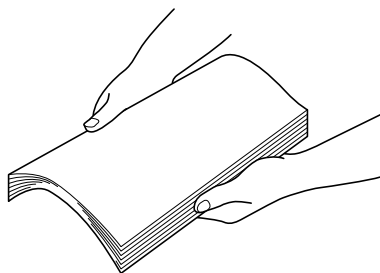
トレイ 2 での紙づまり処理

1 レバーを引き（①）、右ドアを開けます（②）。

右ドアを開ける時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開けてください。

2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

注意

定着部周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ご注意

転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

3 右ドアを閉じます。

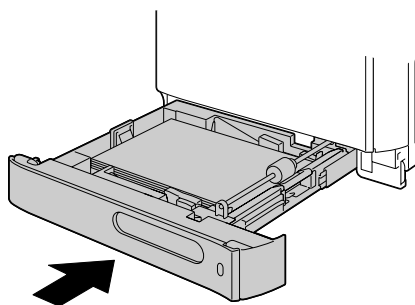
4 トレイ 2 を引出し（①)、トレイ内に残っている用紙を取り出します（②)。

5 取り出した用紙をさばいてから用紙の端をそろえます。

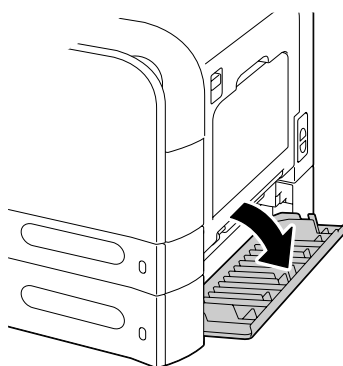
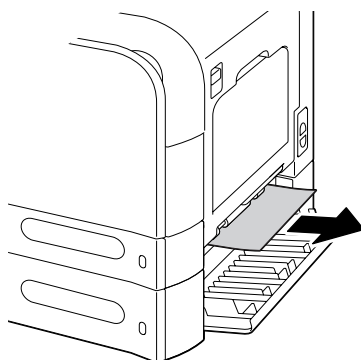
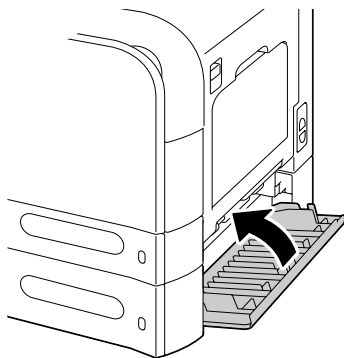
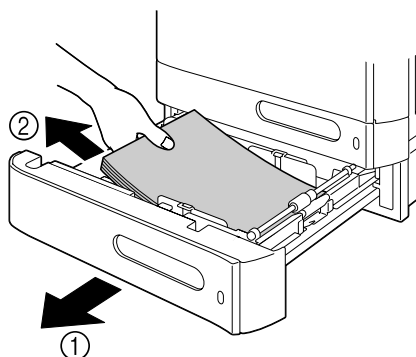
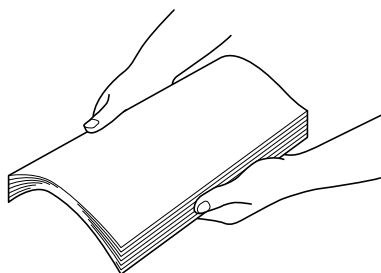
6 用紙の印刷面を上向きにしてトレイ 2 にセットします。

 用紙は平らにセットしてください。

 用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

7 トレイ 2 を閉じます。

トレイ 3 での紙づまり処理

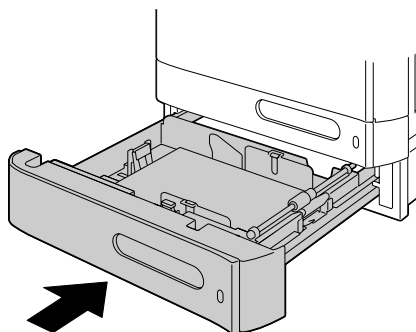
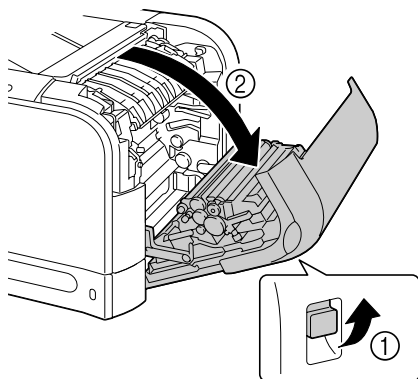
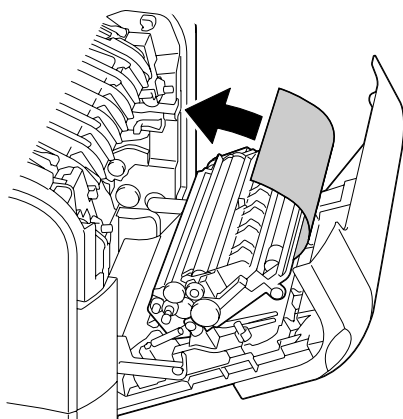
1 トレイ 3 の右ドアを開けます。

トレイ 3 の右ドアを開ける時は、手差しトレイをたたんでから開けてください。

2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

3 トレイ 3 の右ドアを閉じます。

4 トレイ 3 を引出し（①）、トレイ内に残っている用紙を取り出します（②）。

5 取り出した用紙をさばいてから用紙の端をそろえます。

6 用紙の印刷面を上向きにしてトレイ 3 にセットします。

 用紙は平らにセットしてください。

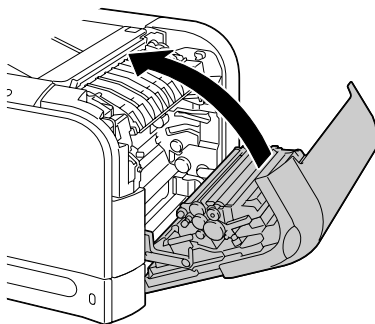
 用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

 用紙ガイドを必ず用紙の端面にあわせてください。

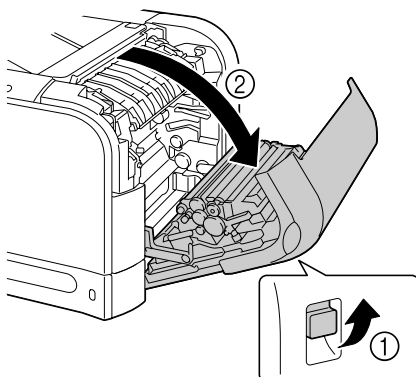
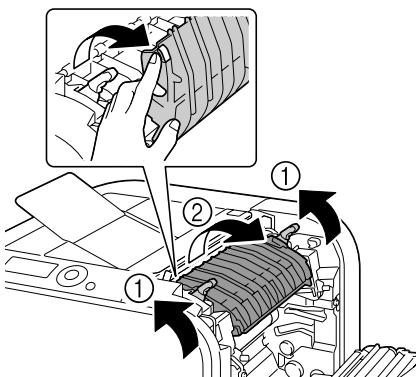
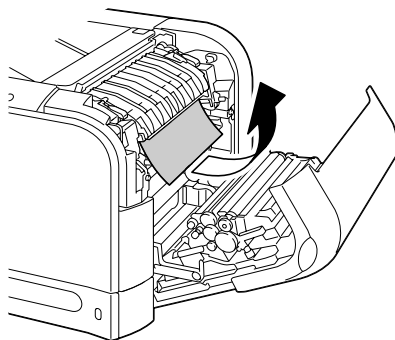
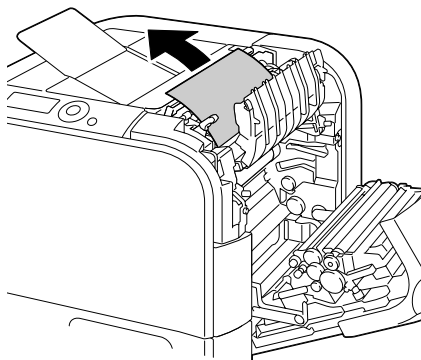
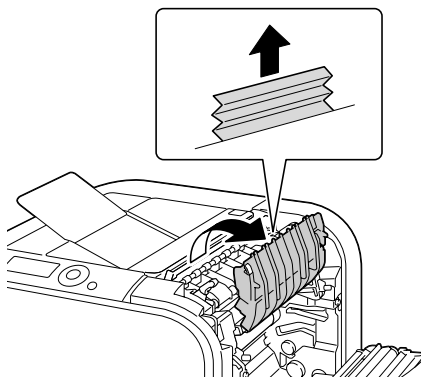
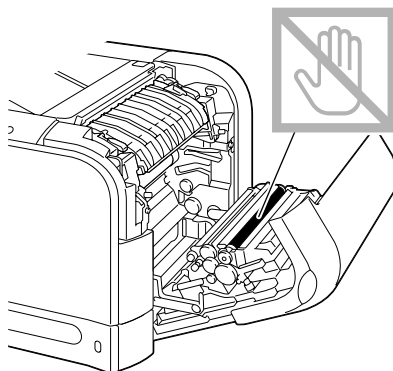
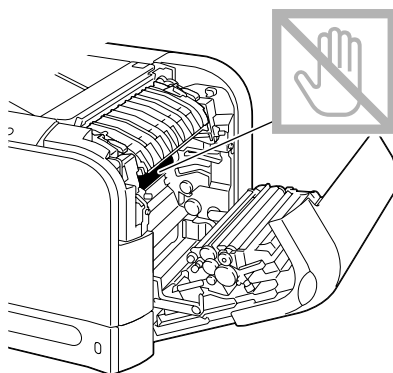
7 トレイ 3 を閉じます。

両面プリントユニットでの紙づまり処理

1 レバーを引き（①）、右ドアを開けます（②）。

右ドアを開ける時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開けてください。

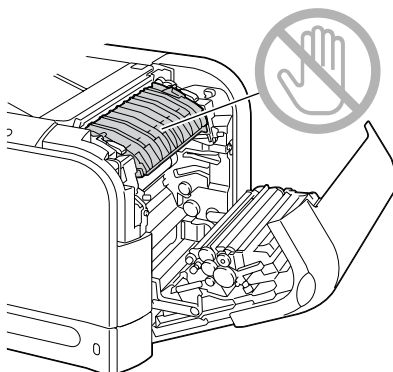
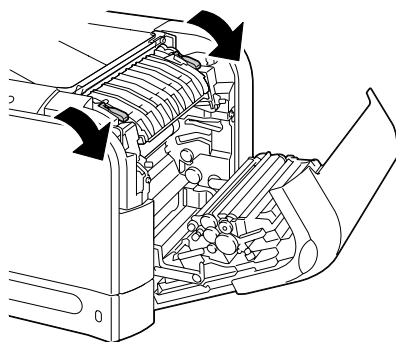
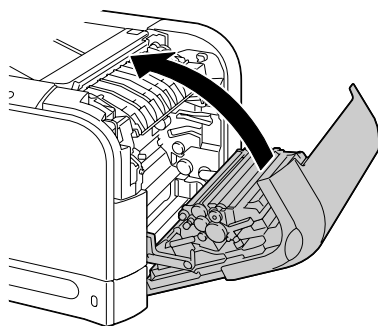
2 つまっている用紙をゆっくりと引出します。

3 右ドアを閉じます。

定着ユニットでの紙づまり処理

1 レバーを引き（①）、右ドアを開けます（②）。

右ドアを開ける時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開けてください。

2 定着カバーのレバー（2 箇所）を押し上げ（①）、定着カバーを開きます（②）。

3 つまった用紙をゆっくりと引出します。

下側に取り除くことができない場合は、定着ユニットの上側に取り除きます。

定着ユニット内部でじゃばら状に用紙がつまっている場合は、定着ユニットを開いて取り除きます。

注意

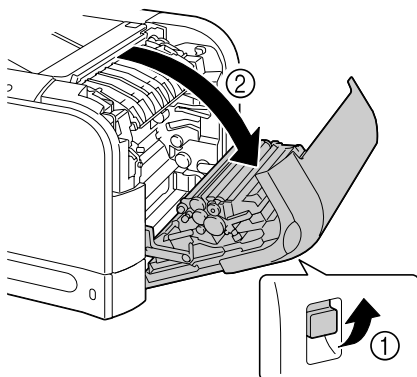
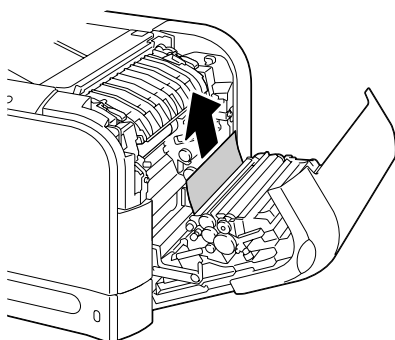
定着部周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ご注意

転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

4 レバーを押し下げます。

5 右ドアを閉じます。

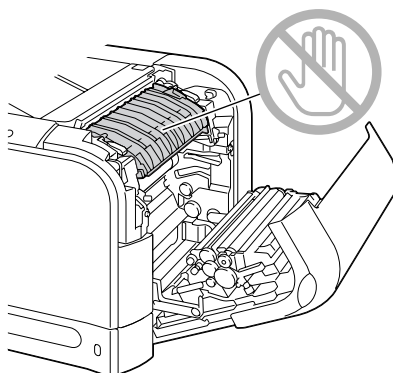
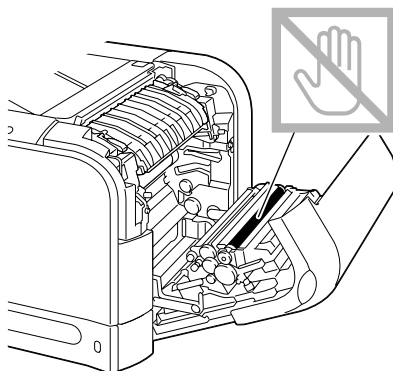
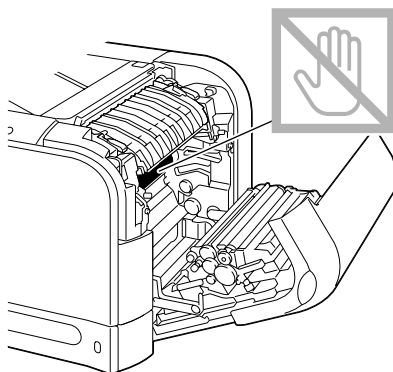
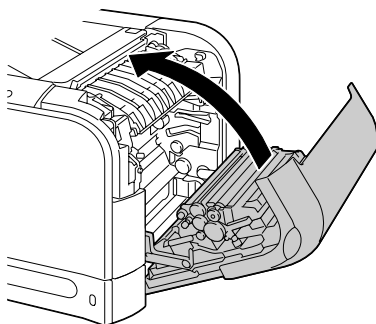
トレイ 1（手差しトレイ）／転写ローラーでの紙づまり処理

1 レバーを引き（①）、右ドアを開けます（②）。

右ドアを開ける時は、必ずトレイ 1 をたたんでから開けてください。

2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

注意

定着部周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ご注意

転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

3 右ドアを閉じます。

紙づまりの問題

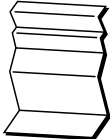
特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	給紙トレイ内で用紙がくっついている。	OHP フィルム以外の用紙は、よくさばいてからセットしなおしてください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	静電気が起きている。	セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
紙づまりのメッセージが消えない	プリンタをリセットする必要がある。	プリンタの右ドアを開閉してリセットしてください。
	プリンタ内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷の紙づまりが起きている	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については 、「使用できる出力用紙サイズ」（p.160）をごらんください。
		60 ～ 90 g/m² の普通紙で両面印刷ができます。プリンタドライバで用紙種類を正しく設定してください。 両面印刷に対応している用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.160）をごらんください。
		異なる種類の用紙を混ぜてセットしないでください。
		厚紙や封筒、ラベル紙、OHP フィルムを両面印刷に使用しないでください。
	まだ紙づまりを起こしている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大補給量を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トレイ 2/3 に不定形紙、厚紙、ラベル紙、封筒、官製はがき、OHP フィルムがセットされている。	普通紙以外の用紙はトレイ 1 にセットしてください。
	OHP フィルムまたはラベル紙が、トレイ 1 に逆向きにセットされている。	OHP フィルムやラベルの向きを正しい向きにセットしてください。
	封筒がトレイ 1 に正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを上側にしてセットしてください。
		フタが封筒の長辺にある場合は、フタを右側にしてセットしてください。
	OHP フィルムがトレイで静電気を起こしている。	OHP フィルムを取り除き、一度に 1 枚ずつトレイ 1 にセットします。セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.160）をごらんください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「給紙ローラー」（p.229）をごらんください。

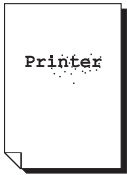
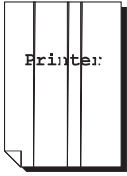
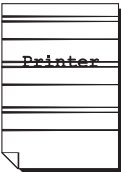
その他の問題

症状	原因	処置のしかた
プリンタの電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数がプリンタの仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.302）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
ジョブがプリンタに送られたが、印刷されない	メッセージウィンドウにエラーメッセージが表示されている。	メッセージにしたがって操作してください。
	認証 / 部門管理を設定している場合、ジョブがキャンセルされることがあります。	プリンタドライバの「認証 / 部門管理」ボタンより必要な情報を入力し印刷してください。
予定よりもかなり早くメッセージウィンドウに「ﾄﾅｰ残量少」が表示される	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	多量のトナーを使用する画像を印刷している。	付録「技術仕様」（p.302）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
設定リストページが印刷されない	給紙トレイに用紙がセットされていない。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	プリンタのドアがしっかり閉まっていない。	プリンタのドアがしっかり閉まっているか確認してください。すべてのドアを、プリンタを傷めないようにゆっくり閉じてください。前ドアを閉じるときは、廃トナーボトルとトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
	紙づまりがおきている。	つまっている用紙を取り除いてください。
デジタルカメラからの印刷ができない	デジタルカメラの転送モードがPictBridge に設定されていない。 PictBridge に対応したデジタルカメラのみサポートします。	デジタルカメラの転送モードをPictBridge に設定してください。
	デジタルカメラとプリンタの印刷設定が違う場合に、印刷できない場合があります。	デジタルカメラから印刷設定を「プリンタの設定に従う」に変更して再度、印刷を行ってください。
	プリンタの「ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ」が「無効」になっている。	「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ」－「ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ」の設定を「有効」に変更してください。
	ユーザ認証でパブリックユーザーが設定されていない。	プリンタ管理者にご確認ください。

症状	原因	処置のしかた
USB メモリから印刷できない	印刷できるファイル形式（拡張子）と一致していない。	印刷できるファイル形式（拡張子）は、JPEG、TIFF、XPS、PDF のみです。
	プリンタの「ﾒﾓﾘｰ ﾀﾞｲﾚｸﾄ」が「無効」になっている。	「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ」－「ﾒﾓﾘｰ ﾀﾞｲﾚｸﾄ」の設定を「有効」に変更してください。
	ユーザ認証でパブリックユーザーが設定されていない。	プリンタ管理者にご確認ください。
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙や OHP フィルム）に設定されている。	OHP フィルムなどの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙に設定されているか確認してください。
	プリンタが節電中になっている。	プリンタが節電中の場合、印刷するまでに少し時間がかかります。 お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
	プリンタのメモリが十分でない。	メモリを増設してください。
	仕向け違いまたはコニカミノルタ純正以外のトナーカートリッジがセットされている。 メッセージウィンドウに「非正規ﾄﾅｰ X」と表示される。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジをセットしてください。
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバで用紙の種類が、プリンタにセットされている用紙と合っているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷されないページがある	プリンタのインターフェースケーブルの種類またはポートが間違っている。	インターフェースケーブルを確認してください。
	［キャンセル］キーが押された。	ジョブの印刷中に、［キャンセル］キーを押さないでください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	オーバーレイを設定して印刷しようとしたときに、本機以外のプリンタドライバで作成されたオーバーレイファイルが選択されている。	オーバーレイを設定する場合は、本機のプリンタドライバで書き出したオーバーレイファイルを使用してください。
頻繁にプリンタがリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	両面印刷では普通紙を使用してください。厚紙、封筒、ラベル、はがき、OHP フィルム、光沢紙では両面印刷しないでください。 トレイ 1 に異なる種類の用紙がセットされていないか確認してください。
		プリンタドライバの「レイアウト」タブの「とじ位置」で「短辺とじ」（メモ帳のように縦にめくる）または「長辺とじ」（ルーズリーフのノートのように横にめくる）を選択してください。 正しい用紙を使用しているか確認してください。
		N-up 設定で両面印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
N-up 設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	N-up 設定で 2 部以上の印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
小冊子印刷時に、左綴じ／右綴じの設定通りに印刷されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	小冊子（左とじ／右とじ）印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。

症状	原因	処置のしかた
異常音がする	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	給紙トレイが正しくセットされていない。	給紙トレイを取り外し、確実にセットしなおしてください。
	プリンタ内に異物がある。	プリンタの電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
Web ベースのユーティリティでプリンタにアクセスできない	PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）が正しくない。	6 ～ 16 文字のアドミンパスワード（管理者番号）を入力してください。アドミンパスワード（管理者番号）については管理者に確認してください。 PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）については「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
用紙にしわができる	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については「使用できる出力用紙サイズ」（p.160）をごらんください。
プリンタの日付、時刻が正しく保持されない	バックアップ電池が寿命です。	バックアップ電池を交換してください。交換の仕方については、「バックアップ電池の交換」（p.206）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
排紙される用紙が均一に積載されない	用紙が大きくカールしている。	給紙トレイ内にセットされている用紙を、裏表逆にセットしてください。
	用紙をセットしている給紙トレイのガイド板と用紙の間に隙間がある。	給紙トレイのガイド板を用紙に突き当て、隙間が出ないようにしてください。

印刷品質の問題

症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタドライバの用紙設定と実際にプリンタにセットされている用紙が合っていない。	プリンタに正しい用紙をセットしてください。
	電源がプリンタの仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。OHP フィルム以外の用紙であれば、用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。
まっ黒または一面カラーで印刷される	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷が薄い	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	イメージングユニットを交換してください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、光沢紙に印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。
印刷が濃い	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
濃度が均一でない	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
画像にムラがある、または一部分が欠ける	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.160）をごらんください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.160）をごらんください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、光沢紙に印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。
	定着部の左右にあるレバーが封筒の位置に合わせられています。	封筒以外の用紙を印刷する場合は、必ずレバーを普通紙の位置に戻してください。

症状	原因	処置のしかた
しみやカスの汚れがある	1 つ以上のイメージングユニットが正しく装着されていない、または壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく）	給紙ローラー、搬送ローラーが汚れている。	給紙ローラー、搬送ローラーを清掃してください。
		給紙ローラー、搬送ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	イメージングユニットが壊れている。	異常な線が現れる色のイメージングユニットを取り出し、新しいイメージングユニットをセットしてください。

症状	原因	処置のしかた
画像が欠ける	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
	イメージングユニットが壊れている。	異常な現象が現れる色のイメージングユニットを取り出し、新しいイメージングユニットをセットしてください。
横方向に線や帯が現れる	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
色再現が極端におかしい	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている、または寿命に達している。	イメージングユニットを取り出し、ローラー部に均等にトナーがのっているか確認し、イメージングユニットをセットしなおしてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少ない、またはなくなっている。	メッセージウィンドウに「ﾄﾅｰ残量少 X」または「ﾄﾅｰなし X」と表示されていないか確認してください。メッセージが表示されている場合、指定されている色のトナーカートリッジを交換してください。
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	前ドアがきちんと閉まっていない。	前ドアが確実に閉まっていることを確認してください。
	1 つ以上のイメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が不十分、または色の濃度が薄い Printer Printer Printer Printer	イメージングユニットが壊れている。	イメージングユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングユニットを交換してください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせ先については、「製品サポートとサービスのご案内」をごらんください。

ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。プリンタの情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役立ちます。表示されたメッセージを確認し、正しい処置を行ってください。

通常のステータスメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ中	プリンタは次のタイミングで自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。 • プリンタの設定を変更し再起動した後 • トナーカートリッジの交換後 この処理は、プリンタの印刷品質を最適に保つために行われます。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。
ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ	プリントジョブがキャンセルされています。	
コピー中	部単位印刷中です。	
節電中	節電機能がはたらいています。節電中になり動作していない間は、消費電力が少なくなります。プリントジョブを受信すると、または操作パネルを操作すると、ウォーミングアップ後、印刷可の状態に戻ります。	
ﾌｧｰﾑｳｪｱ更新	ファームウェアの更新処理中です。	
初期化中	初期化処理中です。	
印刷中	印刷処理中です。	
処理中	データ処理中です。	
印刷可	プリンタは印刷可能な状態です。	
再起動中	プリンタが再起動中です。	
ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ	ウォームアップ中です。	
ｵﾌﾗｲﾝ	オフライン中です。	ネットワークで印刷したい場合は、TEL-NET で設定をオンラインに変更する必要があります。

エラーメッセージ（警告 : ⚠）

メッセージ	意味	処置のしかた
定着器 交換時期	定着ユニットが寿命です。	定着ユニットを交換してください。 詳細については「定着ユニットの交換」（p.222）を参照してください。
HDD 残量少	ハードディスクドライブの容量がいっぱいです。	必要に応じてハードディスクドライブに保存されているプリントジョブを削除してください。
ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ 残量少	コンパクトフラッシュカードの容量がいっぱいです。	必要に応じてコンパクトフラッシュカードに保存されているプリントジョブを削除してください。
非正規 HDD	ハードディスクドライブが他の装置でフォーマットされているため、使用できません。	コニカミノルタ純正のハードディスクキットと交換するか、操作パネルから「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ」—「HDD ﾌｫｰﾏｯﾄ」—「全領域」を選択してハードディスクをフォーマットしてください。
非正規 ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ	コンパクトフラッシュカードが他の装置でフォーマットされているため、使用できません。	コニカミノルタ純正のコンパクトフラッシュカードと交換するか、操作パネルから「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ」－「ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ ﾌｫｰﾏｯﾄ」－「全領域」を選択してコンパクトフラッシュカードをフォーマットしてください。
未ｻﾎﾟｰﾄ ｶｰﾄﾞ	本機では使用できないコンパクトフラッシュカードです。	コニカミノルタ純正のコンパクトフラッシュカードと交換してください。
非正規 I－ﾕﾆｯﾄ X	X イメージングユニットが純正ではありません。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのイメージングユニットを取り付けてください。詳細については「イメージングユニットの交換手順」（p.197）を参照してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
非正規ﾄﾅｰ X	X トナーが純正ではありません。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジを取り付けてください。詳細については「トナーカートリッジの交換手順」（p.193）を参照してください。
部単位印刷が できません	送信されたプリントジョブがハードディスクの容量を超えているため部単位印刷ができません。1 つのプリントジョブで 10000 ページを超えるプリントジョブは部単位印刷ができません。	1 部ずつプリントしてください。
転写ﾍﾞﾙﾄ 交換時期	転写ベルトが寿命です。	転写ベルトを交換し、操作パネルから「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ」－「ｻﾌﾟﾗｲ品」－「交換」－「転写ﾍﾞﾙﾄ」でカウンタをリセットしてください。
用紙なし ﾄﾚｲ X	トレイ X（トレイ 2 またはトレイ 3）が正しくセットされていません。 （「ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ」－「ﾜｰﾆﾝｸﾞ検出」－「用紙なし」で表示されたトレイが「ｵﾝ」に設定されている場合に表示されます。）	表示された給紙トレイを正しくセットしてください。
	トレイ X （トレイ 1、トレイ 2 またはトレイ 3 ）に用紙がありません。 （「ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ」－「ﾜｰﾆﾝｸﾞ検出」－「用紙なし」で表示されたトレイが「ｵﾝ」に設定されている場合に表示されます。）	表示された給紙トレイに用紙をセットしてください。
Iｰ ﾕﾆｯﾄ ｴﾝﾄﾞ X	X（イメージングユニットの色を示します）イメージングユニットが寿命です。	イメージングユニットを交換してください。 詳細については「イメージングユニットの交換手順」（p.197）を参照してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
Iｰﾕﾆｯﾄ残量少 X	X（イメージングユニットの色を示します）イメージングユニットが残り少なくなっています。あと 4,500 ページ（A4 サイズで 5% の印字率の場合）印刷する前にイメージングユニットを交換する必要があります。 （「ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ」－「ﾜｰﾆﾝｸﾞ検出」で「Iｰﾕﾆｯﾄ残量少」設定が「ｵﾝ」に設定されている場合に表示されます。）	指定されたイメージングユニットを準備してください。
Iｰﾕﾆｯﾄ 寿命 X	X（イメージングユニットの色を示します）イメージングユニットが寿命を超えました。	イメージングユニットを交換してください。 詳細については「イメージングユニットの交換手順」（p.197）を参照してください。
ﾄﾅｰなし X	X（トナーの色を示します）トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。 詳細については「トナーカートリッジの交換手順」（p.193）を参照してください。
ﾄﾅｰ残量少 X	X（トナーの色を示します）トナーが残り少なくなっています。あと 1,200 ページ（A4 サイズで 5% の印字率の場合）印刷する前にトナーカートリッジを交換する必要があります。 （「ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ」－「ﾜｰﾆﾝｸﾞ検出」で「ﾄﾅｰ残量少」設定が「ｵﾝ」に設定されている場合に表示されます。）	指定されたトナーカートリッジを準備してください。
転写ﾛｰﾗｰ 交換時期	転写ローラーが寿命です。	転写ローラーを交換し、操作パネルから「ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ」－「ｻﾌﾟﾗｲ品」－「交換」－「転写ﾛｰﾗｰ」でカウンタをリセットしてください。
廃ﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙ 交換時期	廃トナーボトルがもうすぐいっぱいになります。	新しい廃トナーボトルを準備してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
USB ハブは、 未対応	USB ポートにハブが接続されました。	USB ハブは接続できません。
接続デバイスは、 未対応	USB ポートに未対応のデバイスが接続されました。	未対応のデバイスは接続できません。

エラーメッセージ（オペレーターコール：⚠）

メッセージ	意味	処置のしかた
ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ	前ドアが開いています。	前ドアを閉じてください。
ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ｻｲﾄﾞｶﾊﾞｰ	右ドアが開いています。	右ドアを閉じてください。
ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ﾄﾚｲ 3 ｶﾊﾞｰ	給紙トレイ 3 の右ドアが開いています。	トレイの右ドアを閉じてください。
ｼﾞｮﾌﾞ保存不可 ｼﾞｮﾌﾞを保存 できません	ハードディスクキットが未装着の状態で、ハードディスクに保存指定されたプリントジョブが送信されています。	プリントジョブの保存はハードディスクキット装着時のみ実行できます。必要に応じてハードディスクキットを装着してください。
保存ｼﾞｮﾌﾞｴﾗｰ “オプション” ｷｬﾝｾﾙできます	ジョブを保存したときのオプション構成と違っています。	オプション構成をジョブが保存された状態に戻してください。
手差し用紙なし “用紙サイズ” “用紙種類”	プリンタドライバで手差し印刷が設定されていますが、トレイ 1 に用紙がありません。	トレイ 1 に正しい用紙をセットしてください。
手差し確認 “用紙サイズ” “用紙種類”	プリンタドライバの「用紙トレイ」で「トレイ 1（手差し）」を選択しているときに、プリント開始時にトレイ 1 に用紙がセットされています。	△ キーを押して印刷をするか、トレイ 1 の用紙をセットしなおしてください。
ﾒﾓﾘ ﾌﾙ ｷｬﾝｾﾙを 押してください	プリンタが、メモリで処理できる量以上のデータを受信しました。	［キャンセル］キーを押し、プリントジョブをキャンセルしてください。 プリントジョブのデータ容量を少なくし（例えば、解像度を低くするなど）、再度印刷してください。 問題が解決しない場合は、オプションのメモリを増設してください。
排紙ﾄﾚｲ ﾌﾙ 用紙を除去	排紙トレイの用紙がいっぱいになっています。	排紙トレイの用紙を取り除いてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
用紙なし “用紙サイズ” “用紙種類”	給紙トレイに用紙がありません。 （「用紙ﾒﾆｭｰ」—「給紙ﾄﾚｲ」—「自動ﾄﾚｲ切替え」が「ｵﾝ」に設定されている場合に表示されます。）	正しいサイズ、種類の用紙をトレイにセットしてください。
用紙確認 “用紙サイズ” “用紙種類”	プリンタドライバで指定されたサイズ、種類の用紙がありません。 （「用紙ﾒﾆｭｰ」—「給紙ﾄﾚｲ」—「自動ﾄﾚｲ切替え」が「ｵﾝ」に設定されている場合に表示されます。）	正しいサイズ、種類の用紙をセットしてください。
紙詰まり 両面 1	両面プリントユニットの給紙口で紙づまりが起きています。	▽キーを押し、ヘルプ画面を表示してください。ヘルプ画面の指示にしたがって詰まっている用紙を取り除いてください。
紙詰まり 両面 2	両面プリントユニットの搬送部で紙づまりが起きています。	
紙詰まり 定着 / 排紙部	定着ユニットで紙づまりが起きています。	
紙詰まり 2 次転写部	転写ローラーの辺りで紙づまりが起きています。この場合、用紙は排紙口まで進んでいません。	
紙詰まり ﾄﾚｲ 1	トレイ 1 で紙づまりが起きています。	
紙詰まり ﾄﾚｲ X	トレイ 2、トレイ 3 の給紙部で紙づまりが起きています。	
紙詰まり 搬送部	搬送部で紙づまりが起きています。	
Iｰ ﾕﾆｯﾄ ｴﾝﾄﾞ X を交換	X（イメージングユニットの色を示します）イメージングユニットが寿命を超えました。	イメージングユニットを交換してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
Iｰ ﾕﾆｯﾄ寿命 X を交換	X（イメージングユニットの色を示します）イメージングユニットが寿命になりました。	イメージングユニットを交換してください。 ▽キーを押し、ヘルプ画面で「継続」を選択すると、20ページまたは現在のジョブが終了するまで印刷します。その後も印刷を続けると、メッセージ「Iｰ ﾕﾆｯﾄ ｴﾝﾄﾞ」が表示され、印刷が停止します。
Iｰ ﾕﾆｯﾄ未装着 X を確認	X（イメージングユニットの色を示します）イメージングユニットが正しく取り付けられていないか、純正ではないイメージングユニットが取り付けられています。	コニカミノルタ純正のイメージングユニットを正しく取り付けてください。
ﾄﾅｰなし X を交換	X（トナーの色を示します）トナーカートリッジ内のトナーが完全になくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾅｰ未装着 X を確認	X（トナーの色を示します）トナーカートリッジが正しく取り付けられていないか、純正ではないトナーカートリッジが取り付けられています。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを正しく取り付けてください。
ﾄﾚｲ X 用紙なし “用紙ｻｲｽﾞ” “用紙種類”	トレイ X（トレイ 1、2、3）がプリンタドライバで指定されていますが、トレイに用紙がありません。 (「用紙ﾒﾆｭｰ」—「給紙ﾄﾚｲ」—「自動ﾄﾚｲ切替え」が「ｵﾌ」に設定されている場合に表示されます。)	正しいサイズ、種類の用紙を指定されたトレイにセットしてください。
ﾄﾚｲ X 用紙確認 “用紙サイズ” “用紙種類”	プリンタドライバで指定されたトレイに指定されたサイズ、種類の用紙がありません。 (「用紙ﾒﾆｭｰ」—「給紙ﾄﾚｲ」—「自動ﾄﾚｲ切替え」が「ｵﾌ」に設定されている場合に表示されます。)	正しいサイズ、種類の用紙を指定されたトレイにセットしてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
廃ﾄﾅｰﾌﾙ 廃ﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙ を交換	廃トナーボトルが廃トナーでいっぱいになりました。	新しい廃トナーボトルに交換してください。
ﾄﾚｲ X ｻｲｽﾞ確認 " 用紙サイズ " を補給	プリンタドライバで指定した用紙サイズの用紙がトレイ X（トレイ 1、トレイ 2 またはトレイ 3）にセットされていない。	表示された給紙トレイに正しい用紙をセットしてください。
ﾄﾚｲ X 種類確認 " 用紙種類 " を補給	プリンタドライバで指定した用紙種類の用紙がトレイ X（トレイ 1、トレイ 2 またはトレイ 3）にセットされていない。	表示された給紙トレイに正しい用紙をセットしてください。
ｵﾌﾟｼｮﾝ構成変更	電源が入った状態でオプション構成が変更されました。	本機を再起動してください。
非正規ﾄﾅｰ X	X ﾄﾅｰが純正ではありません。	コニカミノルタ純正で正しい仕向けのトナーカートリッジを取り付けてください。

サービスメッセージ：⚠

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、プリンタを再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ XX “ｴﾗｰ内容”	サービスメッセージ内に表示されている“XX”のエラーが検出されました。 メッセージウィンドウの下部にはエラーの内容が表示されます。	プリンタを再起動してください。多くの場合、これによりサービスメッセージが消え、プリンタは復旧します。 それでもメッセージが消えない場合には、エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。

オプションの取り付け 11

はじめに

ご注意

本プリンタは、純正品／推奨品以外のオプションの使用は保証の対象外となります。

この章では、以下のオプションについて説明します。

オプション名	説明	オプション番号
メモリ（DIMM）	256 MB, 512 MB DIMM（DDR2-667,SO-DIMM, 166 MHz, 200 ピン ,NoECC, アンバッファ , CL=3） 搭載 SDRAM 容量：512 Mbits / 構成：64 Mwords × 8 bits	*
給紙ユニット	500 枚給紙トレイ付	*
ハードディスクキット	40 GB ハードディスク	*
CF アダプター	コンパクトフラッシュカード用アダプター	*
コンパクトフラッシュカード	256 MB, 512 MB, 1 GB, 2 GB, 4 GB	*
備考：* オプション品については、弊社ホームページにてご確認ください。		

ご注意

ハードディスクキットと CF アダプターは、同時に取り付けることはできません（どちらか一方しか取り付けることができません）。オプションを取り付ける際は、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

静電気防止の対策

ご注意

コントローラボードは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。
最初に電源スイッチを切っておいてください。静電気防止のリストストラップがある場合は、片方の端を手首に付け、もう片方の端をプリンタ背面の金属部分につけます。リストストラップを機器に決して触れないようにしてください。プラスチック、ゴム、木、塗装された金属面は、接地面になりません。
静電気防止のリストストラップがない場合は、コントローラボードや部品を取り扱う前に、接地面に触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。また、放電後は、歩き回らないでください。再度帯電する可能性があります。

メモリ（DIMM）の取り付け

メモリ（DIMM）は、メモリチップが表面に載っている小型の基板です。

本プリンタには一つのメモリスロットがあり、コントローラボード上には 256 MB のメモリがあらかじめ装着されています。メモリは一つのスロットを使用して実使用上最大 768 MB（256 MB + 512 MB）まで拡張できます。

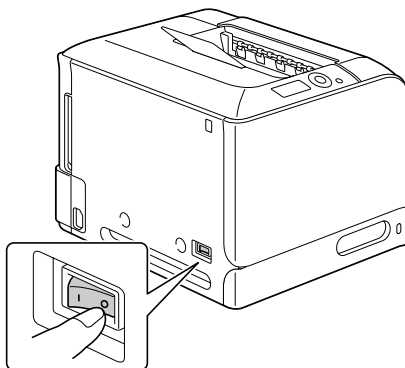
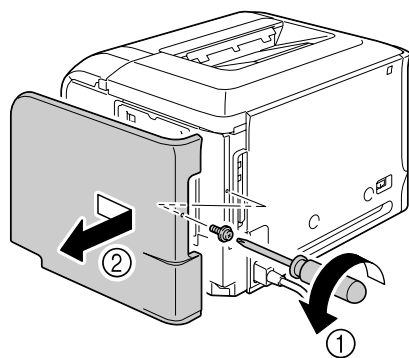
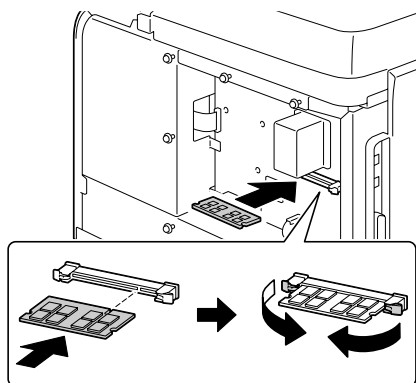
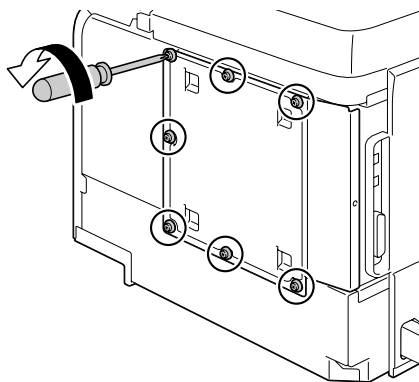
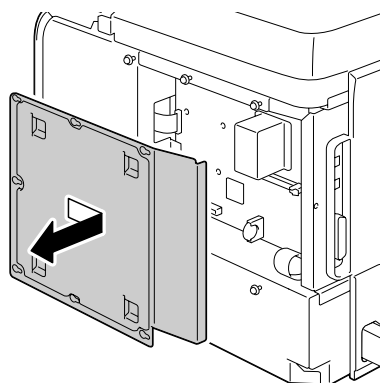
メモリ（DIMM）は、KONICA MINOLTA 純正品のメモリ（DIMM）をご使用ください。

取り付けたメモリの使用可能容量は、メモリ容量の半分となります。

メモリの取り付けかた

ご注意

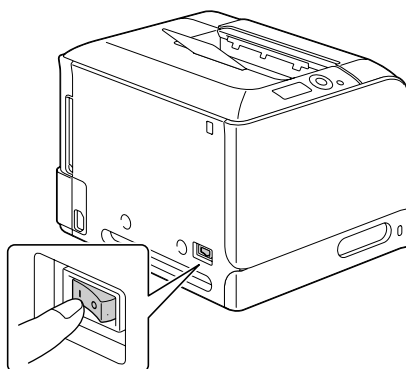
コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.285）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の緑色部を持ってください。

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 ドライバを使ってねじを取り外し（①）、背面のカバーを右へずらして取り外します（②）。

3 ドライバを使ってネジ 7 個をゆるめます。（ネジは取り外さないでください。）

4 金属パネルを右に少しずらし、プリンタから取り外します。

5 メモリの切り欠きを DIMM スロットに合わせて、留め金がロックされる位置にはまるまでまっすぐ差し込みます。
メモリのコネクタ部分がスロットに合っていることを確認します。
メモリをしっかり差し込むことができない場合は、無理に押し込まないでください。メモリが正しくスロットに差し込まれていることを確認して、もう一度取り付けてください。

6 金属パネルを取り付け、ゆるめたネジ 7 個をしめます。

7 背面のカバーを取り付けます。

8 インターフェースケーブルを接続します。

9 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

10 「印刷ﾒﾆｭｰ」－「設定ﾘｽﾄ」で設定リストページを印刷して、メモリの総量を確認します。

11 装着したメモリがプリンタドライバで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.33）を参照し、手動でオプションの認識を行ってください。

ハードディスクキットの取り付け

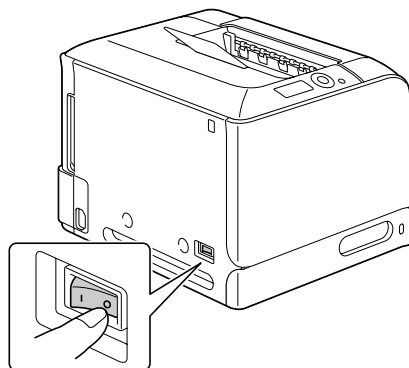
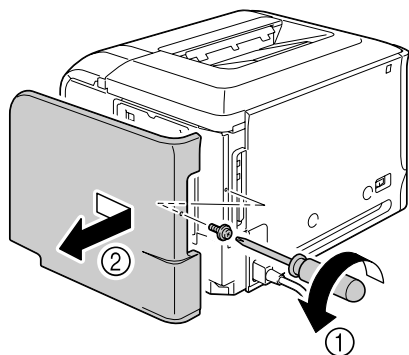
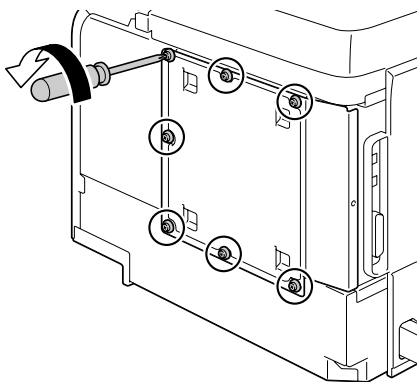
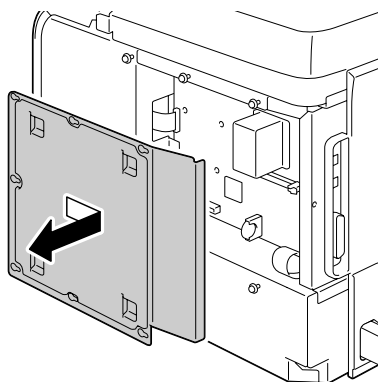
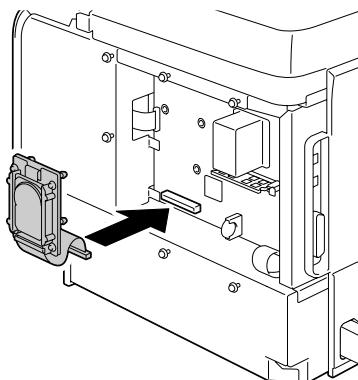
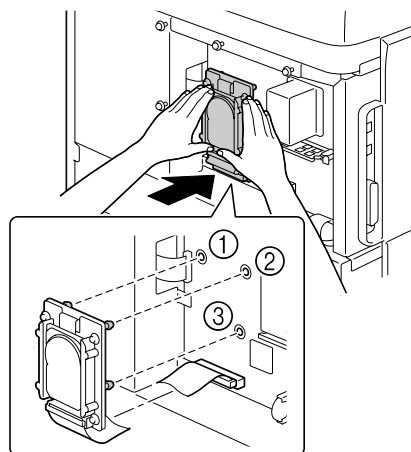
オプションのハードディスクキットを取り付けることで、ソート（部単位印刷）、ジョブの印刷 / 保存、フォント / フォーム / カラープロファイルのダウンロード、認証 / 部門管理、ダイレクトプリント、PageScope Direct Print（ユーティリティ）の使用が有効となります。
ユーザー使用可能エリアは 40 GB 中 18 GB になります。

ハードディスクキットの取り付けかた

ご注意

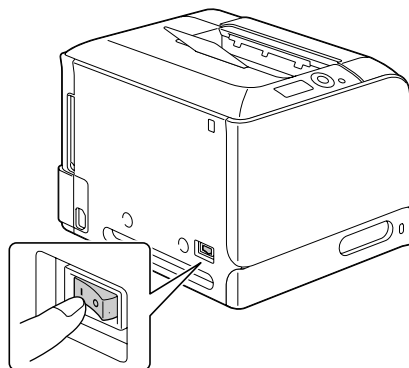
コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.285）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の緑色部を持ってください。

---

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 ドライバを使ってねじを取り外し（①）、背面のカバーを右へずらして取り外します（②）。

3 ドライバを使ってネジ 7 個をゆるめます。（ネジは取り外さないでください。）

4 金属パネルを右に少しずらし、プリンタから取り外します。

5 ハードディスクキットのケーブルをコントローラボードのコネクタに差し込みます。

6 ①、②、③の順でハードディスクキットの取り付けピン（3 箇所）をコントローラボードの穴に差し込み、ハードディスクキットをコントローラボードに固定します。

7 金属パネルを取り付け、ゆるめたネジ 7 個をしめます。

8 背面のカバーを取り付けます。

9 インターフェースケーブルを接続します。

10 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

11 「印刷ﾒﾆｭｰ」－「設定ﾘｽﾄ」で設定リストページを印刷して、ハードディスクの容量を確認します。

12 装着したハードディスクがプリンタドライバで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、手動でインストール済みオプションに追加してください。詳しくは、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.33）をごらんください。

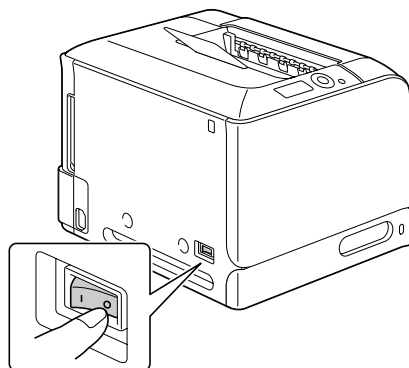
コンパクトフラッシュの取り付け

オプションのコンパクトフラッシュカードを取り付けることで、ソート（部単位印刷）、フォント / フォーム / カラープロファイルのダウンロード、認証 / 部門管理、ダイレクトプリント、PageScope Direct Print（ユーティリティ）の使用が有効となります。

本機は、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB、4 GB のコンパクトフラッシュカードを使用できます。

ジョブの印刷 / 保存は、コンパクトフラッシュカードを取り付けても利用できません。オプションのハードディスクキットを取り付けると利用できます。

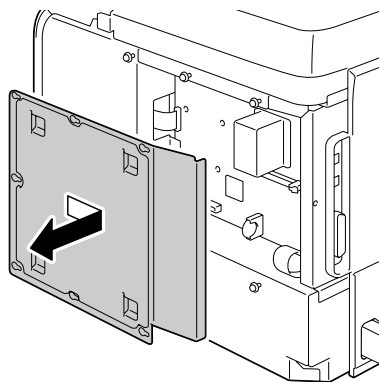
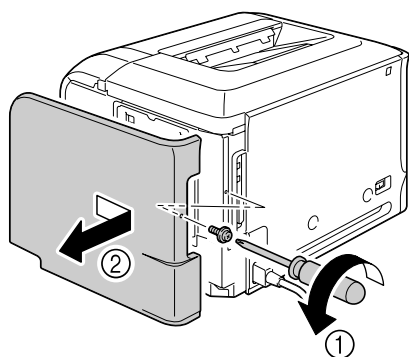
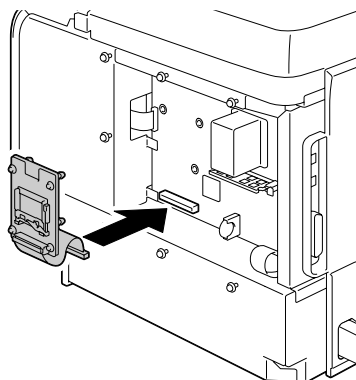
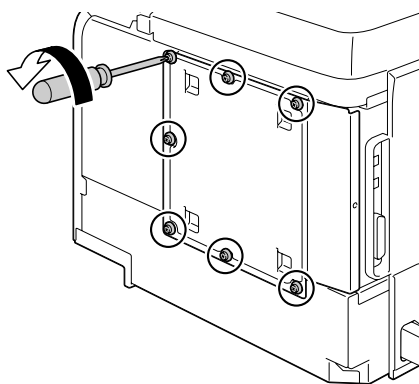
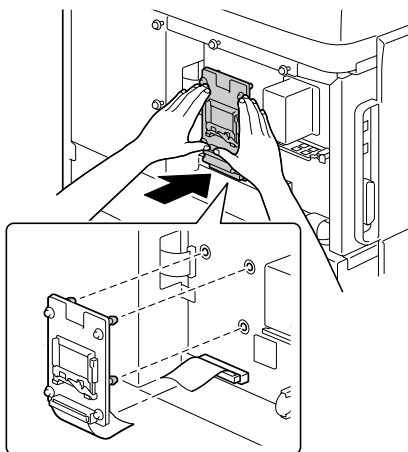
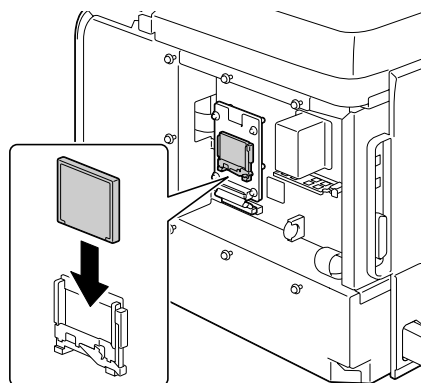
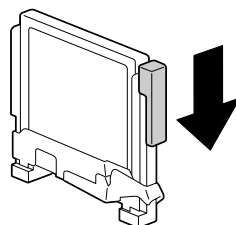
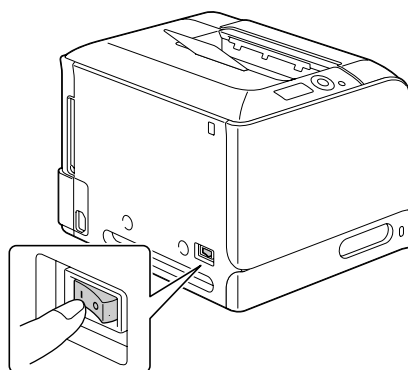
ハードディスクキットと CF アダプターは、同時に取り付けることはできません。

CF アダプターおよびコンパクトフラッシュカードの取り付けかた

ご注意

本機に取り付けたコンパクトフラッシュカードを他の装置（パソコンやデジタルカメラ）で使用した場合、コンパクトフラッシュカードは自動的に初期化され、カード内にあるデータは削除されます。

ご注意

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.285）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の緑色部を持ってください。

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 ドライバを使ってねじを取り外し（①）、背面のカバーを右へずらして取り外します（②）。

3 ドライバを使ってネジ7個をゆるめます。（ネジは取り外さないでください。）

4 金属パネルを右に少しずらし、プリンタから取り外します。

5 CFアダプターのケーブルをコントローラボードのコネクタに差し込みます。

6 CF アダプターの取り付けピン（3 箇所）をコントローラボードの穴に差し込み、CF アダプターをコントローラボードに固定します。

7 スロットにコンパクトフラッシュカードをスライドさせて、ロックされるまで押し込みます。

> コンパクトフラッシュカードを取り外すときは、ボタンを下へ押してロックを解除してください。

8 金属パネルを取り付け、ゆるめたネジ７個をしめます。

9 背面のカバーを取り付けます。

10 インターフェースケーブルを接続します。

11 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

12 「印刷ﾒﾆｭｰ」－「設定ﾘｽﾄ」で設定リストページを印刷して、コンパクトフラッシュカードの容量を確認します。

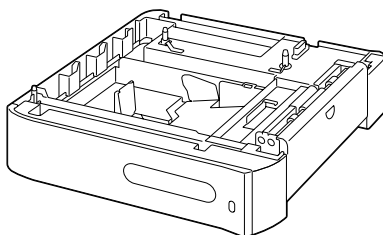
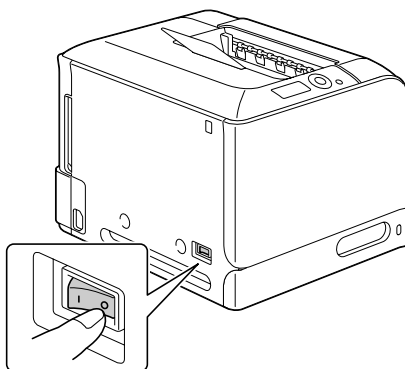
13 装着したコンパクトフラッシュカードがプリンタドライバで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、手動でインストール済みオプションに追加してください。詳しくは、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.33）をごらんください。

給紙ユニット（トレイ 3）の取り付け

給紙ユニット（トレイ 3）を取り付けることができます。給紙ユニットには用紙を 500 枚までセットできます。

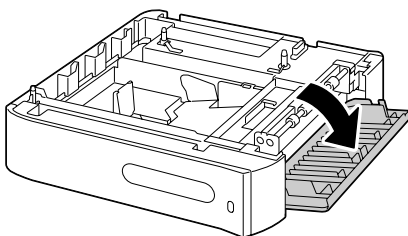
給紙ユニットの構成

■ 給紙ユニット（500 枚給紙トレイ付き）

給紙ユニットの取り付けかた

ご注意

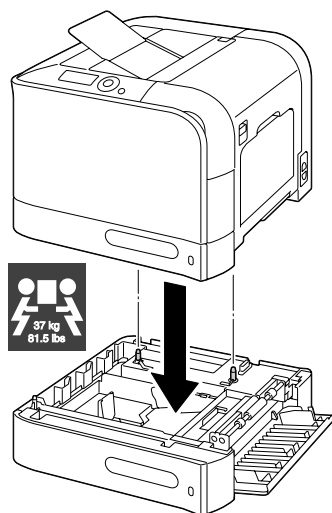
プリンタには消耗品が取り付けられているため、プリンタを動かすときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。

1 プリンタの電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。

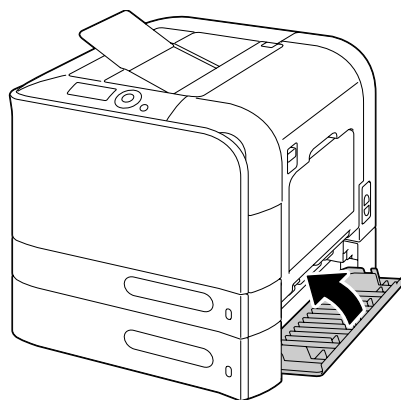
2 給紙ユニットを用意します。

給紙ユニットは必ず平らな場所に置いてください。

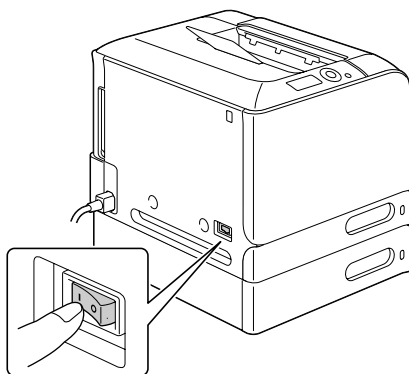
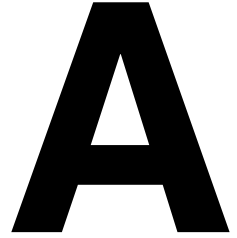
3 給紙ユニットの右ドアを開きます。

必ず給紙ユニットの右ドアを開いてからプリンタをセットしてください。

4 プリンタを２人で持ち、給紙ユニットと位置決めピンをプリンタの底の受け穴にあわせて正しくセットします。

警告

本プリンタは消耗品を含めて約 44 kgの重量があります。プリンタを持ち上げる場合は、必ず 2 人で行ってください。

5 給紙ユニットの右ドアを閉じます。

6 インターフェースケーブルを接続します。

7 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

8 「印刷ﾒﾆｭｰ」－「設定ﾘｽﾄ」で設定リストページを印刷して、給紙ユニットが装着済みか確認します。

9 装着したトレイ 3 がプリンタドライバで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.33）を参照し、手動でオプション認識を行ってください。

付録

技術仕様

プリンタ本体

形式	デスクトップ型フルカラー A4 レーザービームプリンタ
印刷方式	半導体レーザー + 電子写真方式
露光方式	半導体レーザー + 回転ミラー
現像方式	電子写真方式
解像度	600 dpi × 600 dpi × 4 bit
ファーストプリント時間	片面 モノクロ／フルカラー： 14.5 秒（普通紙で A4 の場合） 両面 モノクロ／フルカラー： 25 秒（普通紙で A4 の場合）
プリント速度	片面 モノクロ： 24 枚／分（普通紙で A4 の場合） 12 枚／分（厚紙 1/2 または光沢紙 1/2 で A4 の場合） 12.5 枚／分（封筒、ハガキの場合） 9 枚／分（OHP フィルムで A4 の場合） フルカラー： 24 枚／分（普通紙で A4 の場合） 12 枚／分（厚紙 1/2 または光沢紙 1/2 で A4 の場合） 12.5 枚／分（封筒、ハガキの場合） 3.5 枚／分（OHP フィルムで A4 の場合） 両面 モノクロ： 24 枚／分（普通紙で A4 の場合） フルカラー： 24 枚／分（普通紙で A4 の場合）

用紙サイズ	トレイ 1（手差しトレイ） 幅：92 ～ 216 mm 長さ：148 ～ 356 mm トレイ 2 幅：92 ～ 216 mm 長さ：148 ～ 297 mm トレイ 3（オプション） B5（JIS）～リーガル
用紙種類	• 普通紙（60 ～ 90 g/m^2） • 再生紙（60 ～ 90 g/m^2） • OHP フィルム • 封筒 • 厚紙 1（91 ～ 150 g/m^2） • 厚紙 2（151 ～ 210 g/m^2） • はがき • レターヘッド • ラベル紙 • 光沢紙 1（100 ～ 128 g/m^2） • 光沢紙 2（129 ～ 158 g/m^2）
給紙容量	トレイ 1（手差しトレイ） 普通紙、再生紙：100 枚 封筒：10 枚 ラベル紙、はがき、厚紙 1、厚紙 2、OHP フィルム、光沢紙 1、光沢紙 2、レターヘッド：20 枚 長尺用紙：1 枚 トレイ 2 普通紙、再生紙：250 枚 トレイ 3（オプション） 普通紙、再生紙：500 枚
排紙容量	排紙トレイ：200 枚（A4、レター：80 g/m^2）
動作時の温度	10 ～ 35°C
動作時の湿度	15 ～ 85%
電源	100 V、50 ～ 60 Hz

消費電力	最大消費電力：1200 W 以下 節電モード時：16 W 以下 電源オフ時：0 W
電流	12.5 A 以下
ウォームアップ時間	平均 36 秒（室温 23 ℃で節電中から印刷可に復帰するまでの時間）
ノイズレベル	印刷時：52 dB 以下 スタンバイ時：39 dB 以下
外形寸法	高さ：385 mm 幅：469 mm 奥行：536 mm
質量	プリンタ本体： 約 31 kg（消耗品を含まず） 約 37 kg（消耗品を含む）
インターフェース	USB 2.0（High Speed）準拠、10 Base-T/100 Base-TX/1000 Base-T イーサネット、パラレル
メモリ	256 MB（最大 768 MB まで拡張可能）

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安
トナーカートリッジ	製品に付属のトナーカートリッジ： 一定環境内 * での印刷 3,000 ページ以上（連続印刷） 一定環境外での印刷 2,400 ページ以上（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ： 一定環境内での印刷 4,000 ページ以上（連続印刷） 一定環境外での印刷 3,200 ページ以上（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ（大容量）： 一定環境内での印刷 8,000 ページ以上（連続印刷） 一定環境外での印刷 6,400 ページ以上（連続印刷）
ユニット	約 30,000 ページ（連続印刷）
廃トナーボトル	約 36,000 ページ（モノクロ）（連続印刷） 約 9,000 ページ（フルカラー）（連続印刷）
備考：* 一定環境 = 温度 15 ～ 25°C、湿度 35 ～ 70%	

上記の数値は印字率が 5% で、A4 ／レターサイズの用紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

定期交換部品の寿命の目安

定期交換部品	平均の寿命の目安
転写ローラー （オゾンフィルタ）	約 120,000 ページ（連続印刷）
転写ベルト	約 120,000 ページ（連続印刷）
定着ユニット	約 120,000 ページ（連続印刷）
給紙ローラー	約 300,000 ページ

本プリンタのご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記にお問い合わせください。
コニカミノルタプリンタサポートセンター：TEL 0570-003111
（土日・祝日・年始年末・弊社休業日を除く 午前 9:00 〜 12:00 、午後 1:00 〜　5:00）
上記ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL 046-220-6565 をご利用ください。

国際エネルギースタープログラム対応について

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

再生紙の使用について

本機は、古紙 100% 再生紙で、エコマーク認定商品である「コニカミノルタ NR-A100」がご使用できます。

索引

よ

ら

り

れ